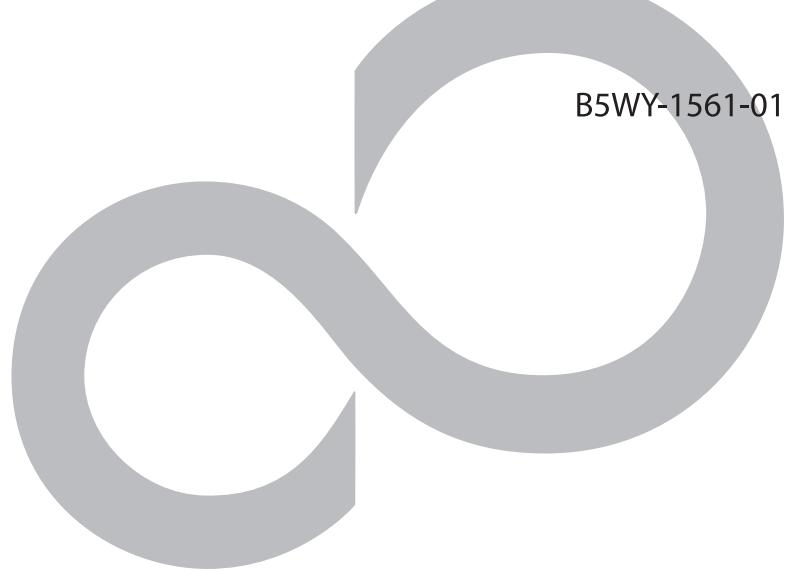


Color Printia LASER

B5WY-1561-01



Color Printia LASER XL シリーズ

ハードウェアガイド

カラーページプリンタ XL-C2340

FUJITSU



製品を安全に使用していただくために

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアル冒頭の「安全上のご注意」(1 ページ) をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

必ずアース接続を行ってください。アース接続しないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に火災や感電の原因となります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因になることがあります。

表示された正しい電源・電圧でお使いください。

本製品は、突入電流がありますので、UPS に接続しないでください。

矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があります。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本製品は、日本工業規格 (JIS C 6950) の漏えい電流基準に適合しております。

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

本製品の粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよびTVOC の拡散については、エコマーク No.122 「プリンタ version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。

トナーは本プリンタにて推奨しておりますトナーカートリッジ（ブラック）を使用し、白黒印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しております。

推奨トナーカートリッジについては、「サプライ品・オプション品一覧」(125 ページ) をご覧ください。

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律 刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条 等

梱包物の確認とプリンタの設置は済んでいますか

添付されている梱包物の確認や、プリンタの設置、および動作確認が済んでいない場合は、添付の『設置ガイド』をご覧になり、プリンタを使用するための準備を行ってください。

安全上のご注意

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずハードウェアガイド(本書)をお読みください。

安全上の注意表示



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

危害や損害の内容を示す絵記号



△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。



○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。



●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

一般的な注意



警告



プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。



プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。



カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いて富士通ハードウェア修理相談センターへ連絡してください。
火災のおそれがあります。



水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて富士通ハードウェア修理相談センターへ連絡してください。
火災のおそれがあります。



クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。
感電、火災、ケガのおそれがあります。



ハードウェアガイドに指示している以外の操作や分解は行わないでください。
感電、火災、ケガのおそれがあります。



プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いて富士通ハードウェア修理相談センターへ連絡してください。
感電、火災、ケガのおそれがあります。



電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にはこりが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。

⚠️警告

	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ハードウェアガイドで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、ドラムカートリッジを火の中に投じないでください。 粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。
	こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。 こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。 床などにこぼれてしまったトナーは、濡れた布などでふき取ってください。
	UPS (無停電電源) およびインバーターを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源およびインバーターは使用しないでください。 火災のおそれがあります。

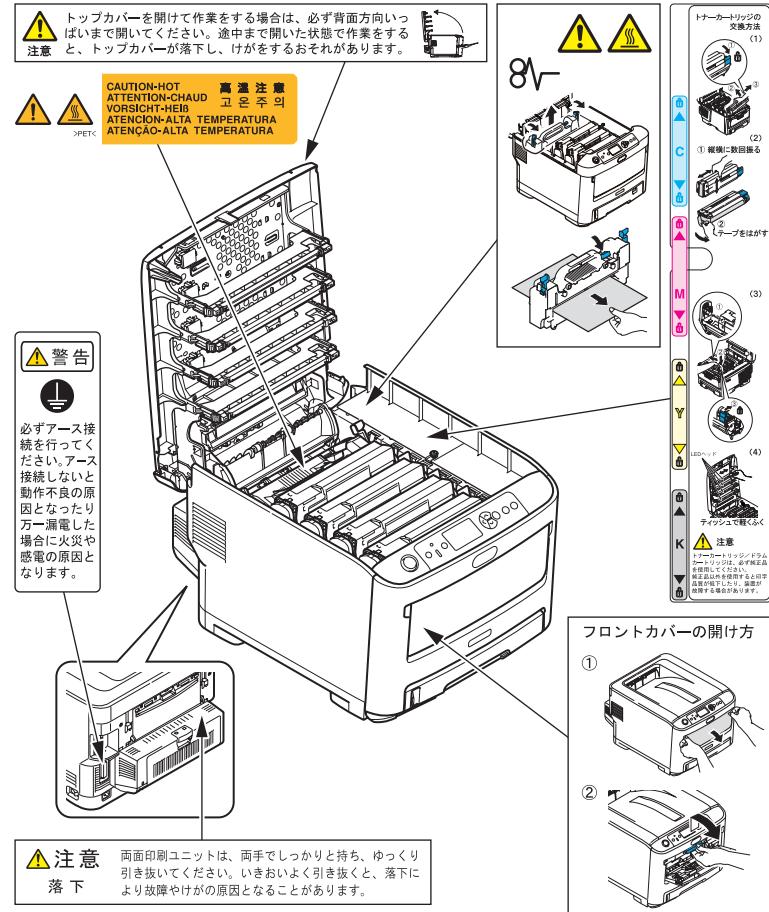
⚠️注意

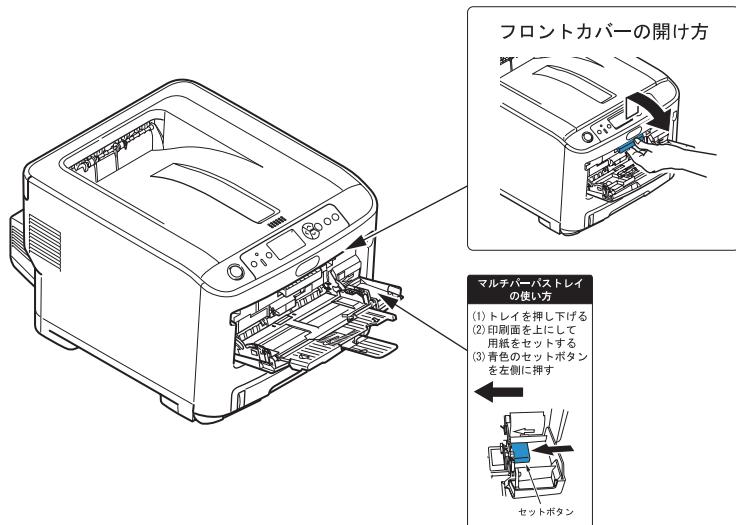
	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。
	壊れた液晶ディスプレイにはさわらないでください。 液晶ディスプレイからもれた液体（液晶）が目や口に入った場合は、ただちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。指示内容をご覧になり、安全にご利用ください。

なお、警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。







マニュアルの構成

本製品には、次の説明書と CD-ROM が付属しています。

ハードウェアガイド（本書）

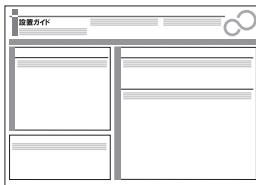


必ずお読みください。

プリンタの設置からオプション品の取り付け方、プリンタドライバのインストールまでの手順、操作パネルの表示、基本的な印刷、消耗品の交換などが記載されています。

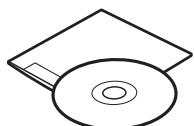
同じ内容の PDF ファイルが、添付の CD-ROM 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」に格納されています。

設置ガイド



プリンタを設置し、動作確認を行うまでの手順を記載しています。

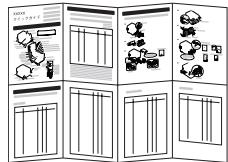
ソフトウェアガイド（PDF）



プリンタドライバの便利な使い方やユーティリティの使用方法など、主にソフトウェアについて説明しています。

添付の CD-ROM 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」に格納されています。

クイックガイド



用紙の設定、操作パネルのメッセージ、紙づまりの対処方法が記載されています。専用袋に入れ、プリンタに貼り付けてご使用ください。

同じ内容の PDF ファイルが、添付の CD-ROM 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」に格納されています。



本書の見かた

製品の呼び方

本文中では、製品名称などを次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
Windows® 7 Ultimate 64 ビット版	Windows 7
Windows® 7 Enterprise 64 ビット版	
Windows® 7 Professional 64 ビット版	
Windows® 7 Home Premium 64 ビット版	
Windows® 7 Ultimate 32 ビット版	
Windows® 7 Enterprise 32 ビット版	
Windows® 7 Professional 32 ビット版	
Windows® 7 Home Premium 32 ビット版	
Windows® 7 Starter	
Windows Vista® Ultimate 64 ビット版	Windows Vista
Windows Vista® Enterprise 64 ビット版	
Windows Vista® Business 64 ビット版	
Windows Vista® Home Premium 64 ビット版	
Windows Vista® Home Basic 64 ビット版	
Windows Vista® Ultimate 32 ビット版	
Windows Vista® Enterprise 32 ビット版	
Windows Vista® Business 32 ビット版	
Windows Vista® Home Premium 32 ビット版	
Windows Vista® Home Basic 32 ビット版	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2, Standard	Windows Server 2008 R2
Microsoft® Windows Server® 2008 R2, Enterprise	
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard (64-bit)	
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard without Hyper-V™ (64-bit)	
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise (64-bit)	Windows Server 2008
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise without Hyper-V™ (64-bit)	
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard (32-bit)	
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard without Hyper-V™ (32-bit)	
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise (32-bit)	
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise without Hyper-V™ (32-bit)	
Windows® XP Professional x64 Edition	Windows XP
Windows® XP Professional	
Windows® XP Home Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	Windows Server 2003
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition	

マーク



プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。



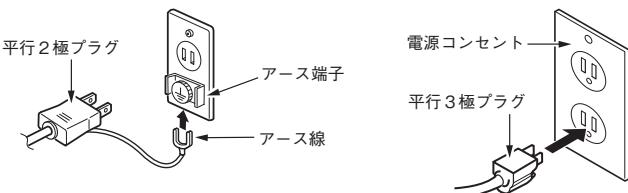
プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

画面例、イラストについて

- このマニュアルに掲載されている画面例のIPアドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- 機種、ソフトウェアのバージョン、OSによっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- このマニュアルに掲載されているプリンタのイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

電源プラグとコンセント形状の表記について

本書では、「平行2極プラグ」、「平行3極プラグ」を「電源プラグ」と表記します。



搭載ソフトウェアのIPv6対応について



本プリンタは、IPv6 Ready Logo Phase 1 テストに合格しています。

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation および / またはその関連会社の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2012

目 次

安全上のご注意.....	1	2 操作パネルとメニューについて	27
安全上の注意表示	1	操作パネル	28
危害や損害の内容を示す絵記号	1	操作パネルのメニュー一覧	29
一般的な注意	1	操作方法	29
警告ラベル／注意ラベル	2	機能設定メニュー	31
マニュアルの構成.....	4	Boot Menu	39
本書の見かた.....	4	3 ネットワーク接続で Windows にセットアップします	41
製品の呼び方	4	動作環境	42
マーク	5	ケーブルを接続します	43
画面例、イラストについて	5	Windows にセットアップします	44
電源プラグとコンセント形状の表記について	5	セットアップの流れ	44
搭載ソフトウェアの IPv6 対応について	5	セットアップします	44
商標および著作権について	5	IP アドレスを設定します	45
目 次	6	プリントドライバをインストールします	46
1 プリンタを設置します	9	WSD 印刷の設定 (Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合)	49
製品の確認	10	印刷できないときには	52
設置条件	11	最初に確認します	52
動作環境	11	それでも問題が解決しない場合	53
設置に関する注意	11	4 USB 接続で Windows にセットアップします	55
設置スペース	11	動作環境	56
プリンタ各部の名前	12	Windows にセットアップします	57
付属品を取り付けます	13	プリントドライバをインストールする	57
電源を入れます	17	セットアップがうまくいかないとき	61
電源の条件	17	[プリンタ] フォルダーにプリンタアイコンが作成されない場合	61
設定内容印刷をします	18	[プリンタ] フォルダーにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合	61
電源を切れます	19	1 つのプリンタドライバしかインストールできない場合	62
クイックガイドの収納	20	セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」の エラーが表示される場合	62
オプション品について	21	USB 接続でセットアップできないときには	64
拡張給紙ユニット	21		
取り付け形態	21		
プリンタ RAM モジュール	24		

5 印刷します	65	故障かな?と思ったとき	117
使用できる用紙.....	66	用紙送りがおかしい.....	118
使用できない用紙.....	70	印刷が不鮮明なとき	119
用紙の保管上のご注意.....	71		
給紙方法と排出方法を決めます.....	72		
印刷します.....	73		
6 プリンタの設定項目について	77	付 錄	121
現在の設定を確認します（設定内容印刷）.....	78	仕様	122
現在のメニュー設定を保存します.....	79	主な仕様	122
設定値を初期化します.....	80	外形寸法	124
7 メンテナンスをします	81	サプライ品・オプション品一覧	125
トナーカートリッジを交換します.....	82	有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24時間運用について	126
トナーカートリッジの交換の目安	83	有寿命部品について	126
トナーカートリッジを交換します	84	消耗品について	126
ドラムカートリッジを交換します.....	87	定期交換部品について	126
ドラムカートリッジ交換の目安	88	24時間以上の連続運用について	127
ドラムカートリッジを交換します	89	用紙の印刷方向と印刷可能領域について	128
給紙ローラを清掃します	91	印刷方向	128
トレイ1、トレイ2／トレイ3（オプション）の場合	91	印刷可能領域	128
マルチパーストレイの場合	92	アフターサービスについて	129
LEDヘッドを清掃します	94	使用済みカートリッジの回収サービス	129
色ずれ補正調整をします	96	修理装置の返却準備～お客様へ～	129
濃度補正調整をします	96	本製品の廃棄について	130
プリンタ表面を清掃します	97	本マニュアルで紹介しているURLについて	130
プリンタを輸送するとき	98		
8 紙づまりになったとき	101		
紙づまりになったとき	102		
紙づまりになったときの注意	102		
9 困ったときには.....	111		
操作パネルのメッセージ	112		

(MEMO)

1 プリンタを設置します

製品の確認	10
設置条件	11
プリンタ各部の名前	12
付属品を取り付けます	13
電源を入れます	17
設定内容印刷をします	18
電源を切れます	19
クイックガイドの収納	20
オプション品について	21



製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

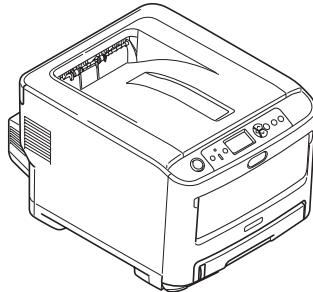


ケガをするおそれがあります。



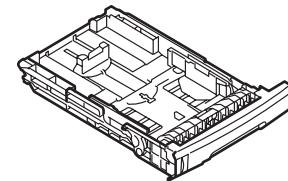
このプリンタは重量が約 29Kg ありますので、2人以上で持ち上げてください。

プリンタ（本体）



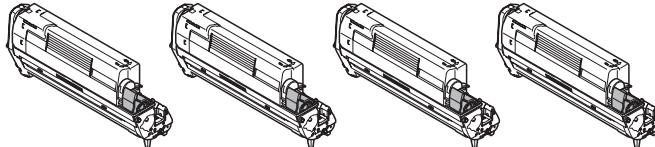
用紙カセット（トレイ）

※プリンタ本体に取り付けられています。



ドラムカートリッジ
(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各 1 個ずつ)

トナーカートリッジ（スターター）
(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各 1 個ずつ)



メモ トナーカートリッジ（スターター）は、ドラムカートリッジにセットされ一体化した状態で、プリンタ内にセットされています。

電源コード（2本）(約 1.9 m)



設置ガイド

保証書（梱包箱に添付）

ドキュメントパック

- ・ Color Printia LASER プリンタユーティリティ (CD-ROM)
- ・ ハードウェアガイド（本書）
- ・ クイックガイド
- ・ クイックガイド専用袋
- ・ 修理窓口ラベル



- ・ アース接続をしないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に火災や感電の原因となります。
アース接続を必ず行ってください。
- ・ 電源コードは 2 本添付しています。お使いのコンセント形状に合わせてお使いください。
- ・ プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピューターに合わせて別途用意してください。
- ・ 移転など、プリンタ本体を今後運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

- ・ トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、必ず装置添付のものを最初にお使いください。
別売品（交換用サプライ品）や、他のプリンタで使用していたものを取り付けてしまうと装置添付のトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは使用できなくなります。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。

周囲温度	: 10 ~ 32°C
周囲湿度	: 20 ~ 80%RH (相対湿度)
最大湿球温度	: 25°C
- 結露しないように注意してください。

設置に関する注意

警告

- 高温になる場所や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。
- プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。
- 温泉地など、硫黄の影響を受ける場所には設置しないでください。

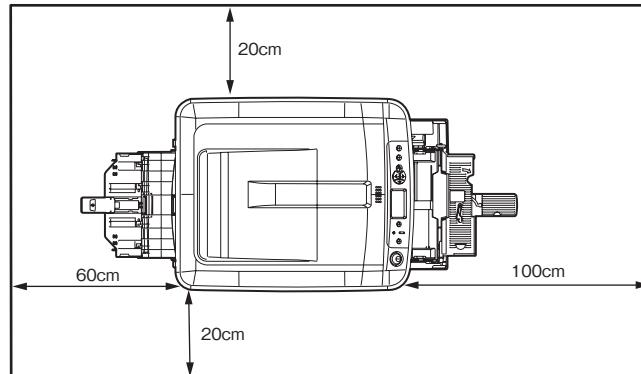
注意

- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 大量に印刷したり、長時間連続してご使用になるときは、換気に心掛けてください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニターやテレビから離して設置してください。
- プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。
- このプリンタは重量が約 29kg ありますので、2人以上で持ち上げてください。

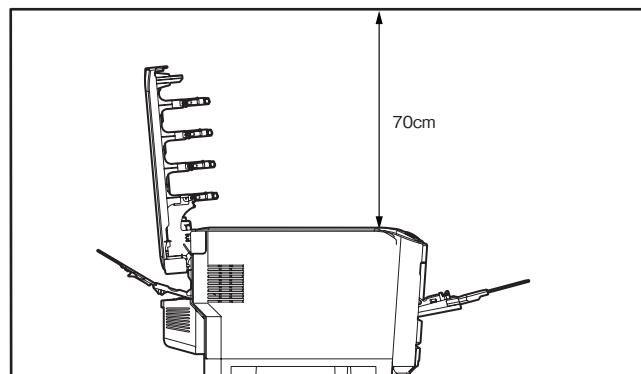
設置スペース

- プリンタの足が載る大きさの平らな机の上に置いてください。
- プリンタの周りに充分なスペースをとってください。

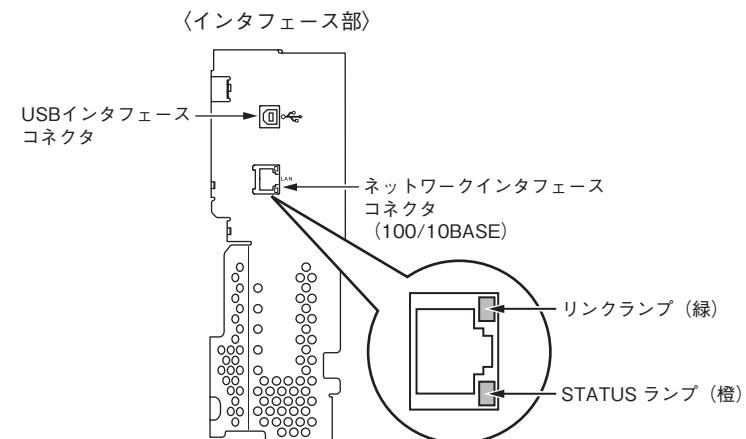
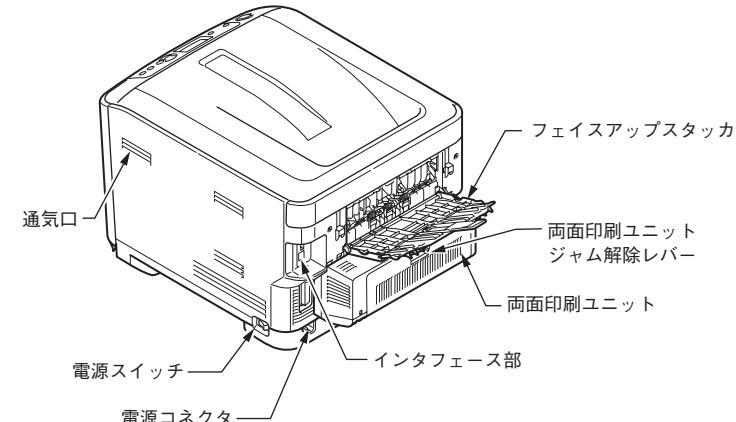
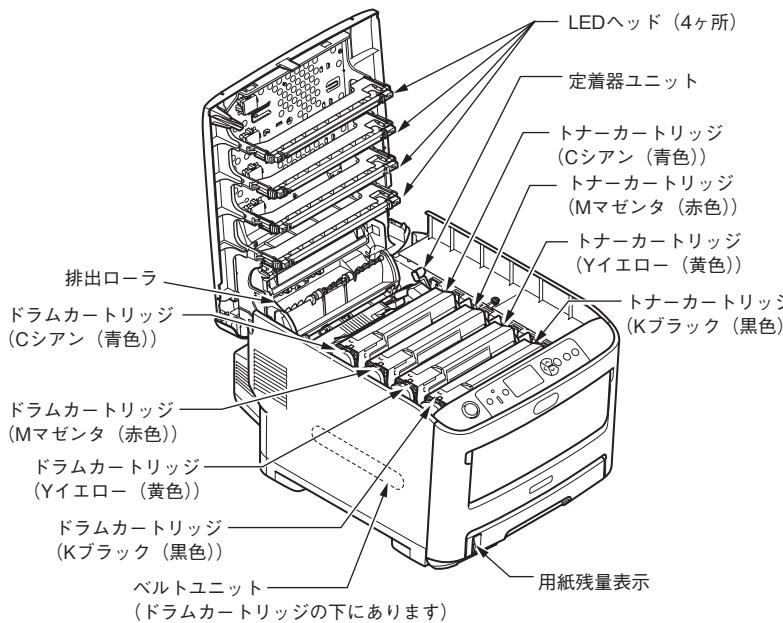
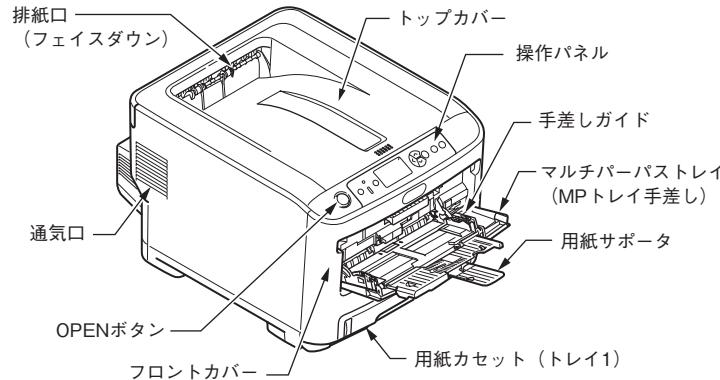
平面図



側面図

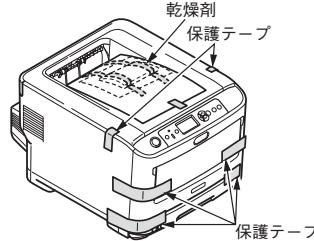


プリンタ各部の名前



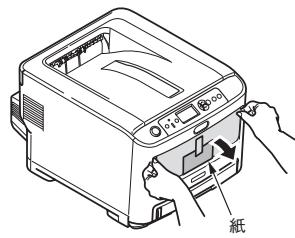
付属品を取り付けます

1 保護具を取り外します。

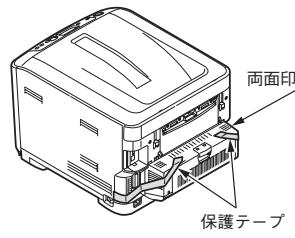


- ① プリンタ上面の乾燥剤と保護テープをはがします。

メモ 保護テープの実際の貼り付け位置は、イラストで示している位置と異なる場合があります。

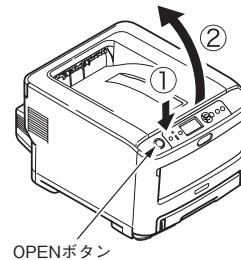


- ② マルチパープルトレイを開けてプリンタ前面の紙をはがします。

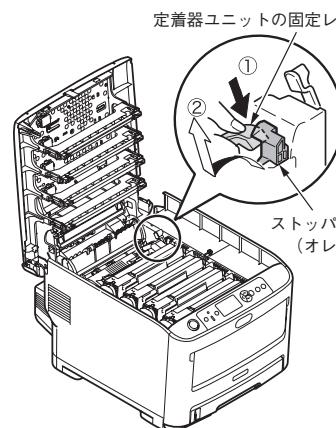


- ③ プリンタ後面の保護テープをはがします。

- ④ 両面印刷ユニットが、固定されていることを確認します。



- ⑤ OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

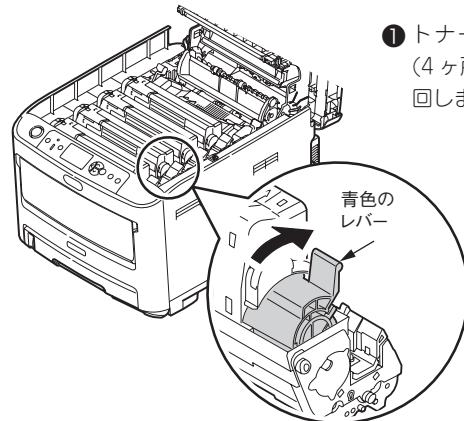


- ⑥ 定着器ユニットの固定レバー(青色)を矢印①の方向へ押し下げながら、ストップアリリース(オレンジ色)を取り外します。

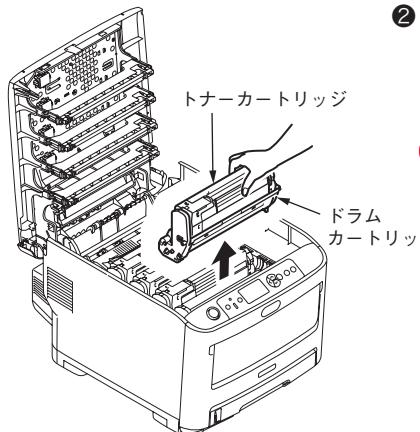


- ①の固定レバーは、強く押し下げてください。
- ストップアリリースはプリンタを長時間使用しないときや、輸送するときに使います。必ず保管してください。

2 ドラムカートリッジを取り出します。



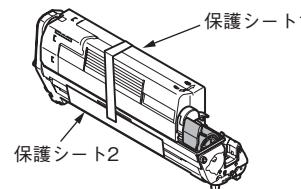
- ① トナーカートリッジの青色のレバー（4ヶ所）を矢印の方向にいっぱいまで回します。



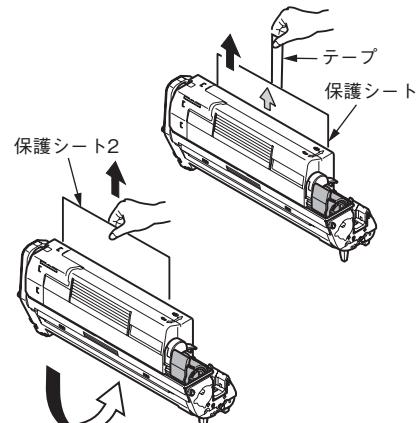
- ② トナーカートリッジを付けたまま、ドラムカートリッジ（4個）を静かに取り出します。



- ・ ドラムカートリッジ（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには充分注意してください。
- ・ ドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

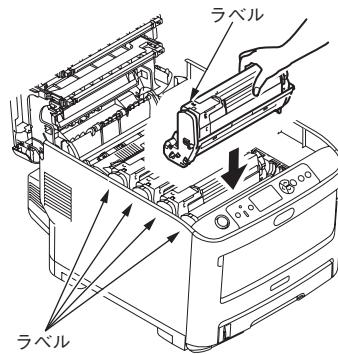


- ③ 保護シート 1 を止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。



- ④ 保護シート 2 を矢印の方向に引き抜きます。

同様に 4 個のドラムカートリッジから保護シート 1, 2 を取り除きます。



- ⑤ ドラムカートリッジのラベルの色とプリントのラベルの色を合わせます。
- ⑥ ドラムカートリッジ（4個）を静かに戻します。



- ・製品購入時に添付されているトナーカートリッジは、約 2000 枚印刷可能です。
- ・操作パネルに [トナーカートリッジを確認してください／レバーの位置が正しくありません] が表示されるときは、トナーカートリッジのレバーが矢印の方向にいっぱいまで動かされているか確認してください。
- ・トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、必ず製品購入時に添付のものを最初にお使いください。
別売品(交換用サプライ品)や、他のプリンタで使用していたものを取り付けてしまうと製品購入時に添付のトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは使用できなくなります。

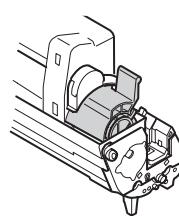
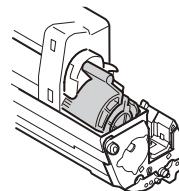


トナーカートリッジを交換するまで、トナーカートリッジの青色のレバーは下記イラストの「トナーカートリッジを取り付けた状態」でお使いください。

【トナーカートリッジのレバー位置】

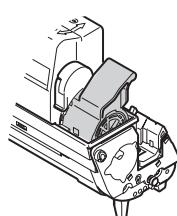
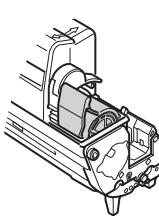
■ 製品購入時のトナーカートリッジの場合

トナーカートリッジを外す位置 トナーカートリッジを取り付けた状態



■ 交換用サプライ品のトナーカートリッジの場合

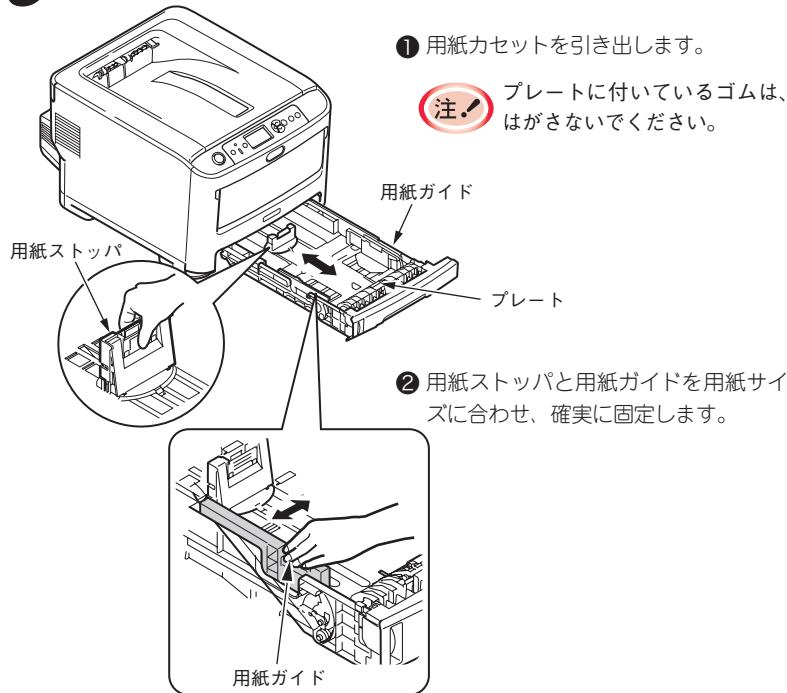
トナーカートリッジを取り付けた状態 トナーカートリッジを外す位置



トナーカートリッジの印刷可能枚数は、用紙サイズが A4、印字濃度が工場出荷時設定で「ISO/IEC 19798」を目安にした値です。実際に印刷可能な枚数は、お客様のご使用状況により、異なります。

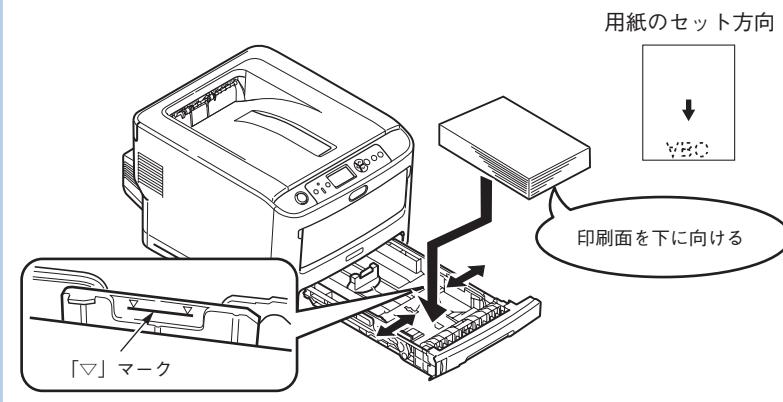
「ISO/IEC 19798」は、国際標準化機構(International Organization for Standardization)より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

3 用紙カセットに用紙をセットします。



- メモ**
- ・ 包装された用紙の開封面が印刷する面になります。
 - ・ 用紙については、「使用できる用紙」(66 ページ)をご覧ください。
- 注!** プリンタに適していない用紙を使用すると、プリンタが故障するおそれがあります。

③ 開封面（印刷面）を下に向けて、用紙をセットします。



- 注!**
- ・ 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
 - ・ 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。用紙カセット（トレイ 1）にセットできる枚数は 330 枚 (64g/m²) です。

- ④ 用紙ガイドで用紙を固定します。
- ⑤ 用紙カセットをプリンタに戻します。

電源を入れます

電源の条件

- 次の条件を守ってください。
 - 交流 (AC) : 100V ± 10%
 - 電源周波数 : 50Hz または 60Hz ± 2%
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は 1300W です。電源容量に充分余裕があることを確認してください。
- UPS(無停電電源)およびインバーターを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源およびインバーターは使用しないでください。



火災や感電のおそれがあります。

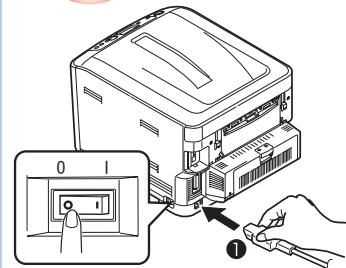


- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。
- 水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- アース端子の接続は必ず、電源プラグに電源をつなぐ前に行ってください。また、アース端子を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シェレッダなどと一緒に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルターかノイズカットトランジスタを使用してください。
- 添付の電源コードを使用し、直接コンセントに差し込んでください。他の製品用の電源コードを本プリンタに使用しないでください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 15A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
- 添付の電源コードを他の製品に使用しないでください。

1 電源コードを接続します。

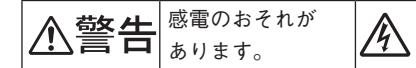


注! 電源スイッチが OFF (○) になっていることを確認してください。



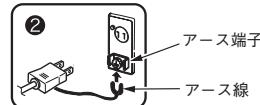
① 電源コードをプリンタに差し込みます。

② アース線をコンセントのアース端子に接続します。



必ずアース線を接続してください。

③ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

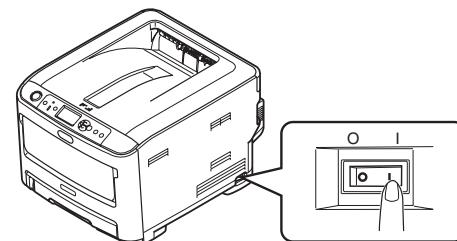


アース端子
アース線



(2極コンセントの場合) (3極コンセントの場合)

2 電源スイッチの ON (|) を押します。



印刷できる状態になると、[印刷できます] と表示します。



注! プリンタが冷えているときに電源を入れると、エラーになることがあります。(エラー番号 173, 177) このような場合は、電源を切り、しばらくの間待ってから、もう一度電源を入れてください。

設定内容印刷をします

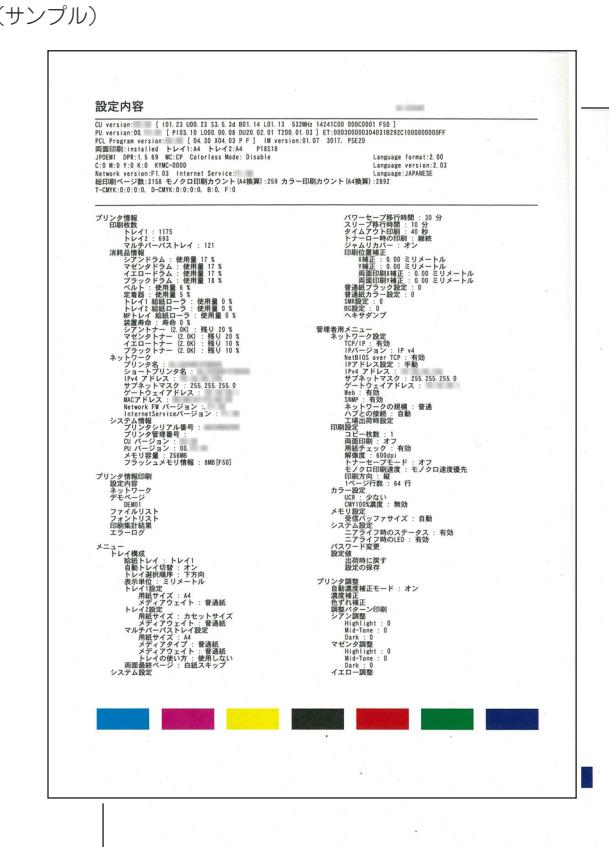
プリンタが正常に動作することを確認します。

プリントオプション品の取り付け状況や、プリンタのメニュー設定内容、消耗品の使用状況などを、確認することができます。

- ① トレイ 1 に A4 用紙をセットします。
 - ② 表示部に [印刷できます] と表示していることを確認します。
 - ③  ボタンを数回押して [プリンタ情報印刷] を選択し、 設定ボタンを押します。
 - ④ [設定内容] を選択し、 設定ボタンを押します。
 - ⑤ [印刷実行] が選択されていることを確認し、 設定ボタンを押します。

設定内容印刷が開始されます。

メモ ネットワークの設定情報(Network Information 2枚)を印刷するには、
③の後に  ボタンを押して、[ネットワーク]を選択し、 設定ボタンを押します。



電源を切ります

いきなり電源を切らずに下記の手順で電源を切ります。



いきなり電源を切ると、プリンタに損傷を与え、使用不能になることがあります。

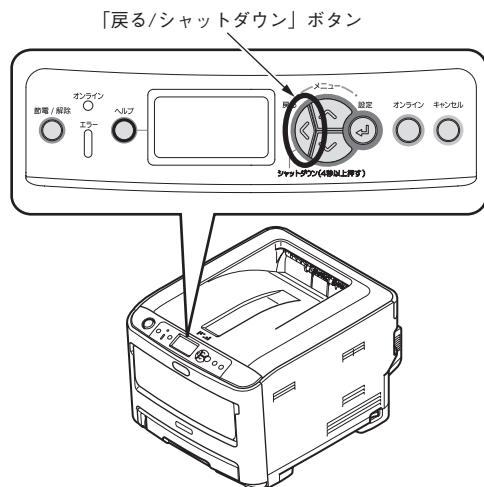


プリンタがスリープモード中（オンラインランプが3秒点灯、1秒消灯）のときは、その状態で、電源スイッチのOFF(O)を押して電源を切ってください。

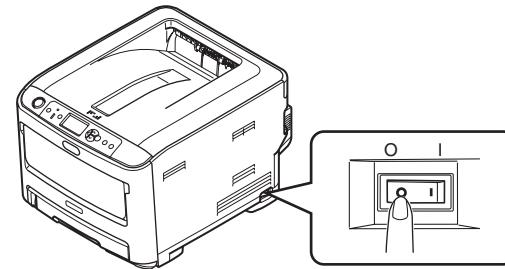


① 「戻る / シャットダウン」ボタンを4秒以上押すと、[シャットダウン開始 はい / いいえ]と表示され、[はい]が選択されていることを確認し、 設定ボタンを押します。

[シャットダウン中です]と表示され、シャットダウン処理が開始されます。

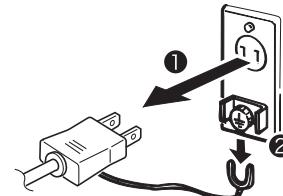


② [電源を切ってください / シャットダウン完了しました]が表示されたら、電源スイッチのOFF(O)を押します。



長期間使用しないとき

連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。また、定着器ユニットにストップアリースを取り付けてください。ストップアリースの取り付けについては、「プリンタを輸送するとき」(98 ページ) の手順 4 をご覧ください。



アース端子を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。



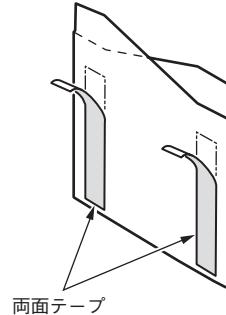
本プリンタは長期間（4週間以上）電源プラグを抜いておいても、機能障害を生じません。



クイックガイドの収納

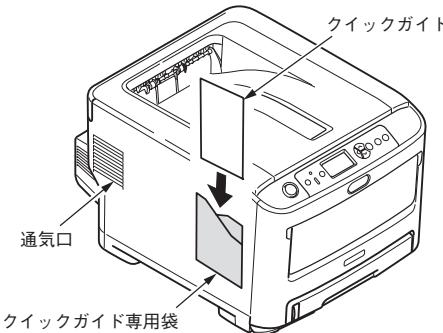
クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付け、クイックガイドを収納します。

- 1 クイックガイド専用袋裏側の、両面テープ(2ヶ所)をはがします。



両面テープ

- 2 クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付けます。



注! プリンタの通気口をふさがないように貼り付けてください。

オプション品について

拡張給紙ユニット

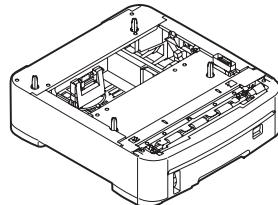
プリンタにセットできる用紙の枚数を増やしたいときに取り付けるオプショントレーユニットです。



拡張給紙ユニットは、A6用紙は使用できません。マルチパーカストトレイ、用紙カセット（トレイ1）を使用してください。



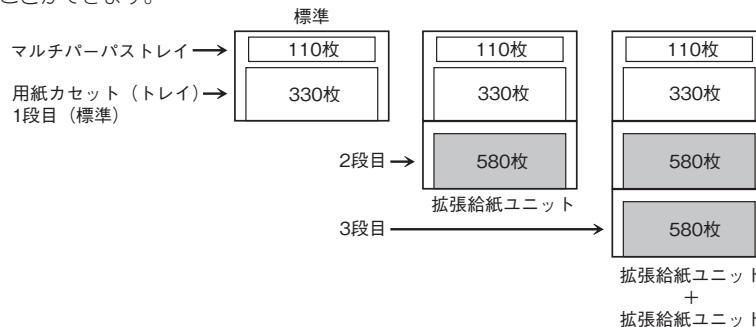
標準の用紙カセット（トレイ1）から順に下に向かって、トレイ2、トレイ3と呼びます。



品名：拡張給紙ユニット
型名：XL-EF58CE

取り付け形態

拡張給紙ユニットは、1段目の用紙カセット（トレイ1）と合わせて、次の取り付け形態を選択できます。最大で1600枚（64g/m²用紙の場合）の用紙をセットすることができます。



1

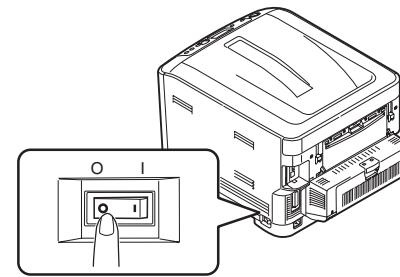
プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。



電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

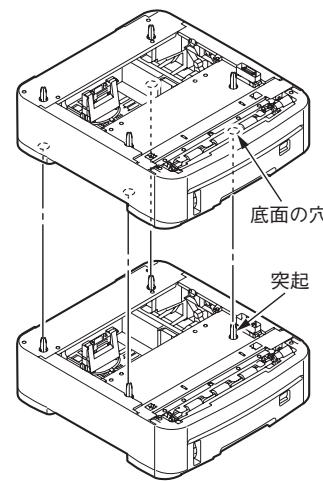


電源の切り方は「電源を切ります」（19ページ）をご覧ください。



2

2つの拡張給紙ユニットを取り付ける場合は、あらかじめ重ねておきます。



3 プリンタを拡張給紙ユニットに載せます。



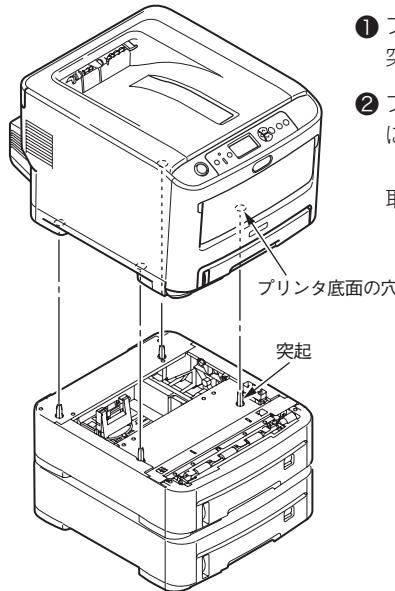
ケガをするおそれがあります。



このプリンタは約 29kg あります。2人以上で持ち上げてください。

- ① プリンタ底面の穴と拡張給紙ユニットの突起を合わせます。
- ② プリンタを拡張給紙ユニットの上に静かに載せます。

取り外しは取り付けの逆の手順で行います。

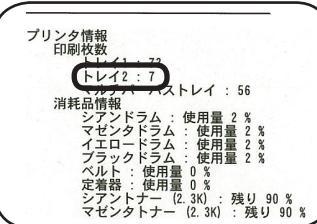


4 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を ON します。



[ハードウェア修理相談センターへ連絡してください 182: エラー] または [ハードウェア修理相談センターへ連絡してください 183: エラー] が表示された場合は、拡張給紙ユニットを取り付け直してください。

5 設定内容印刷を行い、正しく取り付けられていることを確認します。



- ① 設定内容印刷をします。

詳しくは「設定内容印刷をします」(18 ページ)をご覧ください。

- ② [プリンタ情報] の [印刷枚数] に追加したトレイが表示されていることを確認します。



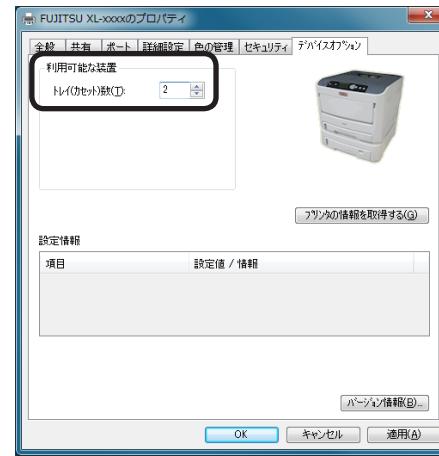
追加したトレイが表示されない場合は、拡張給紙ユニットを取り付け直してください。

6 プリンタドライバでトレイの数を設定します。

プリンタドライバで追加したトレイを認識させるための設定が必要です。プリンタドライバをセットアップしていない場合は、3章～4章を参照し、プリンタドライバをセットアップしてから次の設定を行ってください。

注! コンピューターの管理者の権限が必要です。

Windowsプリンタドライバの場合



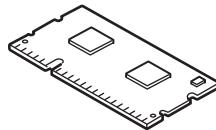
- ① Windows 7/Windows Server 2008 R2 では[スタート]-[デバイスとプリンター]を選択します。Windows Vista/Windows Server 2008(R2 以外)では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。Windows XP/Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタとFAX]を選択します。
- ② [FUJITSU XL-C2340] アイコンを右クリックし、[プロパティ](Windows 7 では [印刷設定]、または [プリンターのプロパティ])を選択します。

- ③ [デバイスオプション]タブで [プリンタの情報を取得する] を選択します。USB 接続、また IPv6 アドレス環境でお使いの場合は手動で [利用可能な装置]に現在のトレイ総数を入力します。

- ④ [OK]をクリックします。

プリンタ RAM モジュール

プリンタのメモリ容量を増やしたいときに取り付けます。複雑なデータでメモリ不足のエラー【メモリオーバーフロー】が発生するときや、部単位印刷で【部単位印刷エラーです】が表示されるときなどに追加します。



品名：プリンタ RAM モジュール -256MB

型名：XL-EM256CE

プリンタ RAM モジュール

型名	メモリ量（総メモリ量）
なし（標準）	256MB (256MB)
XL-EM256CE	+256MB (512MB)



- 必ず純正品を使用してください。純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- 長尺印刷を行う場合は、メモリの追加を推奨します。
- メモリ用スロットは 1 スロットです。
- プリンタ RAM モジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまつた静電気により破壊される場合があります。取り扱う前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。
- プリンタ RAM モジュールの表面の端子や、電子部品に手を触れないでください。また、強い力をかけないようにしてください。
- 落としたり、強い衝撃を与えたしないでください。
- 保管は、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、暖房器具などの熱の当たる場所を避けてください。

1

プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。



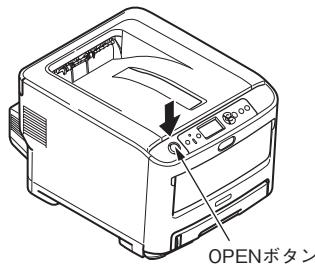
電源を ON のまま取り付けると、プリンタまたはプリンタ RAM モジュールが故障するおそれがあります。



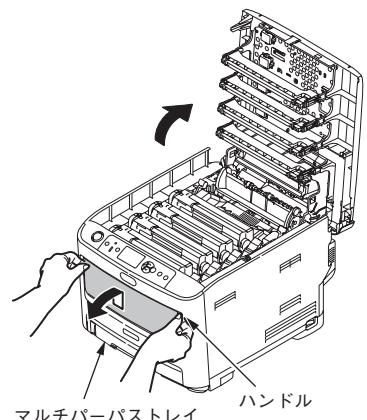
電源の切り方は「電源を切ります」(19 ページ) をご覧ください。

2

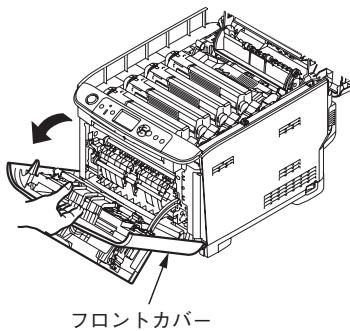
トップカバーとフロントカバーを開けます。



- ① OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

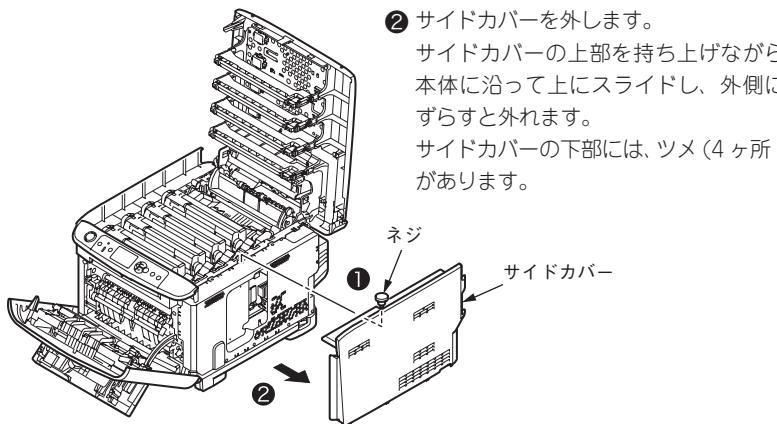


- ② マルチパーカストレイを開きます。



- ③ フロントカバー中央のハンドル(青色)を押し上げ、フロントカバーを手前に開きます。

3 サイドカバーを外します。



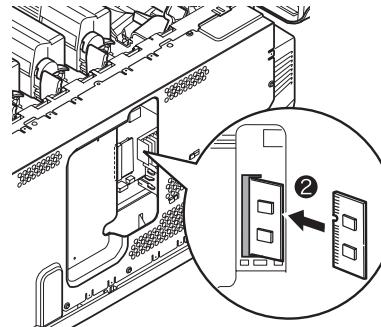
4 メモリを取り付けます。

- ① プリンタ RAM モジュールを袋から取り出す前に、袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

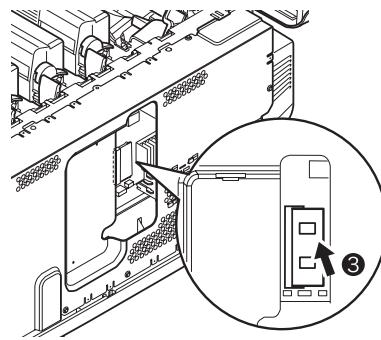
- ② スロットにななめにプリンタ RAM モジュールを差し込みます。



プリンタ RAM モジュールを取り付けるスロット以外には、触らないでください。



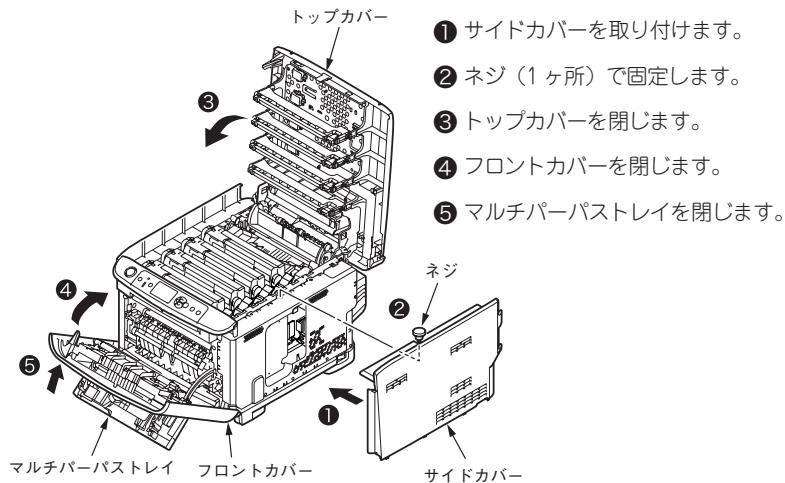
- ③ プリンタ RAM モジュールをプリンタ側に押し、固定します。



- 電子部品やコネクタ端子には触らないでください。
- メモリの向きにご注意ください。メモリの端子部には切り欠き部分があり、スロットのコネクタと勘合するようになっています。

5 サイドカバーを取り付けます。

サイドカバーの取り外し時の逆の手順で取り付けてください。



6 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

注! 操作パネルに【ハードウェア修理相談センターへ連絡してください 031：エラー】が表示された場合は、プリンタRAMモジュールを取り付け直してください。

7 設定内容印刷を行い、増設メモリが正しく取り付けられていることを確認します。

プリンタ情報	
印刷枚数	
トレイ1	: 73
トレイ2	: 7
マルチパーパストレイ	: 56
消耗品情報	
シアンドラム	: 使用量 2 %
マゼンタドラム	: 使用量 2 %
イエロードラム	: 使用量 2 %
ブラックドラム	: 使用量 2 %
ベルト	: 使用量 0 %
定着器	: 使用量 0 %
シアンドトナー [2.3K]	: 残り 90 %
マゼンタトナー [2.3K]	: 残り 90 %
イエロートナー [2.3K]	: 残り 90 %
ブラックトナー [2.3K]	: 残り 90 %
ネットワーク	
プリンタ名	: -52xxxx
ショートプリンタ名	: -52xxxx
IPアドレス	: 192.168.0.2
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1
MACアドレス	: 00:80:87:52:xx:xx
Network FWバージョン	: xx.xx
Internet Serviceバージョン	: Fx.xx
システム情報	
プリンタシリアル番号	: LDxxxxxxxx
プリンタ管理番号	:
CUバージョン	: Fx.xx
リモコンバージョン	: 00.Fx.xx
メモリ容量	: 512MB
フラッシュメモリ情報	: 8MB [F50]

① 設定内容印刷をします。

詳しくは「設定内容印刷をします」(18ページ)をご覧ください。

② [プリンタ情報] の [システム情報] の [メモリ容量] に表示される総メモリ量を確認します。

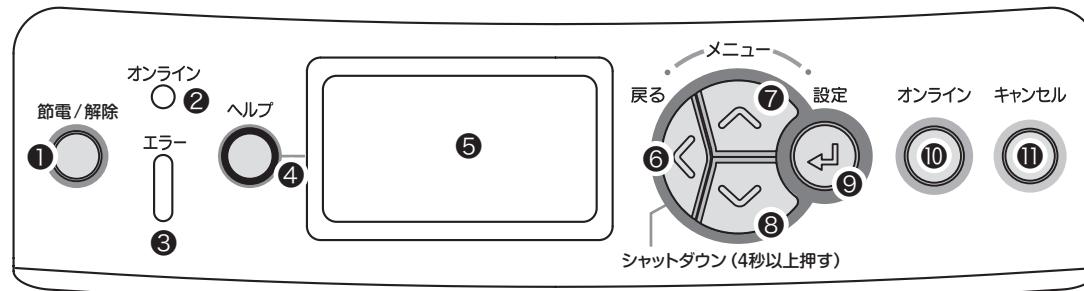
注! [メモリ容量] が正しく表示されない場合は、メモリを取り付け直してください。

2 操作パネルとメニューについて

操作パネル 28
操作パネルのメニュー一覧 29

操作パネル

2



番号	名称	説明
①	節電 / 解除ボタン	プリンタをパワーセーブモード [*] （省電力モード [*] ）にしたいとき、パワーセーブモード / スリープモードから復帰したいときに押します。
②	オンラインランプ	点灯：印刷できる状態です。 点滅1：データを受信中です（0.5秒点灯、0.5秒消灯）。 点滅2：スリープモード中です。（3秒点灯、1秒消灯）。 消灯：データを受信できない状態です。（オフライン）
③	エラーランプ	通常は消灯しています。 点灯：エラーまたは警告が発生していますが、印刷できます。 点滅：エラーが発生していて印刷できません。
④	ヘルプボタン	表示部に「ヘルプ」と表示されているときに押すと、エラーの解除方法を表示します。
⑤	表示部	プリンタの状態を表示します。
⑥	戻る / シャットダウンボタン	メニュー モード中、前の画面に戻りたいときに押します。 プリンタの電源を切りたいときに4秒以上押すと、電源を切断できるモードに遷移します。 詳しくは「電源を切ります」（19ページ）をご覧ください。
⑦, ⑧	メニュー選択ボタン	メニュー モードに入り、表示内容を上下に進めます。
⑨	設定ボタン	メニュー モード中、表示した項目や値を確定します。
⑩	オンラインボタン	印刷できる状態（オンライン）とオフラインを切り替えます。
⑪	キャンセルボタン	印刷をキャンセルするときに、2秒以上押します。 メニュー モードを抜けたいときに、押します。

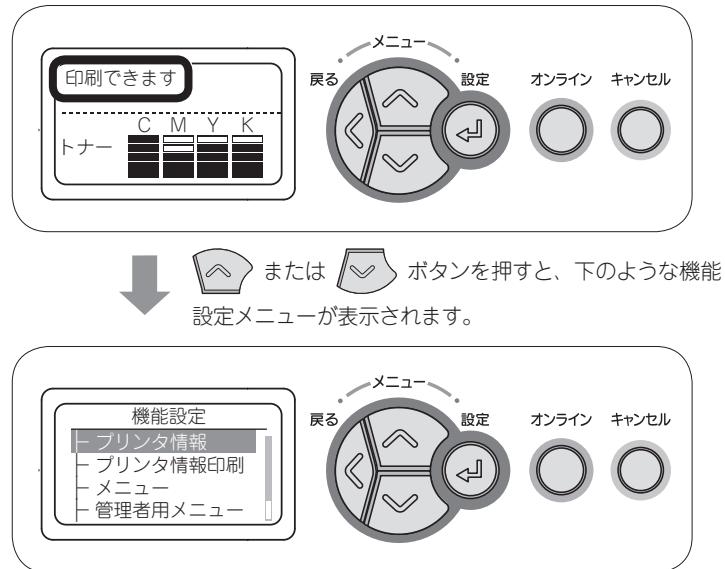
操作パネルのメニュー一覧

操作パネルを使って、消耗品の残量を確認したり、現在の設定を印刷したり、色の調整を行ったりします。

操作パネルで設定できる項目は、31 ページをご覧ください。

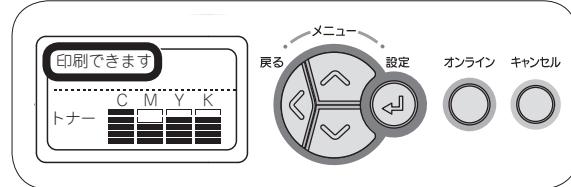
操作パネルの操作方法は、次をご覧ください。

操作方法

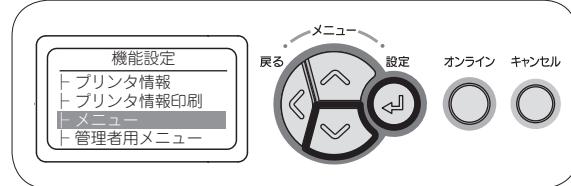


ここでは、マルチパーパストレイの用紙サイズを B5 に設定する場合を例に説明します。

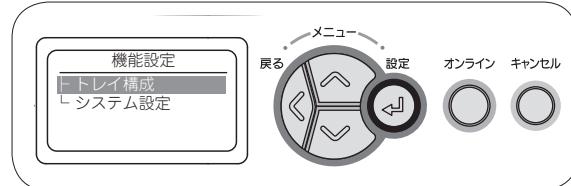
- ① 操作パネルに [印刷できます] と表示されていることを確認します。



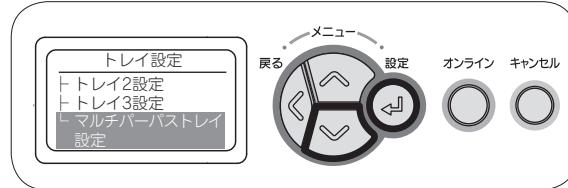
- ② ボタンを数回押して [メニュー] を選択し、設定ボタンを押します。



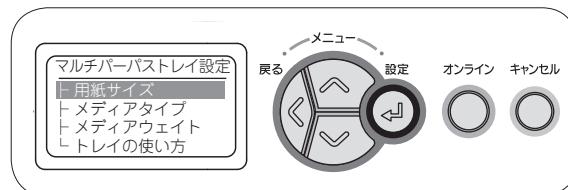
- ③ [トレイ構成] が選択されているので、設定ボタンを押します。



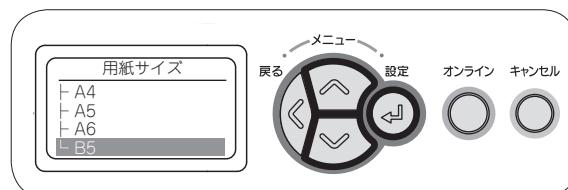
- ④ ボタンを数回押して [マルチバーパストレイ設定] を選択し、 設定ボタンを押します。



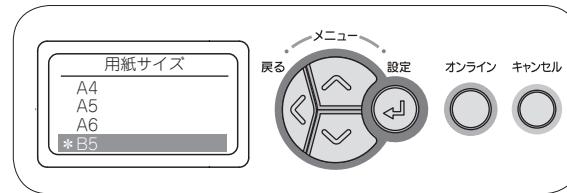
- ⑤ [用紙サイズ] が選択されているので、 設定ボタンを押します。



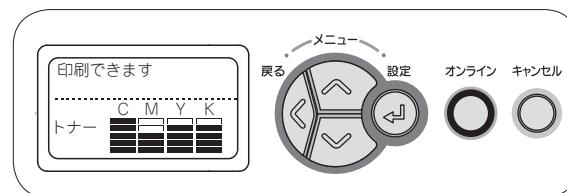
- ⑥ 、 ボタンで設定する用紙サイズを選択し、 設定ボタンを押します。ここでは、[B5] を選択した場合を例にしています。



- ⑦ 設定したサイズの左側に * が付いていることを確認します。



- ⑧ オンラインボタンを押し、[印刷できます] を表示します。



これで完了です。

操作パネルに表示されるメニューの一覧表です。メニューの設定方法は、「操作パネルのメニュー一覧」の「操作方法」(29 ページ)をご覧ください。
表中の「機能設定」とは、メニュー mode を示します。

機能設定メニュー

プリンタ情報

項目	設定値	機能
印刷枚数	トレイ1	xxxxxx トレイ1から給紙した用紙の枚数を表示します。
	トレイ2*	xxxxxx 各トレイから給紙した用紙の枚数を表示します。 *: オプションのトレイ2、トレイ3装着時に表示されます。
	トレイ3*	xxxxxx
	マルチバーバストレイ	マルチバーバストレイから給紙した用紙の枚数を表示します。
消耗品情報	シアンドラム	使用量 xxx% シアンドラムの使用量を%表示します。
	マゼンタドラム	使用量 xxx% マゼンタドラムの使用量を%表示します。
	イエロードラム	使用量 xxx% イエロードラムの使用量を%表示します。
	ブラックドラム	使用量 xxx% ブラックドラムの使用量を%表示します。
	ベルト	使用量 xxx% ベルトユニットの使用量を%表示します。
	定着器	使用量 xxx% 定着器ユニットの使用量を%表示します。
	トレイ1給紙ローラ	使用量 xxx% 給紙口ごとの、給紙ローラの使用量を%表示します。
	トレイ2給紙ローラ	使用量 xxx%
	トレイ3給紙ローラ	使用量 xxx%
	MPトレイ給紙ローラ	使用量 xxx%
	装置寿命	寿命 xxx% プリンタの装置寿命を%表示します。
	シアントナー (xxK) *	残り xxx% トナーの残量を%表示します。 *: 取り付けているトナーカートリッジの種類によって変わります。
	マゼンタトナー (xxK) *	残り xxx%
	イエロートナー (xxK) *	残り xxx% 2K: ドラムカートリッジ添付トナー、スタートナーカートリッジ、またはトナーカートリッジCL115A (カラー) 6K: トナーカートリッジCL115B (カラー)
	ブラックトナー (xxK) *	残り xxx% トナーの残量を%表示します。 *: 取り付けているトナーカートリッジの種類によって変わります。 2K: ドラムカートリッジ添付トナーまたはスタートナーカートリッジ 3K: トナーカートリッジCL115A (ブラック) 8K: トナーカートリッジCL115B (ブラック)

項目	設定値	機能
ネットワーク	プリンタ名*	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxx "Printer Name" (DNSやNetwork PnPで使用するPrinter Name) を表示します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定]-[TCP/IP]が[有効]のときに表示されます。
	ショートプリンタ名*	xxxxxxxxxxxxxxxx "Short Printer Name" (NetBIOS Computer Nameで使用されるPrinter Name) を表示します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定] の [TCP/IP] が [有効] のときに表示されます。
IPv4アドレス*	xxx.xxx.xxx.xxx	IPアドレスを表示します。 IPアドレス設定が自動で、IPアドレスが自動取得できなかった場合、「192.168.100.100」が表示されます。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定]-[TCP/IP]が[有効]のときに表示されます。
	サブネットマスク*	xxx.xxx.xxx.xxx サブネットマスクを表示します。 IPアドレス設定が自動で、IPアドレスが自動取得できなかった場合、「255.255.255.0」が表示されます。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定]-[TCP/IP]が[有効]のときに表示されます。
ゲートウェイアドレス*	xxx.xxx.xxx.xxx	ゲートウェイ (デフォルトルーター) アドレスを表示します。 IPアドレス設定が自動で、IPアドレスが自動取得できなかった場合、「0.0.0.0」が表示されます。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定]-[TCP/IP]が[有効]のときに表示されます。
	MACアドレス	xx:xx:xx:xx:xx:xx MACアドレス (イーサネットアドレス) を表示します。
Network FWバージョン	xx.xx	ネットワークファームウェアのバージョンを表示します。
Internet Serviceバージョン	xx.xx	Webページ (InternetService) のバージョンを表示します。
IPv6アドレス (ローカル) *	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx: xxxxxxxx:xxxxxxxxxxxx: xxx:	IPv6ローカルアドレスを表示します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[ネットワーク設定]-[TCP/IP]が[無効]、あるいは[IPバージョン]が[IPv4]のときには表示されません。

項目	設定値	機能
ネットワーク	IPv6アドレス（グローバル）*	IPv6グローバルアドレスを表示します。 *: [機能設定] - [管理者メニュー] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP]が[無効]、あるいは[IPバージョン]が[IPv4]のときには表示されません。
システム情報	プリンタシリアル番号	プリンタのシリアル番号を表示します。
	プリンタ管理番号	プリンタ管理番号を表示します。 プリンタ管理番号とはユーザーがプリンタ管理用に割り当てることのできる8文字の英数字です。
	ロット番号	プリンタロット番号を表示します。
	CUバージョン	CU (Control Unit) フームウェアの版数を表示します。
	PUバージョン	PU (Print Unit) フームウェアの版数を表示します。
	メモリ容量	RAMのサイズを表示します。
	フラッシュメモリ情報	フラッシュメモリのサイズを表示します。

プリンタ情報印刷

項目	設定値	機能
設定内容	印刷実行	メニュー設定値などの情報を印刷します。 (設定内容印刷)
ネットワーク	印刷実行	ネットワークに関する情報を印刷します。
デモページ	DEMO1	デモ印刷を行います。
ファイルリスト	印刷実行	ファイルリストを印刷します。
フォントリスト	印刷実行	エミュレーションのフォントリストを印刷します。
印刷集計結果	印刷実行	印刷利用状況の集計結果を印刷します。
エラーログ	印刷実行	エラーログを印刷します。

メニュー

網かけ部が初期値です。

項目	設定値	機能
トレイ構成	給紙トレイ	トレイ1 トレイ2* トレイ3* マルチバーストレイ *: オプションのトレイユニット装着時に表示されます。
	自動トレイ切替	オン オフ 自動トレイ切り替え機能を設定します。
	トレイ選択順序	下方向 上方向 給紙トレイ 自動トレイ選択／自動トレイ切り替え時の、選択順序を指定します。
	表示単位	インチ ミリメートル カスタム用紙（ユーザ定義サイズ）サイズの単位を指定します。
トレイ1設定	用紙サイズ	A4 A5 A6 B5 リーガル レター カスタム トレイ1の用紙を設定します。
	用紙幅*	105 ミリメートル ↓ 210 ミリメートル ↓ 216 ミリメートル トレイ1のカスタム用紙（ユーザ定義サイズ）の用紙幅を設定します。 幅とは用紙走行方向に対して垂直方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ1設定]-[用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。[表示単位] が [インチ] のときは、4.1 ~ 8.5（初期設定:8.3）インチになります。
	用紙長*	148 ミリメートル ↓ 297 ミリメートル ↓ 356 ミリメートル トレイ1のカスタム用紙（ユーザ定義サイズ）の用紙長さを設定します。 長さとは用紙走行方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ1設定]-[用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。[表示単位] が [インチ] のときは、5.8 ~ 14.0（初期設定: 11.7）インチになります。
	メディアウェイト	普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙1 ごく厚い紙2 トレイ1の用紙厚を設定します。

項目		設定値	機能	項目		設定値	機能
トレイ構成	トレイ2設定*: オプションのトレイ装着時に表示されます。	用紙サイズ	カセットサイズ カスタム	トレイ2の用紙を設定します。 「カセットサイズ」を選択するときは、実際にセットする用紙サイズとトレイの用紙サイズダイヤルを合わせてください。	トレイ構成	トレイ3設定*: オプションのトレイ装着時に表示されます。	トレイ3のカスタム用紙（ユーザ定義サイズ）の用紙長さを設定します。 長さとは用紙走行方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ2設定]-[用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。[表示単位] が [インチ] のときは、8.3 ~ 14.0（初期設定: 8.3）インチになります。
		用紙幅*	148 ミリメートル ↓ 210 ミリメートル ↓ 216 ミリメートル	トレイ2のカスタム用紙（ユーザ定義サイズ）の用紙幅を設定します。 幅とは用紙走行方向に対して垂直方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ2設定]-[用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。[表示単位] が [インチ] のときは、5.8 ~ 8.5（初期設定: 8.3）インチになります。		用紙長*	210 ミリメートル ↓ 297 ミリメートル ↓ 356 ミリメートル
		用紙長*	210 ミリメートル ↓ 297 ミリメートル ↓ 356 ミリメートル	トレイ2のカスタム用紙（ユーザ定義サイズ）の用紙長さを設定します。 長さとは用紙走行方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ2設定]-[用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。[表示単位] が [インチ] のときは、8.3 ~ 14.0（初期設定: 8.3）インチになります。		メディアウェイト	普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙1 ごく厚い紙2
		メディアウェイト	普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙1 ごく厚い紙2	トレイ2の用紙厚を設定します。		トレイ3の用紙厚を設定します。	
		トレイ3設定*: オプションのトレイ装着時に表示されます。	用紙サイズ	トレイ3の用紙を設定します。 「カセットサイズ」を選択するときは、実際にセットする用紙サイズとトレイの用紙サイズダイヤルを合わせてください。		マルチバーバストレイ設定	A4 A5 A6 B5 リーガル レター カスタム はがき 往復はがき 封筒 長形3号 封筒 長形4号 封筒 洋形4号 封筒 A4
		用紙幅*	148 ミリメートル ↓ 210 ミリメートル ↓ 216 ミリメートル	トレイ3のカスタム用紙（ユーザ定義サイズ）の用紙幅を設定します。 幅とは用紙走行方向に対して垂直方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [トレイ3設定]-[用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。[表示単位] が [インチ] のときは、5.8 ~ 8.5（初期設定: 8.3）インチになります。		用紙幅*	64 ミリメートル ↓ 210 ミリメートル ↓ 216 ミリメートル
		用紙長*				用紙長*	127 ミリメートル ↓ 297 ミリメートル ↓ 1321ミリメートル
		メディアタイプ	普通紙 ラベル紙	マルチバーバストレイのカスタム用紙（ユーザ定義サイズ）の用紙長さを設定します。 長さとは用紙走行方向です。 *: [機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [マルチバーバストレイ設定]-[用紙サイズ] が [カスタム] のときに表示されます。[表示単位] が [インチ] のときは、5.0 ~ 52.0（初期設定: 11.7）インチになります。		メディアタイプ	マルチバーバストレイの用紙種別を設定します。

項目		設定値	機能
トレイ構成	マルチバーバストレイ設定	メディアウェイト	<p>普通紙 やや厚い紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙1 ごく厚い紙2 ごく厚い紙3</p>
		トレイの使い方	<p>用紙違いの時 使用しない</p> <p>マルチバーバストレイの使い方を設定します。 用紙違いの時： 用紙違い（トレイの用紙サイズ／メディアタイプが印刷データと不一致）が発生した場合、指定トレイではなく、マルチバーバストレイに用紙要求を出します。 使用しない： 自動トレイ選択／自動トレイ切り替えの両方でマルチバーバストレイを使用不可とします。 ただし、[機能設定] - [メニュー] - [トレイ構成] - [給紙トレイ] で [マルチバーバストレイ] が指定されている場合は、「使用しない」が選択されても、動作は「トレイとして」が選択されているのと同様になります（マルチバーバストレイを自動トレイに使用）。</p>
	両面最終ページ	白紙スキップ 常時印刷	<p>ページ数が奇数の場合に両面印刷したときの動作を設定します。 白紙スキップの場合： 最終ページは片面印刷します。 常時印刷の場合： 常に両面印刷します。</p>
システム設定	パワーセーブ移行時間	1分 2分 3分 4分 5分 10分 15分 30分 60分 120分 180分	パワーセーブモードに移行するまでの時間を設定します。

項目		設定値	機能
システム設定	スリープ移行時間	1分 2分 3分 4分 5分 10分 15分 30分 60分 120分 180分	パワーセーブモードからスリープモードに移行するまでの時間を設定します。
	タイムアウト印刷	オフ 5秒 10秒 20秒 30秒 40秒 50秒 60秒 90秒 120秒 150秒 180秒 210秒 240秒 270秒 300秒	データを受信しなくなつてから強制印刷を行うまでの時間を設定します。
トナーロー時の印刷	継続	トナーロー検出時のプリンタ動作を設定します。 [継続] 時はオンラインのままで印刷継続可能です。 [中止] 時はオフラインになります。	
	ジャムリカバー	オン オフ	ジャム時にリカバリ印刷を行うかを設定します。 [オフ] 時は発生したページを含むジョブをキャンセルします。
印刷位置補正	X補正	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル +0.50 ミリメートル +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル -0.25 ミリメートル	印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に垂直な方向（横方向）に補正します（0.25mm間隔）。

項目		設定値	機能
システム設定	印刷位置補正	Y補正 0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ↓ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ↓ -0.25 ミリメートル	印刷イメージ全体の位置を用紙の印刷走行方向(縦方向)に補正します(0.25mm間隔)。
	両面印刷X補正	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ↓ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ↓ -0.25 ミリメートル	両面印刷時の裏面印刷時に印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に垂直な方向(横方向)に補正します(0.25mm間隔)。
	両面印刷Y補正	0.00 ミリメートル +0.25 ミリメートル ↓ +2.00 ミリメートル -2.00 ミリメートル ↓ -0.25 ミリメートル	両面印刷時の裏面印刷時に印刷イメージ全体の位置を用紙の印刷走行方向(縦方向)に補正します(0.25mm間隔)。
	普通紙ブラック設定	0 +1 +2 -2 -1	普通紙使用時のブラックの見た目の弱さやわずかにシミ・スジといったものが目立ってきた場合に微調整を行う機能です。わずかなシミ・スジ、および濃度の高い部分が薄く印刷される場合には値を下げます。
	普通紙カラー設定	0 +1 +2 -2 -1	普通紙使用時のカラーの見た目の弱さやわずかにシミ・スジといったものが目立ってきた場合に微調整を行う機能です。わずかなシミ・スジ、および濃度の高い部分が薄く印刷される場合には値を下げます。
	SMR 設定	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	画質にむらがある場合に値を変更します。プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。

項目		設定値	機能
システム設定	BG 設定	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	下地が濃い場合に値を変更します。プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。全体的にトナーが付着(かぶり)が発生したときに、マイナス方向に変更することで改善される場合があります。
	ヘキサダンプ	実行	受信したデータを16進数の形式で印刷出します。

管理者用メニュー

項目		設定値	機能
パスワード入力		xxxxxxxxxxxx	管理者用メニューに入るためのパスワードを入力します。パスワードは6~12桁の数字および英小文字で、初期値は“aaaaaa”です。
ネットワーク設定	TCP/IP	有効 無効	TCP/IPプロトコルの有効/無効を設定します。
	IPバージョン*	IP v4 IP v4+v6	IPのバージョンを設定します。 *: [機能設定] - [管理者用メニュー] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP] が「有効」のときに表示されます。
	NetBIOS over TCP*	有効 無効	NetBIOS over TCPプロトコルの有効/無効を設定します。 *: [機能設定] - [管理者用メニュー] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP] が「有効」のときに表示されます。
	IPアドレス設定*	自動 手動	IPアドレスの設定方法を設定します。 *: [機能設定] - [管理者用メニュー] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP] が「有効」のときに表示されます。
	IPv4アドレス*	xxx.xxx.xxx.xxx	IPアドレスを設定します。 IPアドレス設定が自動で、IPアドレスが自動取得できなかった場合、「192.168.100.100」が表示されます。 *: [機能設定] - [管理者用メニュー] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP] が「有効」のときに表示されます。

項目	設定値	機能
ネットワーク設定	サブネットマスク*	サブネットマスクを設定します。IPアドレス設定が自動で、IPアドレスが自動取得できなかった場合、「255.255.255.0」が表示されます。 *: [機能設定] - [管理者用メニュー] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP] が「有効」のときに表示されます。
	ゲートウェイアドレス*	ゲートウェイ(デフォルトルーター)アドレスを設定します。IPアドレス設定が自動で、IPアドレスが自動取得できなかった場合、「0.0.0.0」が表示されます。 0.0.0.0はルーター無しを意味します。 *: [機能設定] - [管理者用メニュー] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP] が「有効」のときに表示されます。
	Web*	Web (InternetService) の有効/無効を設定します。 *: [機能設定] - [管理者用メニュー] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP] が「有効」のときに表示されます。
	SNMP*	SNMPの有効/無効を設定します。 *: [機能設定] - [管理者用メニュー] - [ネットワーク設定] の [TCP/IP] が「有効」のときに表示されます。
	ネットワークの規模	「普通」のときは、スパニングツリー機能をもつハブに接続した場合でも効率良く動作します。ただし、コンピューターが2,3台の小さなLANに接続すると、プリンタの起動時間が長くなります。 「小規模」のときは、コンピューターが2,3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパニングツリー機能をもつHUBに接続した場合に効率良く動作できない場合があります。
	ハブとの接続	ハブとの接続方法を設定します。 自動 100Base-TX Full 100Base-TX Half 10Base-T Full 10Base-T Half



管理者用パスワードを忘れた場合は、オンラインボタンと設定ボタンを同時に押しながらプリンタの電源を入れ、一時的にパスワードを初期値の「aaaaaa」にしてから、パスワード変更で新しいパスワードを設定してください。

項目	設定値	機能
ネットワーク設定	工場出荷時設定	実行 ネットワークメニューの初期化を行うかを指定します。
印刷設定	コピー枚数	1 5 999 コピー枚数を設定します。 ローカル印刷には、データを除き、本設定は効きません。
	両面印刷	オン オフ 両面印刷を指定します。 両面印刷ユニット装着時に表示されます。
	綴じ方*	長辺綴じ 短辺綴じ 両面印刷の綴じ方を指定します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[印刷設定]-[両面印刷]が「オン」のときに表示されます。
	用紙チェック	有効 無効 印刷データの用紙サイズとトレイの用紙サイズの不整合をチェックするか否かを設定します。 定型サイズの用紙のみがチェック対象です。
	解像度	600dpi 600×1200dpi 600dpi multi-level 解像度を設定します。
	トナーセーブモード	オン オフ トナーセーブのオン/オフを設定します。
	モノクロ印刷速度	モノクロ速度優先 カラー速度優先 ドラム寿命優先 モノクロページの印刷速度を設定します。「モノクロ速度優先」は、モノクロの大量印刷に適したモードです。「カラー速度優先」は、カラーの印刷に適したモードです。モノクロ、カラーページのいずれの場合でも常にカラーモード34ページ/分で印刷しますが、カラードラムカートリッジの寿命が短くなります。「ドラム寿命優先」は、モノクロとカラーの切り替えに時間がかかりますが、ドラムカートリッジの寿命を延ばすことができます。
	印刷方向	縦 横 印刷方向を設定します。
	1ページ行数	5行 64行 128行 1ページに印字可能な行数を設定します。 左記の初期値は、A4での値です。実際にはトレイにセットされている用紙サイズに連動して値が変わります。
カラー設定	UCR	少ない 普通 多い カラー印刷するときの墨版(黒)の量を選択できます。墨版の量を多くすると他の3色のトナー量の節約になります。
	CMY100%濃度	有効 無効 CMY100%階調値に対する100%出力を有効とするかどうかを選択します。

項目	設定値	機能
メモリ設定	受信バッファサイズ 自動 0.5 MB 1 MB 2 MB 4 MB 8 MB 16 MB 32 MB*	受信バッファーサイズを設定します。 ※ メモリ容量により表示されない設定値があります。
システム設定	ニアライフ時のステータス 有効 無効	ドラム、定着器ユニット、ベルトのニアライフケーリング発生時のLCD表示制御の設定を行います。
	ニアライフ時のLED 有効 無効	トナー、ドラム、定着器ユニット、ベルトのニアライフケーリング発生時のLED点灯制御の設定を行います。
パスワード変更	新しいパスワード xxxxxxxxxxxx	[管理者用メニュー]に入るための新しいパスワードを設定します。
	パスワードの再入力 xxxxxxxxxxxx	[新しいパスワード]で設定した、[管理者用メニュー]メニューに入るための新しいパスワードを確認入力します。
設定値	出荷時に戻す 実行	ユーザメニュー設定を工場出荷時状態に戻します。
	設定の保存 実行	現在のメニュー設定を保存します。
	設定の呼び出し 実行	保存しているメニュー設定に変更します。

プリンタ調整

項目	設定値	機能
自動濃度補正モード	オン オフ	濃度補正と階調補正を自動で行うかを選択します。 オンの場合：エンジンが規定する所定の条件で自動的に濃度補正を実行し、階調補正に反映します。 オフの場合：自動的に濃度補正を行いません。 濃度補正を行いたいときは、[濃度補正]メニューを選択し、実行します。
濃度補正	実行	実行を選択すると、濃度補正を行います。 プリンタが処理を行っていないときに実行してください。
色ずれ補正	実行	このメニューを選択すると、プリンタは自動色ずれ補正動作を実行します。 プリンタが処理を行っていないときに実行してください。
調整パターン印刷	実行	カラー調整のためのパターンを印刷します。
シアン 調整	Highlight +3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンのハイライト部（薄い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
Mid-Tone	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
Dark	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンのダーク部（濃い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。

項目	設定値	機能	
マゼンタ調整	Highlight	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタのハイライト部（薄い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Mid-Tone	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Dark	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタのダーク部（濃い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
イエロー調整	Highlight	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローのハイライト部（薄い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Mid-Tone	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Dark	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローのダーク部（濃い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。

項目	設定値	機能	
ブラック調整	Dark	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローのダーク部（濃い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Highlight	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックのハイライト部（薄い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Mid-Tone	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックの中間部を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
シアン濃度	Dark	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックのダーク部（濃い領域）を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	Highlight	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの濃度を調整します。
	Mid-Tone	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの濃度を調整します。
	Dark	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの濃度を調整します。
	Highlight	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの濃度を調整します。
	Mid-Tone	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの濃度を調整します。

項目	設定値	機能
マゼンタ濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの濃度を調整します。
イエロー濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの濃度を調整します。
ブラック濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックの濃度を調整します。

Boot Menu

プリンタのシステム設定を変更することができます。

プリンタのシステム管理者の方のみ使用してください。

Boot Menu を表示するには、 設定ボタンを押しながら、電源スイッチを入れます。

メモ Boot Menu を表示するには、パスワードの入力が必要です。パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

分類	項目	設定値	機能
	Enter Password	*****	Boot Menuに入るためのパスワードを入力します。 パスワードは、6~12桁の数字および英小文字で、初期値は“aaaaaa”です。
Color Setup	Colorless Mode	Enable Disable	カラー（シアン、マゼンタ、イエロー）トナーの、いすれかがなくなった場合でもブラックトナーが残っていれば、モノクロで印刷することができます。 カラーの印刷データもすべてモノクロ印刷になります。 カラーレスモード設定時は、操作パネルに「印刷できます カラーレス」と表示されます。 注：カラートナーを購入いただくまでの、一時的な回避策となりますので画質保証はできません。 カラーレスマード設定時も、電源投入時/定期的な色合わせや濃度補正によりドラムカートリッジやトナーを消費します。
USB Setup	USB	Enable Disable	USBインターフェースの有効/無効を設定します。
	Speed	480Mbps 12Mbps	USBインターフェースの最大転送速度を設定します。
	Soft Reset	Enable Disable	Soft Reset コマンドの有効/無効を設定します。
	Serial Number	Enable Disable	USBシリアルナンバーの有効/無効を指定します。
Power Setup	Power Save	Enable Disable	パワーセーブモードの有効/無効を設定します。
	Sleep	Enable Disable	スリープモードの有効/無効を設定します。
Sysytem Setup	High Humid Mode	On Off	印刷した用紙が反るときに、Onすることで反りを低減できる場合があります。 注：Onにすると、ウォームアップ時間や印刷速度が通常より長くなります。

(MEMO)

2

3 ネットワーク接続で Windows にセットアップします

動作環境	42
ケーブルを接続します	43
Windows にセットアップします	44
WSD 印刷の設定 (Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合)	49
印刷できないときには	52



動作環境

Ethernet 対応のネットワークインターフェースを搭載している富士通製コンピューターおよび PC/AT 互換機で、日本語版の動作する次の OS の機種

- Windows 7 64 ビット版
- Windows 7 32 ビット版
- Windows Vista 64 ビット版
- Windows Vista 32 ビット版
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2008 (64-bit)
- Windows Server 2008 (32-bit)
- Windows XP x64 Edition
- Windows XP
- Windows Server 2003 R2, x64 Edition
- Windows Server 2003 R2
- Windows Server 2003, x64 Edition
- Windows Server 2003



プリントドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

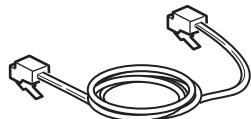
ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

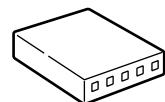


プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉



〈ハブ〉



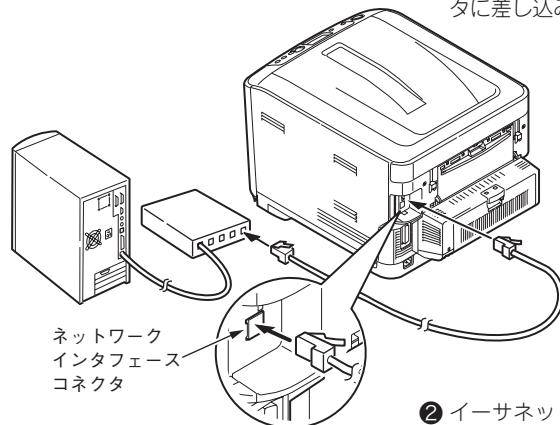
2 プリンタとコンピューターの電源を OFF にします。



プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」(19 ページ) をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

- ① イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインターフェースコネクタに差し込みます。



- ② イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

Windows にセットアップします

セットアップの流れ

3



セットアップします

設定方法の種類

IP アドレスを設定する方法には、プリンタに直接設定する手動設定と、プリンタの電源投入時に DHCP サーバーから自動的に取得する自動取得設定の 2 つがあります。ご使用の環境にあわせていずれかの方法で設定してください。

IP アドレスの設定はプリンタの操作パネルから直接操作して行います。

現在のプリンタに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information) に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報 (Network Information) については、「設定内容印刷をします」(18 ページ) をご覧ください。



- IP アドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりインターネットに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、インターネット接続しているプロバイダーに、プリンタに設定できる IP アドレスなどを確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバー(DHCP など)は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、インターネット接続しているプロバイダーやルーターメーカーに確認してください。
- セットアップには管理者の権限が必要です。
- 「セットアップします」の手順は、特に表記がない限り、Windows 7 での操作方法を記載しています。OS によって画面や操作手順が異なる場合があります。



- IPv6 アドレスで接続している場合、「Color Printia LASER プリンタユーティリティセットアップ」を使用したインストールはできません。OS 標準のインストーラで、Standard TCP/IP ポート、または IPP ポートでのインストールを行います。
インストール方法については「OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷／LPR 印刷)」「OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)」(ソフトウェアガイド) をご覧ください。

メモ

- ・プリンタはネットワークプラグアンドプレイに対応しています。接続しているすべてのコンピューターでWindowsの場合や、接続しているルーターがネットワークプラグアンドプレイに対応している場合は、ネットワーク上にサーバーが存在しなくても自動的にIPアドレスを設定します。コンピューターとプリンタにIPアドレスを手動で設定する必要はありませんので、「プリンタドライバをインストールします」(46ページ)からセットアップしてください。
- ・コンピューター1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください(「RFC1918」による)。

コンピューター

IP アドレス : 192.168.0.1 ~ 254 のいずれか
 サブネットマスク : 255.255.255.0
 ゲートウェイ : 0.0.0.0 (使用しません)
 DNS : 使用しません

プリンタ

IP アドレス : 192.168.0.1 ~ 254 のいずれか
 (コンピューターと異なるもの)
 サブネットマスク : 255.255.255.0
 ゲートウェイ : 0.0.0.0
 DHCP を使用する : チェックしない
 LAN : SMALL

次の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: Windows 7 Professional
プリンタ	: XL-C2340
IP アドレス	: 192.168.0.3 (コンピューター), 192.168.0.2 (プリンタ)
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

IP アドレスを設定します**メモ**

すでにプリンタにIPアドレスなどを設定したり、自動取得している場合は、「プリンタドライバをインストールします」(46ページ)へ進みます。

- ① 電源スイッチのオン (I) を押します。
- ② 操作パネルに [印刷できます] と表示されていることを確認します。
- ③ ボタンを数回押し、[管理者用メニュー] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ④ パスワード入力画面になるので、 ボタンまたは ボタンで1桁目の英小文字または数字を選択し、 設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。
 最後に 設定ボタンを押します。
- ⑤ ボタンまたは ボタンを押して[ネットワーク設定]を選択し、 設定ボタンを押します。
- ⑥ ボタンを数回押して[IPv4 アドレス]を選択し、 設定ボタンを押します。

- ⑦ ボタンまたは ボタンを押し、IP アドレスの 1 術目を設定します。
ボタンを 2 秒以上押すと、早送りされます。
 - ⑧ 設定ボタンを押します。
 - ⑨ ⑦～⑧を繰り返し、すべての術を設定します。
 - ⑩ 4 術目を設定すると設定した値の左側に * がつきます。
 - ⑪ 戻るボタンを押します。
 - ⑫ [IPv4 アドレス] と同様に、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定します。
 - ⑬ オンラインボタンを押します。
- プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。
[印刷できます] と表示されたら完了です。

プリンタドライバをインストールします

管理者の権限が必要です。

- ❶ プリンタの電源が ON で、Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の CD-ROM 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」をコンピューターにセットします。
「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。
- メモ 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある 「XLSTART.EXE」 をダブルクリックしてください。「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
ウィンドウを閉じる場合は、右上の × をクリックします。
- ❷ [自動再生] が表示されたら、[Xlstart.exe の実行] をクリックします。
- ❸ 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」または [続行] をクリックします。
- ❹ [プリンタドライバのインストール] をクリックします。



(お使いの OS により表示されるメニューは異なります)

(Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合)

「ユーザー アカウント 制御」 ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

(Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合)

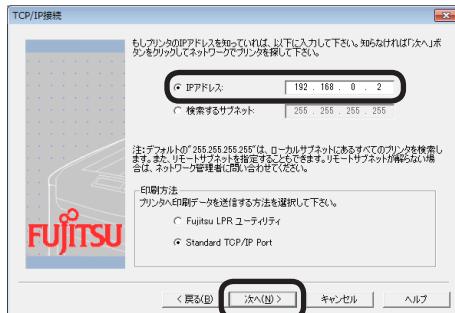
「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。

インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」 ウィンドウが表示されます。

⑤ [ネットワークプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

⑥ [TCP/IP プロトコル] を選択し、[次へ] をクリックします。

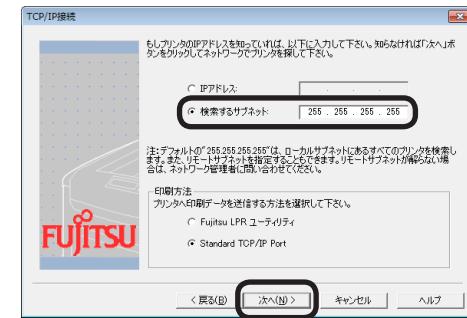
⑦ 「IP アドレスを設定します」(45 ページ) で設定したプリンタの IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。



メモ 「検索するサブネット」を使用して検索を行う場合は、次のアドレスを入力します。

- ・ プリンタがローカルサブネットにある場合 : 255.255.255.255
- ・ プリンタが別のサブネットにある場合 : サブネットのブロードキャストアドレスを入力します。ブロードキャストアドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。

プリンタの IP アドレスが自動取得の場合や、IP アドレスがわからない場合は、[検索するサブネット] を選択し、[次へ] をクリックします。



- メモ**
- ・ IP アドレスを自動取得にした場合には、「印刷方法」で LPR ユーティリティを選択してください。
 - ・ プリンタドライバインストール後、LPR ユーティリティを起動し、[オプション] - [設定] を選択し、[自動的に IP アドレスを再設定する] をチェックしてください。(詳しくはソフトウェアガイドをご覧ください。)

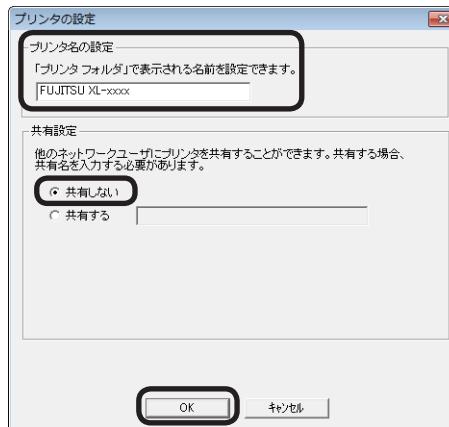
⑧ 手順⑦で[検索するサブネット]を選択した場合、検索された「プリンタリスト」 ウィンドウが表示されるので、プリンタの機種名を選択し、[次へ]をクリックします。



- ⑨「通常使うプリンタ」にする場合は、一覧中のチェックボックスにチェックを付け、[次へ] をクリックします。プリンタ名の変更や、共有設定を行う場合は、[プリンタ名の変更 / 共有設定] をクリックします。



- ⑩ プリンタ名を入力し、[共有しない] を選択し、[OK] をクリックします。



- ⑪ プリンタドライバと Standard TCP/IP と Network Extension がインストールされます。

[Windows セキュリティ] ウィンドウが表示されたら、[このドライバをインストールします] をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合で、[ソフトウェアをインストール] 画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

- ⑫ 「コンピュータの再起動」ウィンドウが表示されたら、「再起動する」を選択し、[完了] をクリックします。Windows が再起動します。

- ⑬ 「インストールの完了」ウィンドウが表示されたら、[完了] をクリックします。

- ⑭ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では [スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。

Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択します。

Windows XP/Windows Server 2003 では [スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。

[プリンタ] または [プリンタと FAX] フォルダーにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

メモ

- 複数のドライバーをインストールした場合は、インストールした数分のプリンタアイコンが追加されます。
- 複数のネットワークアダプターが搭載されているコンピューター（無線 LAN 搭載のノートパソコンなど）では、ネットワーク上のプリンタが検索できない場合があります。この場合は「検索するサブネット」で検索を行うネットワークアドレスを指定してください。



WSD 印刷の設定 (Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合)



- ・ 使用するコンピューターとプリンタは、同じサブネット内でネットワーク接続されている必要があります。
- ・ 「WSD 印刷」を利用する場合は「Color Printia LASER InternetService (管理者モード)」で「WSD Print」を【有効】にしておく必要があります（初期値は【有効】です）。「WSD Print」は、「ネットワーク」 - 「TCP/IP」 - 「ステップ 2.>> (追加設定) その他の TCP/IP 設定」を順にクリックすると、表示されます。
- ・ 正常にインストールされないときは、手順⑧の画面でプリンタアイコンを右クリックし「アンインストール」をクリックして、最初からインストールし直してください。
- ・ WSD 印刷の設定の前に、プリンタドライバをインストールしておく必要があります。
そのため、USB でプリンタを使用する手順でプリンタドライバをインストールします。

1

セットアッププログラムを起動します。

- ① プリンタの電源がONで、Windowsが起動していることを確認し、プリンタに添付のCD-ROM「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」をコンピューターにセットします。

「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。



「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用してCD-ROMを開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
ウィンドウを閉じる場合は、右上の×をクリックします。

- ② [自動再生] が表示されたら、[Xlstart.exe の実行] をクリックします。

- ③ [ユーザーアカウント制御] ウィンドウが表示されたら、[はい] または[続行] をクリックします。

- ④ [プリンタドライバのインストール] をクリックします。



- 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、[はい] または[続行] をクリックします。

- ⑤ [ローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。



3

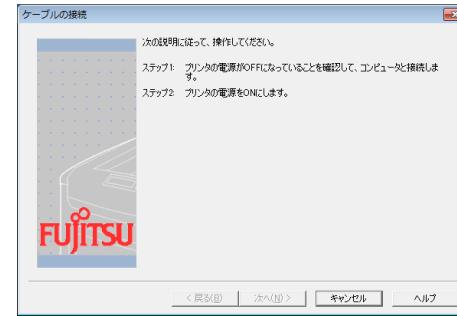
- ⑥ ポートで [USB] を選択し、[次へ] をクリックします。



「しばらくお待ちください」ウィンドウが表示され、ファイルのコピーが行われます。



「ケーブルの接続」ウィンドウが表示されます。



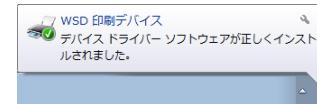
このままの状態で「WSD 印刷の設定」を行います。

- ⑦ [スタート] - [ネットワーク] の順にクリックします。

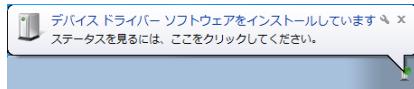
- ⑧ プリンタアイコンを右クリックし、[インストール] をクリックします。



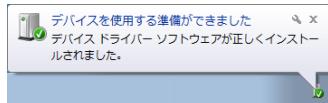
画面右下の通知領域に「デバイストライバーソフトウェアが正しくインストールされました」と表示されます。



引き続き、画面右下の通知領域に「デバイストライバーソフトウェアをインストールしています」と表示されます。



しばらくすると、「デバイスドライバーソフトウェアが正しくインストールされました」と表示されます。



「プリンタドライバのインストール完了」ウィンドウが表示されます。

⑨ [完了] をクリックします。



「デバイスとプリンター」フォルダーにプリンタアイコンが追加されていれば、プリンタドライバのインストールは完了です。

メモ プリンタドライバを削除したり、アップデートする場合は、「困ったときには」の「プリンタドライバを削除するには」、「プリンタドライバを更新するには」(ソフトウェアガイド)をご覧ください。

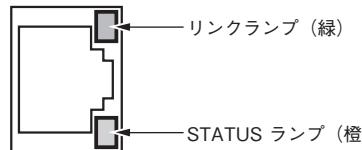


印刷できないときには

最初に確認します

現象

- ネットワークインターフェースコネクタのリンクランプ（緑）を確認します。100BASE-TX/10BASE-Tで接続している場合に点灯します。点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUS ランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。



- ハブのLINKランプが点灯しません。
- Pingに応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源がONになっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源をONにします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源をONにするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「ハブとの接続」を「10Base-T Half」に設定してください。設定方法は次をご覧ください。

- 電源スイッチのオン (I) を押します。
- 操作パネルに「印刷できます」と表示されていることを確認します。
- ボタンを数回押し、「管理者用メニュー」を選択し、設定ボタンを押します。
- パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで1桁目の数字を選択し、設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。
最後に設定ボタンを押します。
- ボタンまたはボタンを押して「ネットワーク設定」を選択し、設定ボタンを押します。
- ボタンを数回押し「ハブとの接続」を選択し、設定ボタンを押します。
- [10Base-T Half] を選択し、設定ボタンを押します。
- オンラインボタンを押します。
「印刷できます」と表示されたら完了です。
- ハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重／半二重）を「自動切替」から「10Base-T Half」にしてください。（設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

- [スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続]を選択します。
(Windows Vista/Windows Server 2008では[スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークの状態とタスクの表示]-[ネットワーク接続の管理]を選択します。Windows Server 2003では[スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワーク接続]を選択します。
[ローカルエリア接続]をダブルクリックし、[プロパティ]に[インターネットプロトコル(TCP/IP)]が表示されていることを確認します。
- [インターネットプロトコル(TCP/IP)]の[プロパティ]をクリックし、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]が正しいことを確認します。
- セットアップ時にIPアドレスでプリンタを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これはWindowsの仕様によるものです。
- [プリンタとFAX](Windows Vistaは[プリンタ])フォルダーから、[FUJITSU XL-C2340]アイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択し、[ポート]タブの[ポートの構成]をクリックして[プリンタ名またはIPアドレス]が、プリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
- 「FUJITSU LPRユーティリティ」ウィンドウで、[使用しているプリンタ]を選択してから[リモートプリントメニュー]-[プリンタの再設定]を選択し、[IPアドレス]がプリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
FUJITSU LPRユーティリティの最新版は富士通製品情報ページ(<http://www.fmworld.net/biz/>)で入手できます。バージョンが古い場合は、いったん“FUJITSU LPRユーティリティを削除”してから最新版をインストールしてください。

- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IPアドレス]	Windows	192.168.0.3
プリンタ	192.168.0.2	
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
プリンタ	255.255.255.0	
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
プリンタ	0.0.0.0	

3 ネットワーク接続で Windows にセットアップします

(MEMO)

3

4 USB 接続でWindowsにセットアップします

動作環境	56
Windowsにセットアップします	57
セットアップがうまくいかないとき	61
USB接続でセットアップできないときには	64



動作環境

富士通製コンピューターおよび PC/AT 互換機で、日本語版の動作する次の OS の機種

- Windows 7 64 ビット版
- Windows 7 32 ビット版
- Windows Vista 64 ビット版
- Windows Vista 32 ビット版
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2008 (64-bit)
- Windows Server 2008 (32-bit)
- Windows XP x64 Edition
- Windows XP
- Windows Server 2003 R2, x64 Edition
- Windows Server 2003 R2
- Windows Server 2003, x64 Edition
- Windows Server 2003



- ・印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- ・USB ケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
- ・他のすべての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- ・同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダーに「****」「****(コピー 1)」「****(コピー 2)」(**** はプリンタ機種名)と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- ・USB ハブを使用する場合は、コンピューターと直接接続された USB ハブに接続してください。
- ・プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。



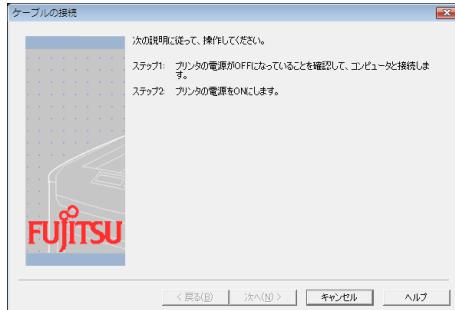
USB インタフェースケーブルは USB2.0 仕様で長さ 5m 以内（2m 以内を推奨）のものをお使いください。



Windows にセットアップします



USB インターフェースでプリンタを使用する場合は、「プリンタドライバをインストールする」のセットアッププログラムの「ケーブルの接続」ウィンドウが表示されてから USB ケーブルを接続してください。



プリンタドライバをインストールする

1

USB ケーブルを準備します。



プリンタのケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。

2

プリンタとコンピューターの電源を OFF にします。



- ・ プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」(19 ページ) をご覧ください。
- ・ USB ケーブルはコンピューター、プリンタの電源が ON の状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USB ドライバーのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源を OFF にしておきます。



管理者の権限が必要です。

次の説明は Windows 7 を例にしています。

3

コンピューターの電源を ON にし、Windows を起動します。



ここでは、プリンタの電源を OFF にしておきます。



電源の切り方は「電源を切ります」(19 ページ) をご覧ください。

4

セットアッププログラムを起動します。

①

- 添付の CD-ROM 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」をコンピューターにセットします。
「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。



「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。

②

- 〔自動再生〕が表示されたら、[Xlstart.exe の実行] をクリックします。

4

5 プリンタドライバをインストールします。

- ① 「プリンタドライバのインストール」をクリックします。

インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」ウィンドウが表示されます。Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合、プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。



- ② [ローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。



ネットワークで接続する場合は、「ネットワーク接続で Windows にセットアップします」(41 ページ) をご覧ください。

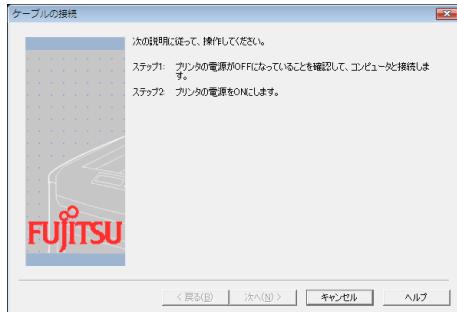
- ③ ポートで [USB] を選択し、[次へ] をクリックします。



- ④ ファイルのコピーが行われます。

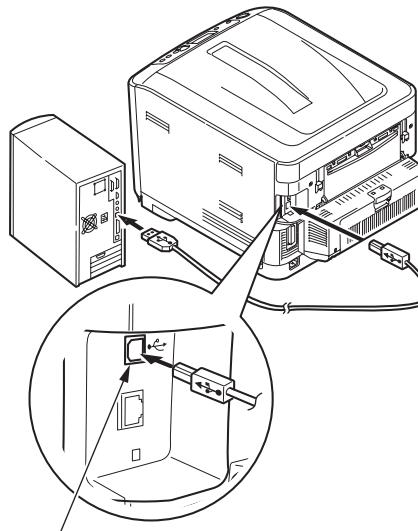
6 プリンタドライバをインストールします。

- ① 「ケーブルの接続」 ウィンドウが表示されたら、画面の指示に従いプリンタドライバをインストールします。



7 USB ケーブルを接続します。

ここでは、USB インターフェースに接続する手順を説明します。



- ① USB ケーブルをプリンタの USB インターフェースコネクタに差し込みます。

注! USB ケーブルをネットワークインターフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

- ② USB ケーブルをコンピューターの USB インターフェースコネクタに差し込みます。

- ③ プリンタの電源を ON にします。

「コンピュータの再起動」 ウィンドウが表示されたら？

☞ ⑥に進みます。

- ④ 「インストール完了」 ウィンドウが表示されたら、[完了] をクリックします。

⑤ [プリンタ] を選択します。

Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択します。

Windows XP/Windows Server 2003 では [スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。

[プリンタ] または [プリンタとFAX] フォルダーにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

4

メモ 複数のドライバーをインストールした場合は、インストールした数分のプリンタアイコンが追加されます。

③からの続き

⑥ [再起動する] にチェックを付け、[完了] をクリックします。

Windows が再起動されます。

⑦ Windows が完全に起動したら、④に戻ります。

 プリンタドライバを削除したり、アップデートする場合は、「困ったときには」の「プリンタドライバを削除するには」、「プリンタドライバを更新するには」(ソフトウェアガイド) をご覧ください。



セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ] フォルダーにプリンタアイコンが作成されない場合

プリンタドライバが正しくセットアップされていません。再度プリンタドライバのセットアップを行ってください。

詳しくは、「Windows にセットアップします」(57 ページ) をご覧ください。

[プリンタ] フォルダーにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。次の手順に従って設定を確認します。

- ❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では [スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。

Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択します。

Windows XP/Windows Server 2003 では [スタート] - [プリンタとFAX] を選択します。

- ❷ プリンタアイコンを右クリックして [プロパティ] (Windows 7 では [プリンターのプロパティ]) を選択します。

- ❸ [ポート] タブの [印刷するポート] で、接続先のポートを下記の設定にします。

USB ケーブルで接続する場合 : [USBxxx]



[印刷するポート] に [USBxxx] が表示されないときは、プリンタの電源が ON になっていることを確認して USB ケーブルを接続し直し、再度❶～❸を行ってください。

1 つのプリンタドライバしかインストールできない場合

2つ目以降のプリンタドライバをインストールする場合は次のようにしてください。

- ① セットアッププログラムを起動します。
- ② 画面の指示に従ってセットアップし、「ポートの選択」ウィンドウで接続先のポートを「FILE」に設定します。
- ③ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。
詳しくは、「Windowsにセットアップします」(57 ページ)をご覧ください。
- ④ [プリンタ] フォルダー（Windows XP/Windows Server 2003 では [プリンタとFAX] フォルダー）で2つ目以降のプリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- ⑤ [ポート] タブの「印刷するポート」で「[USBxxx]」にチェックを付けます。

セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合

USB 接続する場合、プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。次の手順でセットアップを行っているか確認してください。

Windows 7/Windows Server 2008 R2の場合

「Windowsにセットアップします」(57 ページ) の手順 1 ~ 7 をご覧になり、「ケーブルの接続」ウィンドウが表示され USB ケーブルを接続したら、次の手順を行ってください。

- ① 「[スタート] - [ネットワーク]」の順にクリックします。
- ② 「[デバイスとプリンター]」フォルダーの何もない部分で右クリックし、表示された一覧から「[デバイスマネージャー]」を選びます。
「[デバイスマネージャー]」ウィンドウが表示されます。
- ③ 「[ほかのデバイス]」の下にある「[FUJITSU XL-xxxx]」(XL-xxxx はプリンタ名) を右クリックし、「[ドライバーソフトウェアの更新]」をクリックします。
- ④ 「[ドライバーソフトウェアの更新]」ウィンドウで、「[ドライバーソフトウェアの最新版を自動検索します]」をクリックします。
- ⑤ プリンタドライバのインストールが完了したら、「[閉じる]」をクリックします。
- ⑥ 「[インストール完了]」ウィンドウが表示されたら、「[完了]」をクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008 (R2以外)/ Windows XP/Windows Server 2003の場合

- ① プリンタとコンピューターの電源が OFF になっていることを確認します。
- ② USB ケーブルを接続します。
- ③ プリンタの電源を ON にします。
- ④ Windows を起動します。
- ⑤ 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳しくは、「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM の「Fjxldrv」フォルダーの「README.TXT」をご覧ください。

USB 接続でセットアップできないときには

現象	対処方法
コンピューターが USB インタフェースに対応していません。	デバイスマネージャーで USB コントローラーが表示されるか確認してください。
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度はじめからセットアップしてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタとコンピューターを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に「検索場所の指定」、「場所の指定」が表示されます。	「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 「E:\Fjx\drv」 (ここでは CD-ROM ドライブが E : の場合を例にしています)
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度はじめからセットアップしてください。
スリープモードになっています。	スリープモードになっています。プリンタがスリープモードに移行している場合は、操作パネルの「節電 / 解除」ボタンを押し、「印刷できます」が表示されることを確認してください。
プリンタの電源スイッチが OFF になっています。	プリンタの電源を ON にしてください。 「電源を入れます」(17 ページ)

現象	対処方法
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。 「プリンタドライバをインストールします」(46 ページ)
[オフライン] になっています。	[オンライン] ボタンを押して、[印刷できます] にしてください。

5 印刷します

使用できる用紙	66
使用できない用紙	70
用紙の保管上のご注意	71
給紙方法と排出方法を決めます	72
印刷します	73

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に充分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

本製品での印刷に適した普通紙の仕様について、次の表でご確認ください。一般的市販品には、本製品に適さないものもあります。できるだけ推奨用紙をご使用ください。

項目	測定方法	推奨仕様 ^{注1}
坪量	—	64 ~ 68g/m ²
連量	—	55 ~ 58 kg
紙厚	JIS P-8118	88 ~ 94 μm
密度	—	0.68 ~ 0.74g/cm ³
平滑度	JIS P-8119	表: 23 ~ 47 秒、裏: 20 ~ 37 秒
剛度	JIS P-8143	表: 70 ~ 123cm ³ /100、裏: 28 ~ 60cm ³ /100
水分	JIS P-8127	4 ~ 5%
摩擦係数	JIS P-8147	静止: 0.45 ~ 0.75、動: 0.40 ~ 0.70
紙質	—	中性紙
すき目方向	—	用紙の搬送方向と同じすき目の用紙 ^{注2}

注1：開封直後の用紙を常温常湿環境（23°C、50%RH）で測定した値

注2：本製品では「縦目」の用紙をお勧めします。

用紙の種類、サイズ、厚さについて



用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があります。詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」(72 ページ)をご覧ください。

種類	サイズ 単位: mm (インチ)	用紙の重量または厚さ
普通紙	A4	64 ~ 250g/m ² 両面印刷の場合、64 ~ 120g/m ² ※ A6 サイズ、ユーザ定義サイズは、 両面印刷できません。
	A5	148 × 210
	A6 [‡]	105 × 148
	B5	182 × 257
	レター	215.9 × 279.4 (8.5 × 11)
	リーガル	215.9 × 355.6 (8.5 × 14)
	ユーザ定義サイズ (カスタム)	幅 64 ~ 216 長さ 127 ~ 1321
はがき	はがき	郵便はがき
	往復はがき	148 × 200
封筒	封筒（長形 3 号）	85g/m ² の紙を使用したもの
	封筒（長形 4 号）	90 × 205
	封筒（洋形 4 号）	105 × 235
	封筒（A4）	210 × 297
ラベル紙	A4	0.1 ~ 0.2 mm

注：A6 サイズは、トレイ 1 または、マルチバーバストレイを使用してください。

トレイ 2、トレイ 3 からは印刷できません。

普通紙

次の条件にあった推奨紙または「使用できる用紙」(66 ページ) に記載の推奨仕様を満たす用紙をお使いください。

- 推奨紙：富士通コワーコ株式会社 オフィス W
A4 (商品番号：0411610)、B5 (商品番号：0411640)、
A5 (商品番号：0411630)
プリンタドライバの用紙厚の設定：[普通紙]

弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に充分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

- 用紙の厚さが 64 ~ 250g/m² の用紙
- 電子写真プリンタ用紙（トナーを用いるプリンタで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般的な複写機などで使用する用紙です）
カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー紙を推奨します。
- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です）
(グリーン購入法に適合した電子写真プリンタ用再生紙に対応しています)
再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。
必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認のうえ、使用してください。



- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどで一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 郵便はがき、および折っていない郵便往復はがき

次のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用はがき
- 2mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき



- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- はがきの給紙方法はマルチペーパストレイ（手差し）、排紙方法はフェイスアップスタッカになります。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒
- 坪量 85g/m² の紙を使用した封筒

次の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープの付いた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒
- はつ水加工された封筒
- 封筒の貼り方が、ダイヤ貼りされた封筒

- ・印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- ・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- ・トナーの定着が低下することがあります。
- ・封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約5mmは印刷品位が低下することがあります。
- ・封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- ・必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- ・封筒の給紙方法はマルチパーパストレイ（手差し）、排紙方法はフェイスアップスタッカになります。



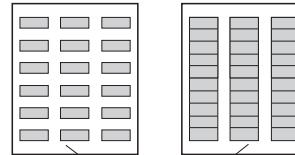
ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

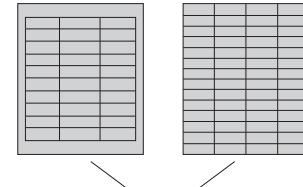
- ・推奨紙：LBP-F71XX（コクヨ製：LBP-F71から始まる品番のラベル紙）（総厚：0.1～0.2mm）

 プリンタドライバの用紙厚の設定：[ラベル紙1] または [ラベル紙2]
- ・用紙サイズはA4のみ
- ・表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式PPC用のラベル紙
- ・プリンタの熱定着工程で、表面紙が台紙からはがれない構造のラベル紙
- ・用紙の走行で、表面紙が台紙からはがれない構造のラベル紙
- ・表面紙と台紙を合わせた用紙の厚さが0.1～0.2mmのラベル紙
- ・表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出しているラベル紙
- ・台紙に切れ目や折れ目のないラベル紙

✗ 使用できません



○ 使用できます



- ・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- ・トナーの定着が低下することがあります。
- ・ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- ・必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- ・ラベル紙の給紙方法はマルチパーパストレイ（手差し）、排紙方法はフェイスアップスタッカになります。
- ・ラベル紙に「用紙をセットする向き（用紙の送り方向）」の指定があるものは、その指定に合わせてください。

プレプリント用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 普通紙の条件を満足している用紙
- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で 230°C に耐えるもの



- 印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを充分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：± 2mm、用紙の斜行：± 1mm/100mm、画像伸縮：± 1mm/100mm（坪量 80g/m²の場合）
- インクの上に本プリンタで印刷することはできません。
- 用紙全面にプレプリントされた用紙を使用する場合は、プレプリントはベタ印刷ではなく、網点印刷された用紙をお使いください。

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で 230°C に耐えるもの
- 用紙特性が普通紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- プリンタドライバの用紙厚の設定：より厚い紙
- 用紙サイズは幅 64 ~ 216mm、長さ 127 ~ 1321mm
ただし、長さが 356mm 以上 の場合は幅 210 ~ 216mm になります。



- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどで一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

使用できない用紙

次の用紙は、本製品では使用できません。

紙づまり、二重送り、斜行を起こしやすい用紙

- 厚すぎる用紙（250g/m²より厚い用紙）や、薄すぎる用紙（64g/m²未満）
- 湿っている用紙、濡れている用紙、乾燥しすぎている用紙
- 一度印刷された用紙（複写機や、他のプリンタで印刷された用紙、本製品で印刷済みの用紙）
※両面印刷は、本製品で両面印刷ユニットを使用しての自動両面印刷に限ります。
- カール（反り）・シワ・折り目・角折れのある用紙・破れている用紙・波打っている用紙
- 表面が平滑（ツルツル）すぎる用紙
- 静電気で用紙どうしが密着している用紙、静電気を帯びている用紙
- 四角い形状（長方形、正方形）でない用紙
※四角形でも、ひし形や平行四辺形などの用紙は使えません
- 裁断部のバリが大きい用紙
- バインダー穴や、ミシン目のある用紙
- 用紙の搬送方向と異なるすき目の用紙
- ドットインパクトプリンタ用の連帳用紙
(ミシン目から、切り離し「単票」にしても使用できません)

印刷品質低下の原因となる用紙

- ざら紙や和紙、繊維質の多い用紙、表面が滑らかでない用紙
- 封筒
- 酸性紙（中性紙を使用してください）

プリンタの故障の原因となる用紙

- 表面を加工、または特殊なコーティングを行った用紙（感熱紙、カーボン紙、ノンカーボン紙、メールシール紙など）
- 貼り合わせた用紙や、のりなどが付いている用紙
- ステープラ、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- 大量のタルク成分を含んだ用紙（オフセット印刷用の用紙など）
- 紙粉の多い用紙
- インクジェット専用紙、インクジェットプリンタ共用紙、インクジェット用OHPフィルム、インクジェット用はがき
- 水転写紙、布地転写紙
- 絵入りはがき
- クリーンルーム用の用紙（無じん紙）
- 炭酸カルシウムを多く含んだ用紙
- 台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザープリンタ用以外の「ラベル紙」
- タックフィルム
- インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、230°Cの熱でガスが発生したりするインクを使用したプレプリント用紙
- 230°Cの熱で溶けたり、変質する用紙

両面印刷できない用紙

次の用紙は両面印刷では使用できません。

- 厚紙（121g/m²～250g/m²）、ラベル紙、A6、郵便はがき、郵便往復はがき、封筒、ユーザ定義サイズ用紙、長尺紙

給紙カセットで使用できない用紙

厚紙（221g/m²～250g/m²）、ラベル紙、郵便はがき、郵便往復はがき、封筒、長尺紙は、用紙カセットでは使用できません。マルチパーパストレイを使用してください。



用紙の保管上のご注意

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- ・暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- ・平らな台の上
- ・温度 20°C、湿度 50% RH の環境

次のような場所は避けてください

- ・床の上に直接置く
- ・直射日光が当たる場所
- ・外壁の内側の近く
- ・段差や曲がりのある場所
- ・静電気が発生する場所
- ・過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- ・複写機、空調機、ヒーター、ダクトのそば



長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

保管方法

次のような状態で保管してください

- ・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
- ・本プリンタを長期間にわたり、使用しないときは、用紙カセット（トレイ）やマルチパーパストレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

メモ

- ・長時間放置した用紙を使用した場合、次のような現象が発生し、うまく印刷できない場合があります。
 - ・印刷した用紙が丸まり、排出不良となる
 - ・印刷した用紙にシワが発生する
 - ・紙づまりが発生する
 - ・用紙の端に水滴が付着する
- ・湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙づまりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。
また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、用紙カセット（トレイ）／マルチパーパストレイに用紙を放置しないでください。
プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
- ・用紙（特に再生紙）は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境で使用する場合は、事前に同様の環境で充分な確認を行ったうえで、銘柄を選定してください。

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。次の手順ですべての条件を満足する方法を確認してください。

用紙の仕様については、「使用できる用紙」(66 ページ)をご覧ください。

1 用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法と排出方法を確認します。

- ◎：片面、両面印刷とも使用できます
- ：片面印刷のみ使用できます
- △：一部のサイズで使用できます(片面印刷のみ)
- ×：使用できません

用紙種類	厚さ (重量: 坪量)	用紙サイズ	給紙方法			排紙方法		
			用紙カセット ^{注1}		マルチ バーパス トレイ (手差し)	フェイス アップ (表排出)	フェイス ダウン (裏排出)	
			トレイ 1 (標準)	トレイ 2 ^{注2} (拡張給紙 ユニット)				
普通紙	64g～ 74g/m ²	A4, A5, B5, レター, リーガル	◎	○	○	○	○	×
		A6	○	×	×	○	○	×
		ユーザ定義サイズ	△ ^{注4}	△ ^{注5}	△ ^{注5}	○ ^{注3}	○	△ ^{注8}
やや厚い 紙	75g～ 82g/m ²	A4, A5, B5, レター, リーガル	◎	○	○	○	○	○
		A6	○	×	×	○	○	×
		ユーザ定義サイズ	△ ^{注4}	△ ^{注5}	△ ^{注5}	○ ^{注3}	○	△ ^{注8}
厚い紙	83g～ 104g/m ²	A4, A5, B5, レター, リーガル	◎	○	○	○	○	○
		A6	○	×	×	○	○	×
		ユーザ定義サイズ	△ ^{注4}	△ ^{注5}	△ ^{注5}	○ ^{注3}	○	△ ^{注8}
より厚い 紙	105g～ 120g/m ²	A4, A5, B5, レター, リーガル	◎	○	○	○	○	○
		A6	○	×	×	○	○	×
		ユーザ定義サイズ	△ ^{注4}	△ ^{注5}	△ ^{注5}	○ ^{注3}	○	△ ^{注8}
ごく厚い 紙 1	121g～ 188g/m ²	A4, A5, B5, レター, リーガル	○	○	○	○	○	○
		A6	○	×	×	○	○	×
		ユーザ定義サイズ	△ ^{注4}	△ ^{注5}	△ ^{注5}	○ ^{注3}	○	△ ^{注8}

用紙種類	厚さ (重量: 坪量)	用紙サイズ	給紙方法			排紙方法		
			用紙カセット ^{注1}		マルチ バーパス トレイ (手差し)	フェイス アップ (表排出)		フェイス ダウン (裏排出)
			トレイ 1 (標準)	トレイ 2 ^{注2} (拡張給紙 ユニット)		トレイ 3 ^{注3} (拡張給紙 ユニット)	トレイ (手差し)	
ごく厚い 紙 2	189g～ 220g/m ²	A4, A5, B5, レター, リーガル	○	○	○	○	○	×
		A6	○	×	×	○	○	×
		ユーザ定義サイズ	△ ^{注4}	△ ^{注5}	△ ^{注5}	○ ^{注3}	○	×
ごく厚い 紙 3	221g～ 250g/m ²	A4, A5, B5 レター, リーガル	×	×	×	○	○	×
		A6	×	×	×	○	○	×
		ユーザ定義サイズ	×	×	×	○ ^{注3}	○	×
はがき ^{注6} ^{注7}	-	はがき、 往復はがき	×	×	×	○	○	×
封筒 ^{注6} ^{注7}	-	封筒 長形 3号 封筒 長形 4号 封筒 洋形 4号 A4 封筒	×	×	×	○	○	×
ラベル紙 1 ^{注6} ^{注7}	0.1mm～ 0.16mm	A4	×	×	×	○	○	×
ラベル紙 2 ^{注6} ^{注7}	0.17mm～ 0.2mm	A4	×	×	×	○	○	×

注1：上からトレイ 1～3 となります。

注2：トレイ 2～3 はオプションです。

注3：ユーザ定義サイズの幅 64～216mm、長さ 127～1321mm です。

ただし長さが 356mm 以上の場合は幅 210～216mm になります。

注4：幅 105～216mm、長さ 148mm、203～356mm です。

注5：幅 148～216mm、長さ 210～356mm です。

注6：はがき、封筒、ラベル紙では印刷速度が遅くなります。

注7：高温多湿により波打ちが発生した用紙は使用しないでください (用紙にシワが発生することがあります)。

注8：長さが 356mm 超える用紙、長さが 210mm 未満の用紙はフェイスアップで排出してください。



用紙サイズが A6、A5、B5 および用紙幅が 183mm 以下では、印刷速度が遅くなります。

印刷します

給紙方法は、トレイ1、トレイ2（オプション）、トレイ3（オプション）、マルチパーカストレイの4通りあります。

はがき、封筒、ラベル紙は、マルチパーカストレイから印刷します。

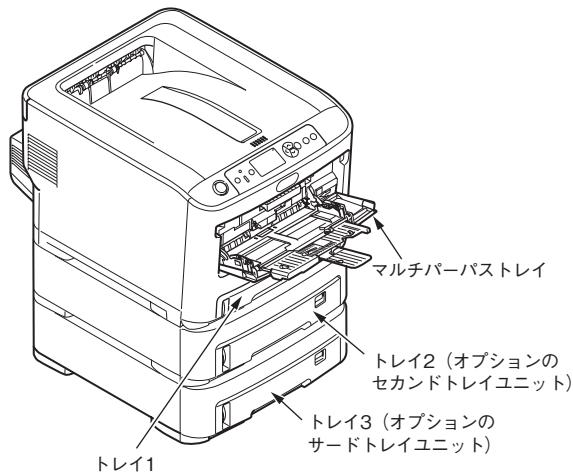
用紙カセットは、トレイと呼ぶ場合があります。

トレイ1、トレイ2（オプション）、トレイ3（オプション）とも同じ操作になります。

マルチパーカストレイで手差し印刷することもできます。

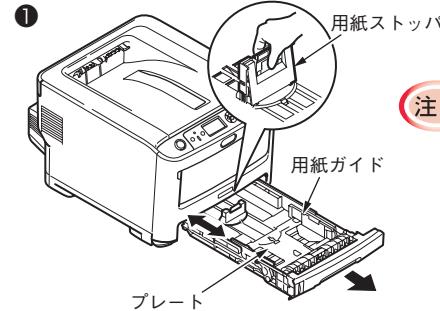
メモ プリンタドライバの【設定】ウィンドウで【オプション】をクリックすると表示される【給紙オプション】ウィンドウで、「マルチパーカストレイ設定」の「手差しとして扱う」をにして、1枚ずつ印刷します。

コンピューターから印刷を実行した後にプリンタに用紙をセットし、1枚ずつ確認してから  「オンライン」ボタンを押して印刷します。

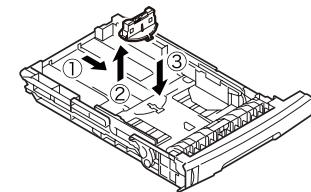


1 用紙をセットします。

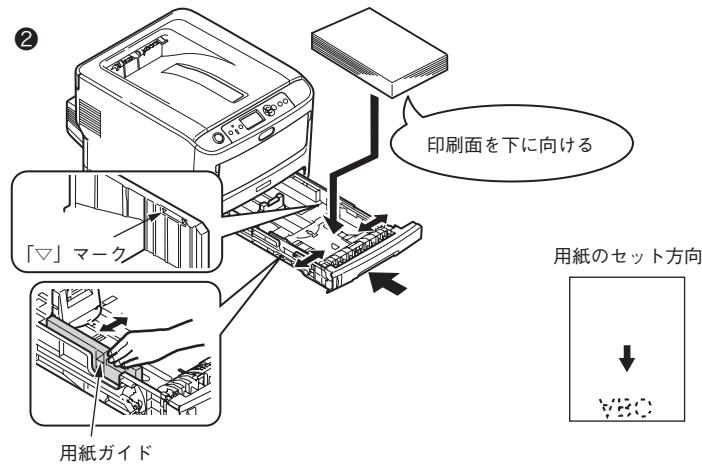
用紙カセットの場合（トレイ1、トレイ2、トレイ3）



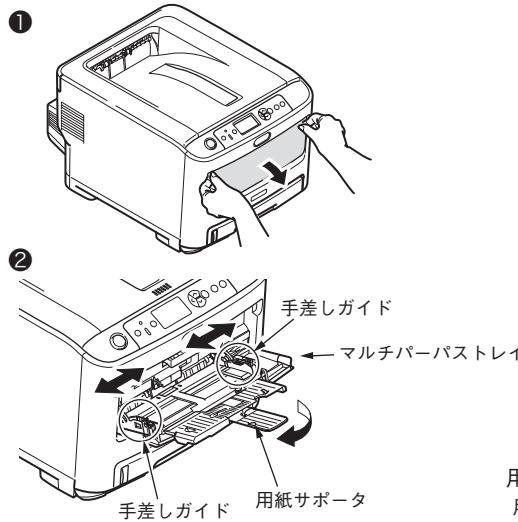
注! A6 サイズの用紙をセットする場合は、用紙ストッパーを手前まで移動し、外してから図の位置に取り付け直します。



メモ 包装された用紙の開封面が印刷面になります。

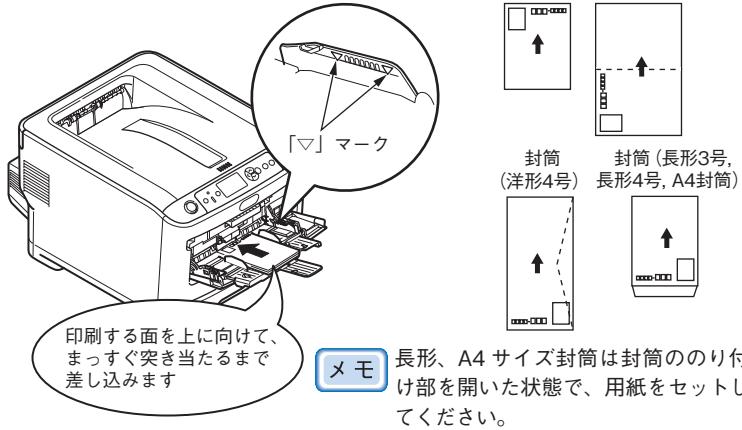


マルチパーパストレイの場合

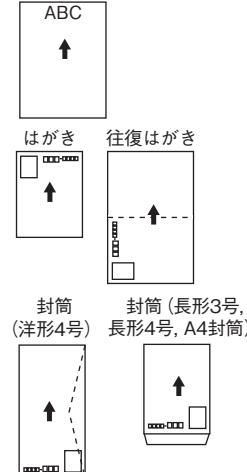


③ マルチパーパストレイのプレートをロックするまで押し下げます。

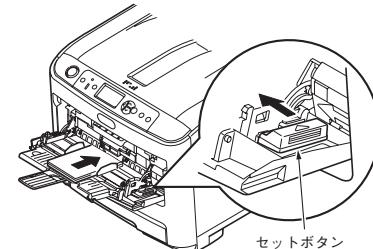
④ 印刷面を上にして用紙をセットします。



用紙のセット方向
用紙に上下がある場合

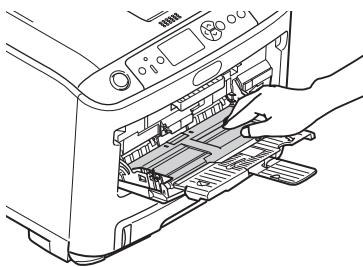


⑤ 青色のセットボタンを押します。

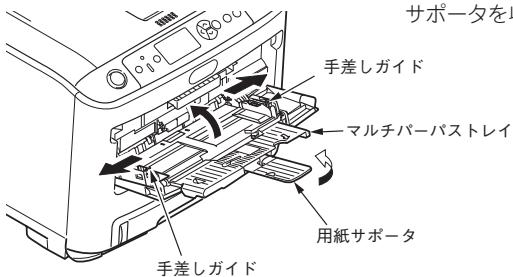


- ・適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。(用紙にシワが発生することがあります。)
- ・用紙ガイドと用紙トップパは、用紙との間にすき間がないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- ・用紙ガイドの「△」マークを越えないようにセットしてください。
 - ・トレイ 1 : 330 枚 (64g/ m²用紙の場合)
 - ・トレイ 2、トレイ 3 : 580 枚 (64g/ m²用紙の場合)
 - ・マルチパーパストレイ : 110 枚 (64g/ m²用紙)
- ・サイズ、種類、厚さの異なる用紙は、同時にセットしないでください。
- ・用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右を揃えてからセットしてください。セットした用紙は、できるだけ使いきってから次の用紙をセットしてください。
- 用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
- ・印刷中の用紙カセットおよび両面印刷時やトレイ 2 (オプション)、トレイ3 (オプション)からの印刷時のトレイ 1 の用紙カセットは引き出さないでください。
- ・他のプリンタなどで一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。
- ・用紙カセットでは、はがき、封筒を使用できません。
- ・はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm 以内に修正してください。(マルチパーパストレイ)
- ・封筒は縦送りでセットしてください。(マルチパーパストレイ)
- ・封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- ・マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。

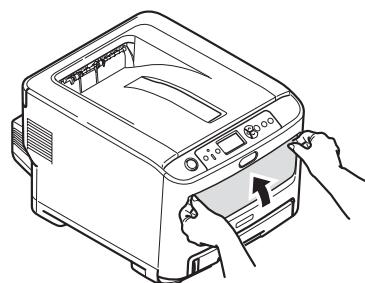
マルチパーパストレイの閉じ方



- ① マルチパーパストレイのプレートを、ロックするまで手で押し下げます。



- ② 手差しガイドをいっぱいに広げ、用紙サポートを収納します。



- ③ マルチパーパストレイを閉じます。

2 用紙サイズを設定します。

トレイ1、マルチパーパストレイの場合

製品購入時にはトレイ1、マルチパーパストレイの用紙サイズが[A4]で設定されています。

A4以外の用紙で印刷する場合には、プリンタの操作パネルで下記の手順に従ってメニューの用紙サイズを変更する必要があります。

ここでは、マルチパーパストレイから横置きのB5用紙に印刷するときの設定手順を説明します。

- ① ボタンを数回押し、[メニュー]を選択します。
- ② 「設定」ボタンを押します。
- ③ ボタンまたは ボタンを数回押し、[トレイ構成]を選択します。
- ④ 「設定」ボタンを押します。
- ⑤ ボタンまたは ボタンを数回押し、[マルチパーパストレイ設定]を選択します。
- ⑥ 「設定」ボタンを押します。
- ⑦ ボタンまたは ボタンを数回押し、[用紙サイズ]を選択します。
- ⑧ 「設定」ボタンを押します。
- ⑨ ボタンまたは ボタンを数回押し、[B5]を選択します。
- ⑩ 「設定」ボタンを押し、設定値の右側に「*」を付けます。
- ⑪ 「オンライン」ボタンを押し、[印刷できます]を表示します。

トレイ2、トレイ3

用紙カセットの用紙サイズダイヤルを回して用紙サイズをセットします。



ユーザ定義サイズを使用する場合

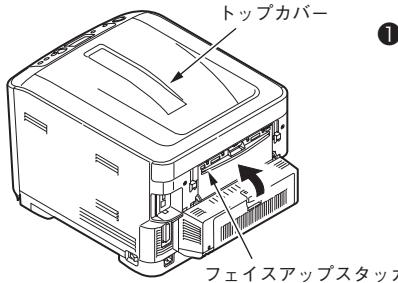
- 用紙カセットの用紙サイズダイヤルは「その他」にセットします。
- プリンタの操作パネルの「トレイ構成」より、用紙サイズは「カスタム」を選択し、用紙サイズ(幅、長さ)を設定してください。

3 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。

約270枚 (64g / m²用紙の場合) をためることができます。



- ① プリンタ後面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

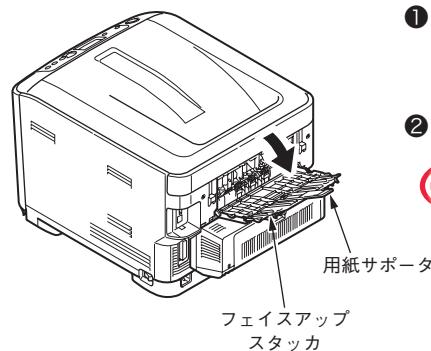
用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
約110枚 (64g / m²用紙の場合) をためることができます。

- ① プリンタ後面のフェイスアップスタッカを開きます。

- ② 用紙サポートを開きます。



印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。
紙づまりの原因になります。



4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで [用紙サイズ]、[給紙方法]、[用紙種類]を選択し、印刷します。



- [ワードパッド] を使い、トレイ1でB5サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は、「プリンタドライバの機能と便利な印刷機能」の「プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい」（ソフトウェアガイド）をご覧ください。



[給紙方法] で [自動選択] を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「プリンタドライバの機能と便利な印刷機能」の「トレイを自動的に選択したい」（ソフトウェアガイド）をご覧ください。

6 プリンタの設定項目について

現在の設定を確認します（設定内容印刷）	78
現在のメニュー設定を保存します	79
設定値を初期化します	80

■ 現在の設定を確認します（設定内容印刷）

プリンタのメニューに設定されている値や消耗品の使用状況、印刷した枚数などを確認したい場合に印刷してください。

- ① トレイ1にA4用紙をセットします。
 - ② 表示部に【印刷できます】と表示されていることを確認します。
 - ③  ボタンを数回押して【プリンタ情報印刷】を選択し、 設定ボタンを押します。
 - ④ 【設定内容】を選択し、 設定ボタンを押します。
 - ⑤ 【印刷実行】が選択されていることを確認し、 設定ボタンを押します。

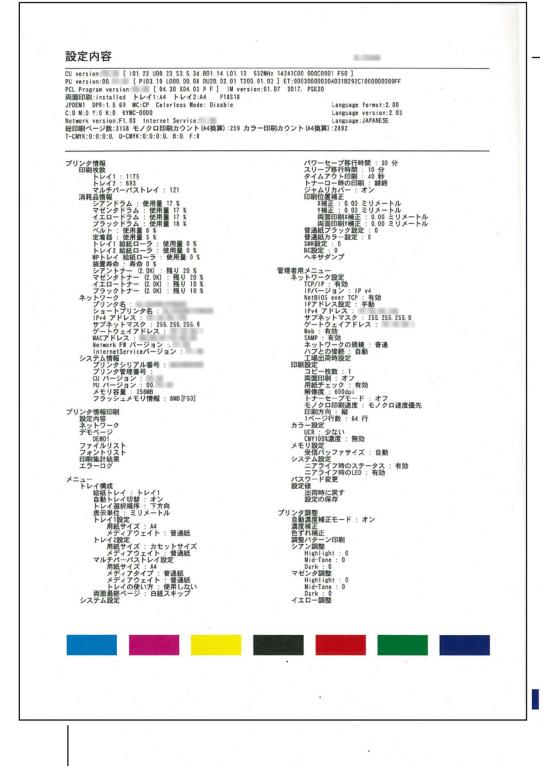
設定内容印刷が開始されます。

6

③の後に  メニュー選択ボタンを押して、[ネットワーク] を選択し、 設定ボタンを押します。

ネットワークのほかにも、デモページ、ファイルリストなども同様にして印刷することができます。

(サンプル)





現在のメニュー設定を保存します

プリンタの操作パネルでの設定を保存できます。



「ネットワーク設定」カテゴリは保存されません。



① ボタンを数回押して [管理者用メニュー] を選択し、 設定ボタンを押します。



② パスワード入力画面になるので、 ボタンまたは ボタンで1桁目の英小文字、または数字を選択し、 設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。



メモ パスワードの初期値は、「aaaaaa」です。



最後に 設定ボタンを押します。



③ ボタンを数回押して [設定値] を選択し、 設定ボタンを押します。



④ ボタンを数回押して [設定の保存] を選択し、 設定ボタンを押します。



⑤ 設定ボタンを押します。



⑥ [はい] を選択し、 設定ボタンを押します。

設定値が保存されます。



メモ 現在の設定を、保存されている設定に変更することができます。



① ボタンを数回押して [管理者用メニュー] を選択し、 設定ボタンを押します。



② パスワード入力画面になるので、 ボタンまたは ボタンで1桁目の英小文字、または数字を選択し、 設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。



メモ パスワードの初期値は、「aaaaaa」です。



最後に 設定ボタンを押します。



③ ボタンを数回押して [設定値] を選択し、 設定ボタンを押します。



④ ボタンを数回押して [設定の呼び出し] を選択し、 設定ボタンを押します。



⑤ 設定ボタンを押します。



⑥ [はい] を選択し、 設定ボタンを押します。

設定値が、保存されている設定に変更されます。



設定値を初期化します



「ネットワーク設定」カテゴリの初期化は、「ネットワーク設定」カテゴリ内の「工場出荷時設定」で行ってください。

- ① ボタンを数回押して「管理者用メニュー」を選択し、 設定ボタンを押します。
- ② パスワード入力画面になるので、 ボタンまたは ボタンで1桁目の英小文字、または数字を選択し、 設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。
メモ パスワードの初期値は、「aaaaaa」です。
最後に 設定ボタンを押します。
- ③ ボタンを数回押して「設定値」を選択し、 設定ボタンを押します。
- ④ ボタンを数回押して「出荷時に戻す」を選択し、 設定ボタンを押します。
- ⑤ 設定ボタンを押します。

7

メンテナンスをします

トナーカートリッジを交換します	82
ドラムカートリッジを交換します	87
給紙ローラを清掃します	91
LED ヘッドを清掃します	94
色ずれ補正調整をします	96
濃度補正調整をします	96
プリンタ表面を清掃します	97
プリンタを輸送するとき	98

トナーカートリッジを交換します

△警告



- トナーまたは、トナーカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。



- トナーカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。



- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。床などにこぼれてしまったトナーは、濡れた布などでふき取ってください。

△注意



- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。



- トナーカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし、子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。



- トナーを吸い込まないよう注意してください。トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- トナーが手などの皮膚に付いた場合は、石けん水でよく洗い流してください。



- トナーが目に入った場合は、ただちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- トナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲んでトナーをうすめてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- 紙づまりの処置やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。
- 衣服に付いた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。



- トナーカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。



- 使用済みのトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに「* トナーが少なくなっています」(*は各色を表します)のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると「トナーカートリッジを交換してください」を表示して印刷を停止しますので、トナーカートリッジを交換してください。

お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、ドラムカートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。

トナーカートリッジ交換の目安は、次のとおりです。

- ・ スタータートナーカートリッジ（製品購入時に添付）：約 2,000 枚 (A4、印字率 5%)
- ・ CL115A：カラー約 2,000 枚、ブラック約 3,000 枚
- ・ CL115B：カラー約 6,000 枚、ブラック約 8,000 枚
- ・ ドラムカートリッジ添付トナーカートリッジ：約 2,000 枚 (A4、印字率 5%)

新しいドラムカートリッジに 1 本目のトナーカートリッジを取り付けたときの交換の目安は次のようにになります。これは、新しいドラムカートリッジ内にトナーが入っていないので、セットした 1 本目のトナーカートリッジからトナーを充てんするためです。

- ・ ドラムカートリッジ添付トナー：約 1200 ページ (A4、印字率 5%)

印刷できます
* トナーが少なくなっています



トナーカートリッジを交換してください
*



[トナーが少なくなっています]を表示してから[トナーカートリッジを交換してください]になるまでの目安は、約 200 ページです。



- ・ トナーカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から 2 年（開封後は 1 年間）の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ／汚れ／かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。
- ・ [トナーカートリッジを交換してください] 表示の後も、トップカバーを開閉することにより A4 サイズ、「ISO/IEC 19798」を目標にした値で約 100 ページ（約 20 ページを 5 回）印刷することができますが、それ以降の印刷動作ができなくなります。ドラムカートリッジの故障の原因となりますので、トナーカートリッジを交換してください。

- ・ 使用中のトナーカートリッジ／ドラムカートリッジを別の装置のものと入れ替えると、トナー／ドラムの使用量が正常にカウントされなくなります。

- ・ トナーカートリッジ内のトナーが少なくなると、カートリッジ内でトナーをかくはんするときの回転音がする場合がありますが異常ではありません。

新しいトナーカートリッジに交換することで回転音は発生しなくなります。



トナーカートリッジの印刷可能ページ数は、用紙サイズが A4、印字濃度が工場出荷時設定で「(ISO/IEC 19798 (JIS X6932))」に準拠した値です（サプライ品のみ）。スタータートナーカートリッジ／ドラム添付トナーカートリッジは「(ISO/IEC 19798 (JIS X6932))」を目安とした値になります。

実際に印刷可能なページ数は、お客様のご使用状況により、異なります。「(ISO/IEC 19798 (JIS X6932))」は国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。（CL115A、CL115B のみ）



トナーカートリッジは、本プリンタ純正品を取り付けてください。純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。

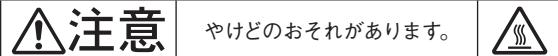
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用がすべて不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては充分にご留意ください。）

品名	商品番号
トナーカートリッジ CL115A (ブラック)	0800110
トナーカートリッジ CL115A (イエロー)	0800120
トナーカートリッジ CL115A (マゼンタ)	0800130
トナーカートリッジ CL115A (シアン)	0800140
トナーカートリッジ CL115B (ブラック)	0800150
トナーカートリッジ CL115B (イエロー)	0800160
トナーカートリッジ CL115B (マゼンタ)	0800170
トナーカートリッジ CL115B (シアン)	0800180

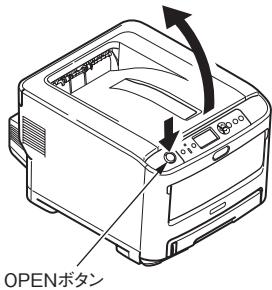
サプライ品については、「サプライ品・オプション品一覧」(125 ページ)をご覧ください。

トナーカートリッジを交換します

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。



定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

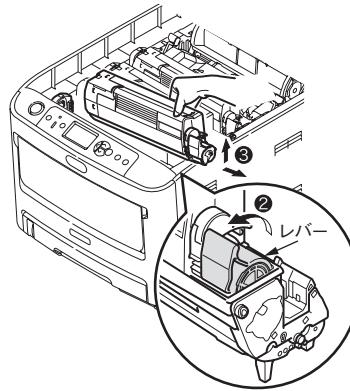


2 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。



使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に
入れないでください。中に入っているトナーが
飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

メモ 使用済みトナーカートリッジは、「使用済みカートリッジの回収サービ
ス」(129 ページ) をご利用ください。

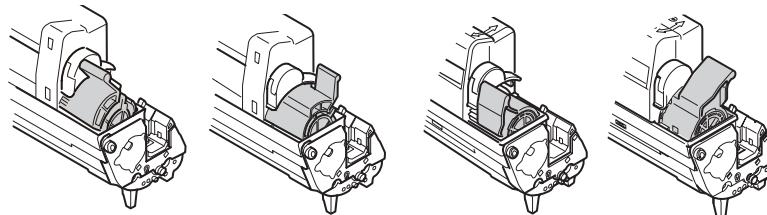


【トナーカートリッジのレバー位置】

■製品購入時のトナーカートリッジの場合

トナーカートリッジを
外す位置

トナーカートリッジを
取り付けた状態

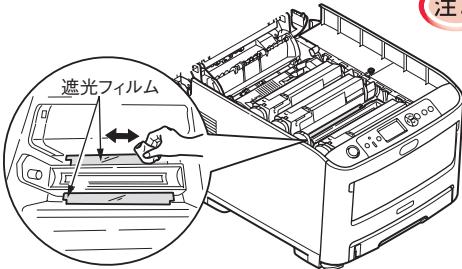


■交換用サプライ品のトナーカートリッジの場合

トナーカートリッジを
外す位置

トナーカートリッジを
取り付けた状態

注! トナーカートリッジのレバーと反対側はドラムカートリッジのポスト
が差し込まれています。無理に持ち上げたり、引き抜くと、ポスト
が破損することがあります。



注!

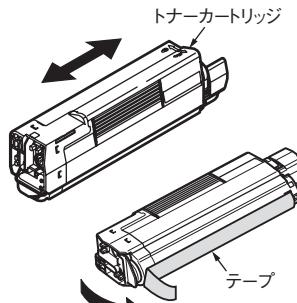
トナー交換時に遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LEDレンズにトナーがつく可能性があります。柔らかいティッシュペーパーでふきとつてください。
緑色の感光体（ドラム）の表面には、絶対に手を触れないでください。

3

新しいトナーカートリッジをセットします。

- ① 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

注! 新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。



- ② 縦と横に数回振ります。

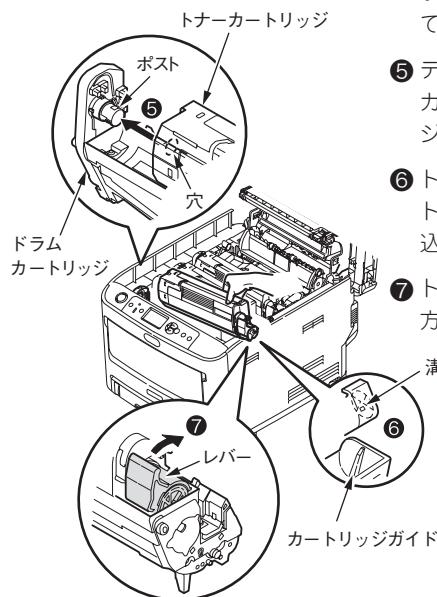
- ③ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

- ④ トナーカートリッジのラベルの色とドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

- ⑤ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をドラムカートリッジのポストに差し込みます。

- ⑥ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかりと押しこみます。

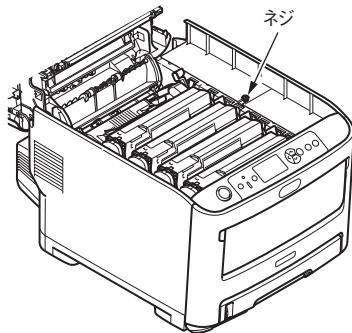
- ⑦ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。



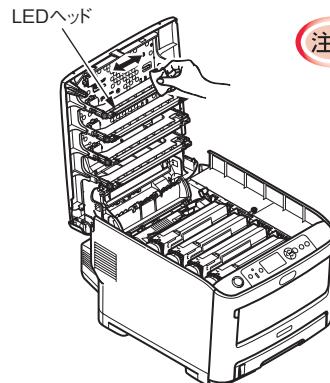


- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジのラベルとドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4 ネジに手を触れて静電気を逃がします。

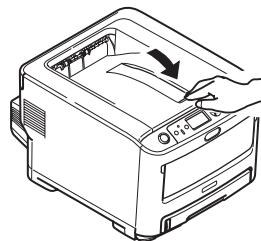


5 柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面を軽くふきます。



メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

6 トップカバーを閉じます。



トナーカートリッジ交換直後は、印刷可能状態になるまで、しばらく時間がかかることがあります。

トナーカートリッジを交換しても、[トナーがありません] のメッセージが消えないときは、トナーカートリッジを取り付け直してください。

ドラムカートリッジを交換します

⚠️警告



- トナーまたは、ドラムカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。



- ドラムカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。



- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。床などにこぼれてしまったトナーは、濡れた布などでふき取ってください。

⚠️注意



- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。



- ドラムカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし、子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。



- トナーを吸い込まないよう注意してください。トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- トナーが手などの皮膚に付いた場合は、石けん水でよく洗い流してください。



- トナーが目に入った場合は、ただちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- トナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲んでトナーをうすめてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- 紙づまりの処置やドラムカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚に付いた場合は、石けん水でよく洗い流してください。
- 衣服に付いた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。



- ドラムカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。



- 使用済みのドラムカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。

ドラムカートリッジ交換の目安

ドラムカートリッジが寿命になると操作パネルに「* ドラムカートリッジの寿命が近づいています」(*は各色を表します)のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると「[ドラムカートリッジを交換してください]/ドラムカートリッジ寿命です」を表示して印刷を停止します。

ドラムカートリッジ交換の目安は、A4 サイズの用紙(片面印刷時)で約 20,000 ページです。ただし、これは一般的な使用状況(一度に 3 ページずつ)で印刷した場合のページ数です。1 ページずつ印刷する場合には、約 12,000 ページでドラム寿命になります。

印刷できます
* ドラムカートリッジの寿命が近づいています



ドラムカートリッジを交換してください
ドラムカートリッジ寿命です

メモ [ドラムカートリッジの寿命が近づいています] を表示してから [ドラムカートリッジ寿命です] になるまでの目安は、約 250 ページです。
(A4 サイズ、片面印刷、一度に 3 ページずつ印刷した場合)



- [ドラムカートリッジの寿命が近づいています] が表示されたら、間もなくドラムカートリッジの交換時期になるため、新しいトナー カートリッジはセットしないでください。

ドラムカートリッジを交換してください
ドラムカートリッジ寿命です

トナーが残っている場合でも上のように表示されますが、トナー カートリッジの交換時期(トナーがなくなる)まで、トップカバーを開閉することで、約 1,000 ページずつ印刷を継続することができます。

本メッセージが表示されてからの印刷品質は保証できませんので、お早目にドラムカートリッジを交換してください。

- トナーがほとんど無くなっている場合には、トップカバーを開閉しての印刷継続は制限されます。



・ドラムカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から 2 年(開封後は 1 年間)の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ／汚れ／かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。

- [ドラムカートリッジを交換してください] 表示の後も、トナーが残っていればトップカバーを開閉することにより印刷を続けることはできます。しかし、印刷品質が低下することがありますので、早めに交換してください。
- [ドラムカートリッジの寿命が近づいています] を表示以降にトナーがほとんどなくなった場合には、250 枚以下で [ドラムカートリッジ寿命です] となります。

また、お使いの環境によっては、[ドラムカートリッジ寿命です] が表示される前に印刷が薄くなることもあります。

- 封筒、はがき、ラベル紙、ごく厚い紙の場合は、モノクロ印刷でもカラードラムを消費する場合があります。
 - ドラムカートリッジを交換したら、そのまま寿命になるまでお使いください。寿命前に取り外したドラムカートリッジを他の装置で使用すると、寿命が正しく表示されなくなります。
 - ドラムカートリッジは、本プリンタ純正品を取り付けてください。
 - 純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を發揮できない場合があります。
- 純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。

商品名	商品番号
ドラムカートリッジ CL115 (ブラック)	0800410
ドラムカートリッジ CL115 (イエロー)	0800420
ドラムカートリッジ CL115 (マゼンタ)	0800430
ドラムカートリッジ CL115 (シアン)	0800440

サプライ品については、「サプライ品・オプション品一覧」(125 ページ)をご覧ください。

ドラムカートリッジを交換します

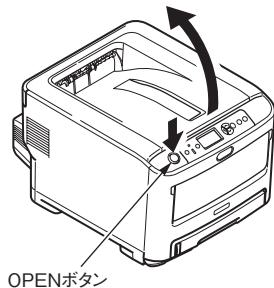
1 OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。



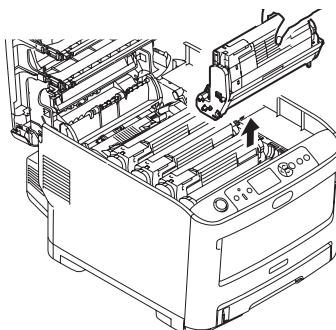
やけどのおそれがあります。



定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。



2 使用済みのドラムカートリッジを取り出します。



① 交換するドラムカートリッジをラベルの色で確認します。

② トナーカートリッジをつけたまま、ドラムカートリッジを取り出します。

メモ 使用済みドラムカートリッジは、「使用済みカートリッジの回収サービス」(129 ページ)をご利用ください。

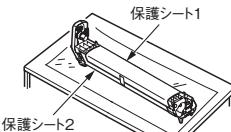


使用済みドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

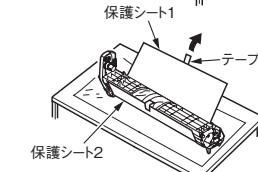
3 新しいドラムカートリッジを準備します。



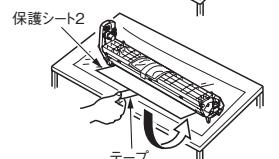
- ドラムカートリッジを傾けないでください。トナーがこぼれる場合があります。
- ドラムカートリッジ(緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため取り扱いには充分注意してください。
- ドラムカートリッジは、直射日光や強い光(約 1500 ルクス以上)に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。



① ドラムカートリッジを新聞紙などの上に置きます。



② 保護シート 1 を止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。



③ 保護シート 2 を矢印の方向に引き抜きます。



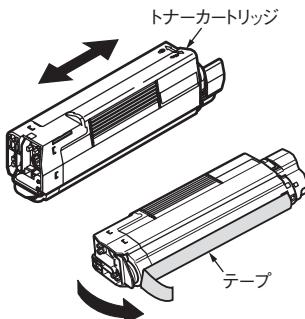
④ 乾燥剤を取り外します。

4 新しいトナーカートリッジをドラムカートリッジに取り付けます。



今まで使用していたトナーカートリッジをセットすることも可能ですが、次の理由により、新しいトナーカートリッジを使用されることを推奨します。

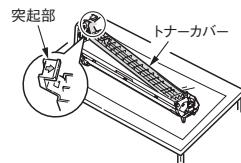
- 今まで使用していたトナーカートリッジが開封後1年以上経過している場合は、印刷品質が低下する可能性があります。
- 新しいドラムカートリッジ内にはトナーが入っていないため、セットしたトナーカートリッジからトナーが充てんされます。残量の少ないトナーカートリッジをセットした場合、すぐに「* トナーがありません」のメッセージが表示される場合があります。
- 今まで使用していたトナーカートリッジをセットした場合、「トナーが少なくなっています」のメッセージが表示されるまでのトナー残量表示が不正確となります。



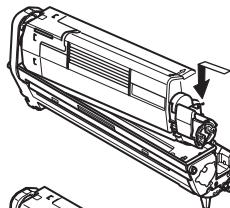
- ① 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

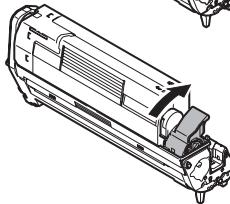
- 縦と横に数回振ります。
- トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。
- トナーカートリッジのラベルの色とドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。



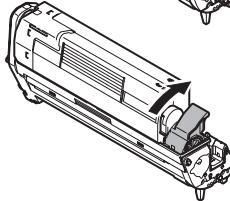
- ⑤ トナーカバーを取り外します。



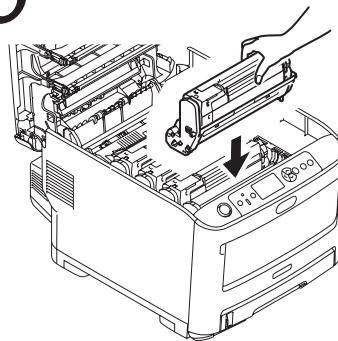
- ⑥ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をドラムカートリッジのポストに差し込みます。



- ⑦ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。



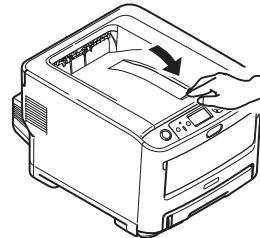
5 ドラムカートリッジをプリンタにセットします。



- ① ドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色が合っていることを確認します。

- ② ドラムカートリッジを静かにセットします。

6 トップカバーを閉じます。



給紙ローラを清掃します

紙づまりが頻発する場合に行ってください。



[カセットを引き出してください／紙づまりです／トレイ 1] が頻発する場合、ヘルプボタンを押し、[エラーコード：391] が表示されたときに行ってください。

△注意



プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを OFF にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

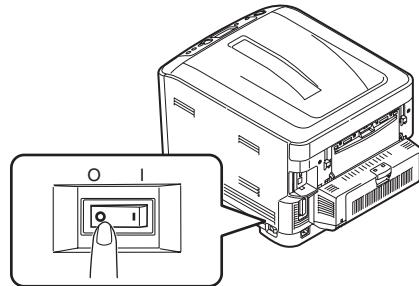


電源スイッチを OFF にせずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

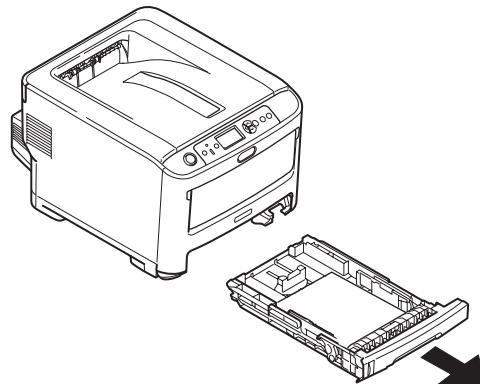
トレイ 1、トレイ 2／トレイ 3（オプション）の場合

ここでは、トレイ 1 を例にしています。トレイ 2／トレイ 3（オプション）も同様の手順で行います。

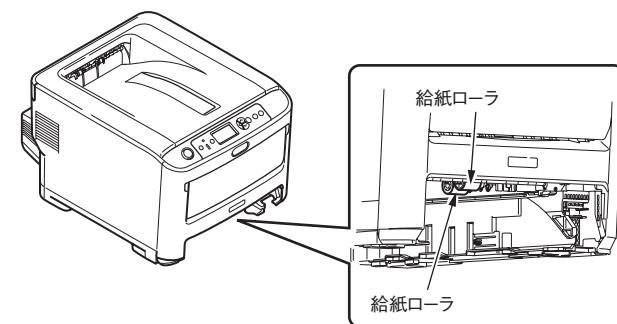
1 プリンタの電源を OFF にします。



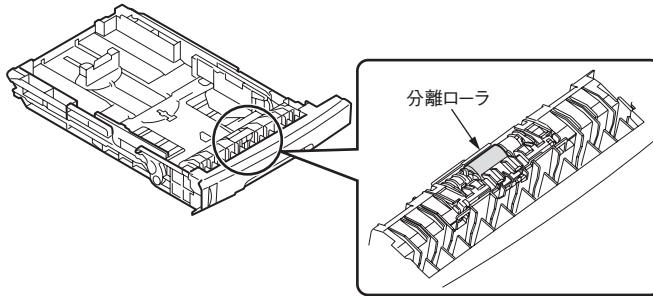
2 用紙カセットを引き出します。



3 給紙ローラ（2 個）を、水を含ませてかたく絞った布でふきます。



4 用紙カセットの分離ローラを、水を含ませてかたく絞った布でふきます。

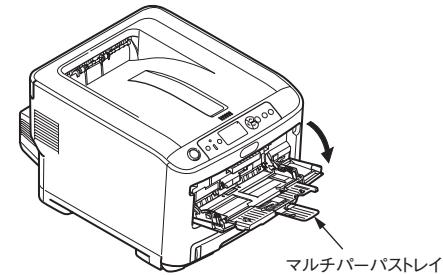


- ・[カセットを引き出してください／紙づまりです／トレイ 2] が頻発する場合、ヘルプボタンを押し、[エラーコード：392] が表示された時はトレイ 2 を同様に清掃してください。
- ・[カセットを引き出してください／紙づまりです／トレイ 3] が頻発する場合、ヘルプボタンを押し、[エラーコード：393] が表示された時はトレイ 3 を同様に清掃してください。
- ・[カバーを開けてください／紙づまりです／フロントカバー] が頻発する場合、ヘルプボタンを押し、[エラーコード：390] が表示された時はマルチパーパストレイの給紙ローラを同様に清掃してください。

7

マルチパーパストレイの場合

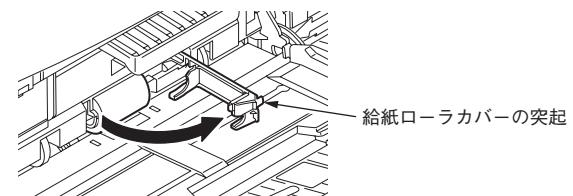
1 マルチパーパストレイを開き、用紙サポートを広げます。



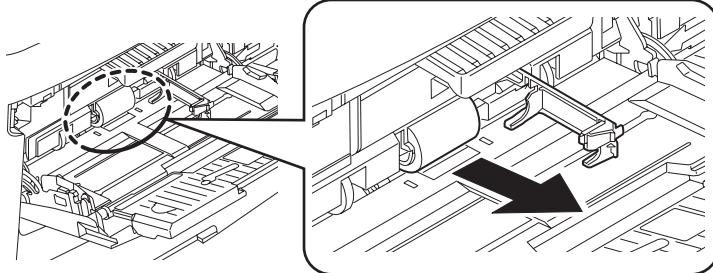
2 給紙ローラカバーの突起を押しながら、開きます。



マルチパーパストレイのカバーの手前の部分（マルチパーパストレイのプレート）が上がっていたら、押し下げてからカバーを開きます。

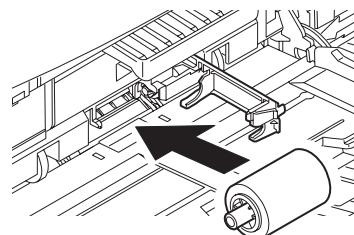


3 紙ローラを押し下げ手前に回しながら取り出します。



4 紙ローラを、水を含ませてかたく絞った布でふきます。

5 紙ローラをセットします。ローラが固定されているか確認します。



6 紙ローラカバーを閉じます。

7 用紙サポートをたたみ、マルチパーパストレイを閉じます。

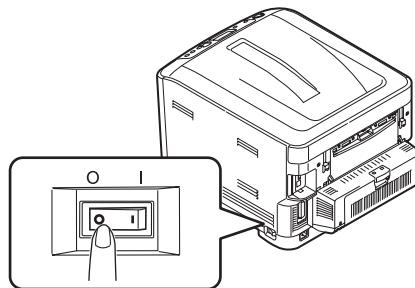


LED ヘッドを清掃します

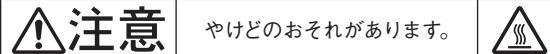
印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

1 プリンタの電源を OFF にします。

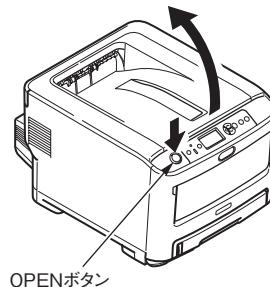
メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(19 ページ) をご覧ください。



2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

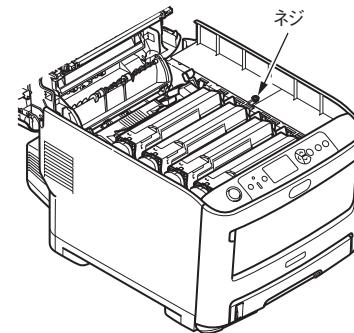


定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

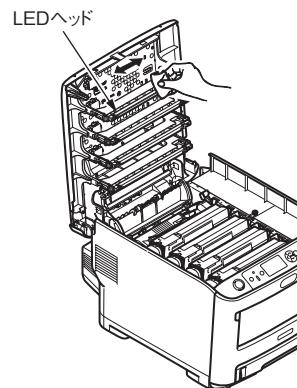


OPENボタン

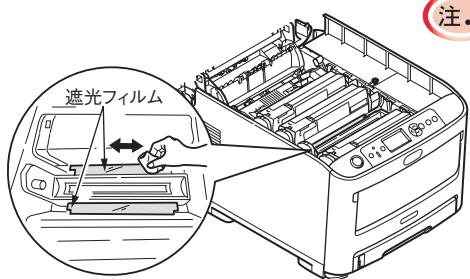
3 ネジに手を触れて静電気を逃がします。



4 柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面(4ヶ所)を軽くふきます。



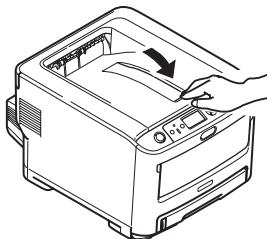
メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。



トナー交換時に遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LEDレンズにトナーがつく可能性があります。柔らかいティッシュペーパーでふきとってください。
緑色の感光体（ドラム）の表面には、絶対に手を触れないでください。

遮光フィルムの位置をわかりやすくするためにトナーカートリッジをセットしていないイラストを使用しています。
遮光フィルムにトナーが落ちている場合は、ドラムカートリッジを本体から外し、トナーを装着した状態で遮光フィルムを清掃してください。

5 トップカバーを閉じます。





色ずれ補正調整をします

プリンタは電源を ON にしたときやトップカバーを開閉したとき、400 ページ印刷することまたは 6 時間以上経過したときに自動的に色ずれ補正調整を行いますが、色ずれが気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

- ① ボタンを数回押して [プリンタ調整] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ② ボタンを数回押して [色ずれ補正] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ③ 設定ボタンを押します。

[カラー調整中です] と表示され、色ずれ補正調整動作が開始されます。



濃度補正調整をします

プリンタは新しいドラムカートリッジやトナーカートリッジを取り付けたとき、500 ページ印刷するごとに自動的に濃度補正調整を行いますが、印刷濃度が気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

- ① ボタンを数回押して [プリンタ調整] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ② ボタンを数回押して [濃度補正] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ③ 設定ボタンを押します。

[濃度補正中です] と表示され、濃度補正調整動作が開始されます。

プリンタ表面を清掃します

⚠ 注意



プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを OFF にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

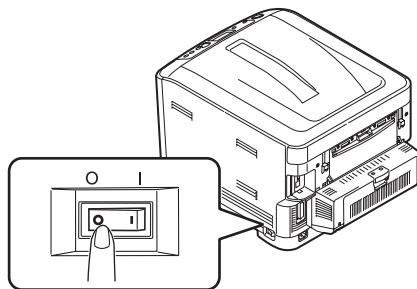


電源スイッチを OFF にせずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

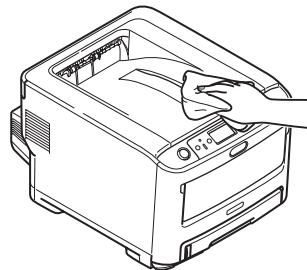
1 プリンタの電源を OFF にします。



電源の切り方は「電源を切ります」(19 ページ) をご覧ください。



2 プリンタの表面をふきます。



① 水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布でふきます。

② 柔らかい乾いた布でふきます。



- ・水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- ・本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。



プリントを輸送するとき

プリンタは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

1 プリンタの電源を OFF にし、次の部品を取り外します。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(19 ページ) をご覧ください。

- 電源コード、アース線
- プリンタケーブル
- 用紙カセットに入っている用紙

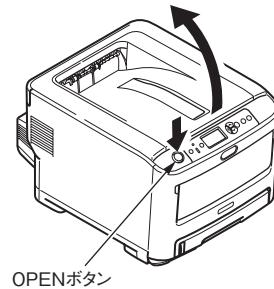
2 トップカバーを開け、ドラムカートリッジ(4 個)を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。



やけどのおそれがあります。



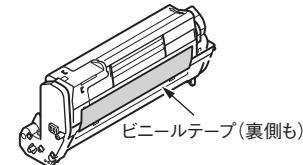
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。



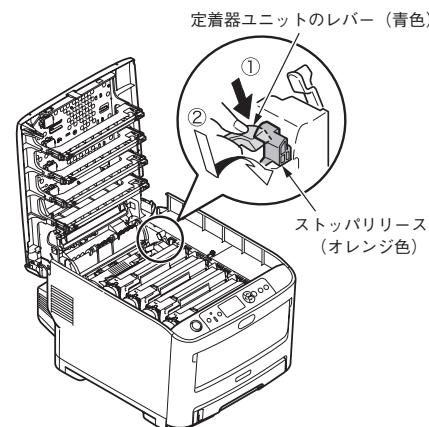
3 ドラムカートリッジとトナーカートリッジの接合部分をビニールテープで止めて、プリンタに戻します。



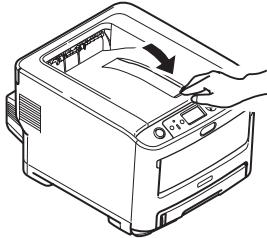
プリンタにドラムカートリッジを装着して輸送します。トナーがこぼれないようにビニールテープで密封してください。



4 製品購入時に定着器ユニットに付いていたストッパリース(オレンジ色)を定着器ユニットに取り付けます。



5 トップカバーを閉じます。



6 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れます。

注! 製品購入時に付いていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

メモ プリンタを輸送後、再度設置するときには、ドラムカートリッジとトナーカートリッジを止めたテープをはがしてください。

7 メンテナンスをします

(MEMO)

7

100

8 紙づまりになったとき

紙づまりになったとき102

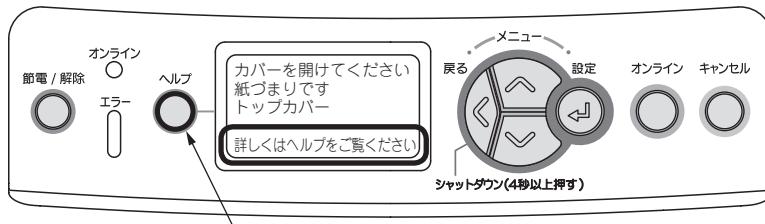


紙づまりになったとき

プリンタ内部に紙づまりが起ったときや用紙が残っているときは、操作パネルに「紙づまりです」「用紙が残っています」と表示します。

ヘルプボタンを押すと、用紙の取り除き方を表示するので、【処置】に従ってプリンタ内部の用紙を取り除いてください。

また、右の表の参照ページにも用紙の取り除き方が載っています。



このボタンを押すと、用紙の取り除き方を表示します。

紙づまりになったときの注意

⚠ 注意

- つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。
ネックレスやネクタイなどを身に着けていると、プリンタ内部に巻き込まれ、けがの原因になることがあります。必ず外してから操作してください。
プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。けがの原因になることがあります。
- つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。
紙片が残ったままになっていると火災などの原因になることがあります。

表示されるメッセージ	参照ページ
カセットを引き出してください 紙づまりです [トレイ名]	103 ページ
カセットを引き出してください 用紙が残っています [トレイ名]	
カバーを開けてください 紙づまりです フロントカバー	104 ページ
カバーを開けてください 用紙が残っています フロントカバー	
カバーを開けてください 紙づまりです トップカバー	106 ページ
カバーを開けてください 用紙が残っています トップカバー	
両面印刷ユニットを確認してください 紙づまりです	109 ページ
両面印刷ユニットを確認してください 用紙が残っています	

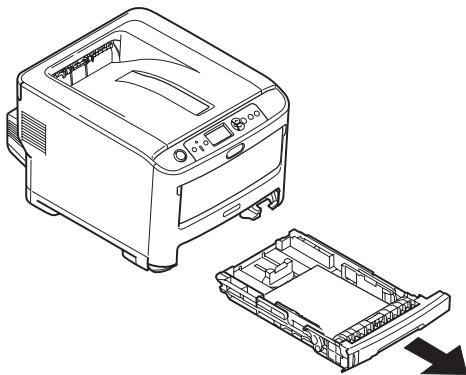
カセットを引き出してください
紙づまりです
[トレイ名]

カセットを引き出してください
用紙が残っています
[トレイ名]

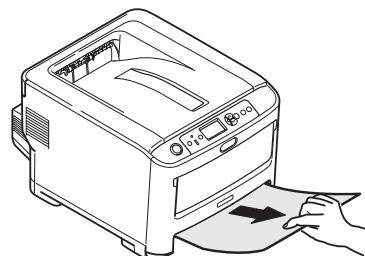
と表示しているとき

ここではトレイ1を例にしています。

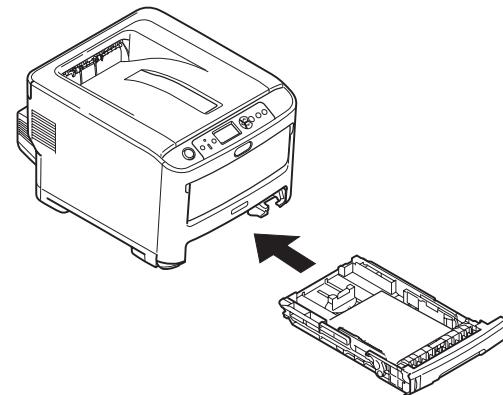
1 表示しているトレイのカセットを引き抜きます。



2 用紙を取り除きます。



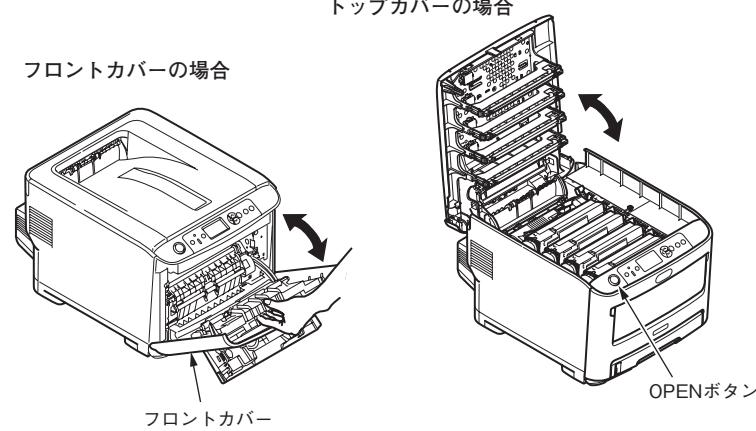
3 カセットをプリンタ本体に戻します。



4 フロントカバーまたはトップカバーを開閉します。

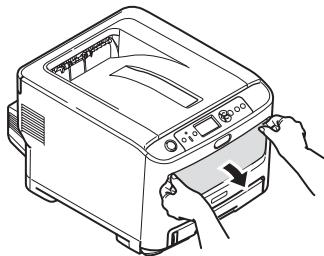
トップカバーの場合

フロントカバーの場合

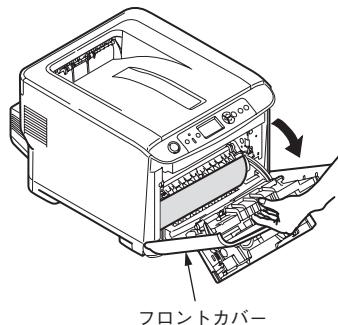


と表示しているとき

1 マルチパーパストレイを開けます。



2 中央のハンドル(青色)を押し上げ、フロントカバーを開けます。



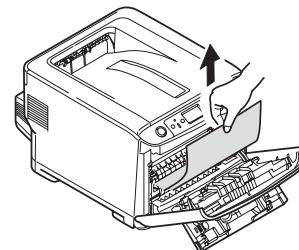
カバーを開けてください
紙づまりです
フロントカバー

カバーを開けてください
用紙が残っています
フロントカバー

3 つまっている用紙を取り除きます。

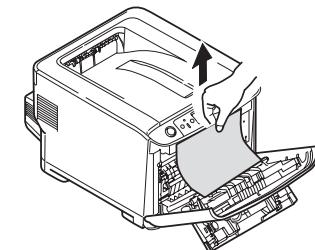
用紙の先端が見え、後端が
トレイに残っている場合

つまった用紙が破れないよう
に、上方にゆっくりと引き
出します。



用紙の先端が見え、マルチパー
パストレイ側に残っている場合

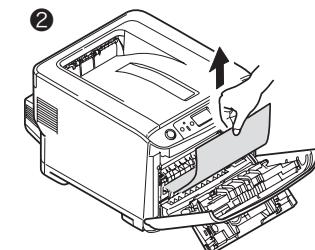
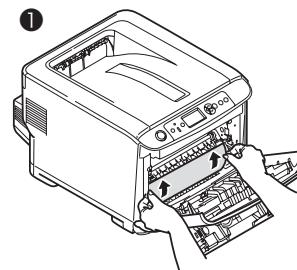
用紙の先端を持って、ゆっくりと上
方が引き出します。



用紙の先端も後端も見えない場合

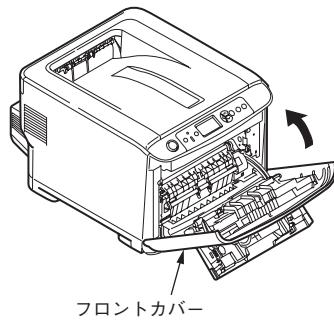
① つまった用紙の左右の両端を持って、用紙の後端がローラから外れる
まで、上に引き抜きます。

② 引き抜いた用紙の後端を、そのまま上方向にゆっくりと引き出します。

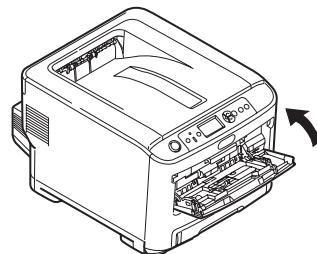


注! 用紙搬送路中央のセンサレ
バー(黒)に用紙が引っか
からないように、用紙を上
方向に引き出してください。

4 フロントカバーを閉じます。



5 マルチパーパストレイを閉じます。

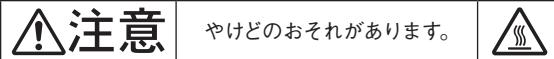


カバーを開けてください
紙づまりです
トップカバー

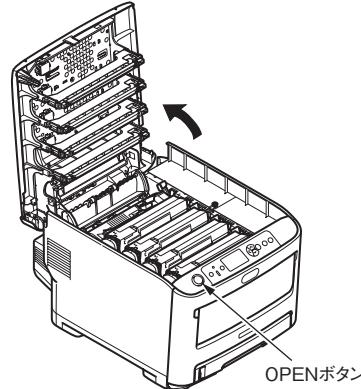
カバーを開けてください
用紙が残っています
トップカバー

と表示しているとき

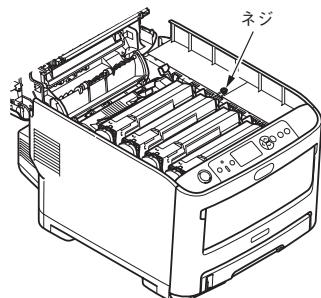
1 トップカバーを開けます。



定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

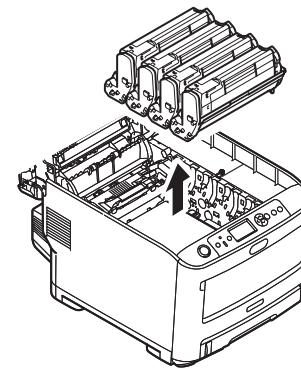


2 ネジに手を触れて静電気を逃がします。

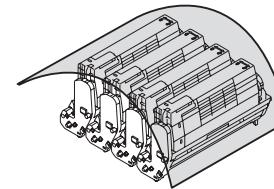


8

3 ドラムカートリッジ4個を取り出し、平らな場所に置きます。

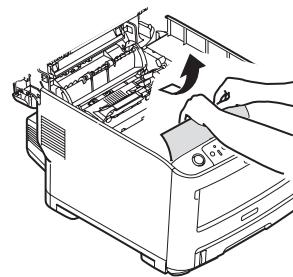


4 取り出したドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。



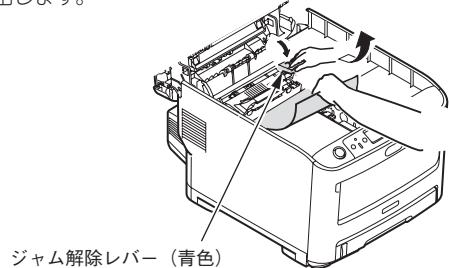
5 つまっている用紙を取り除きます。
つまった用紙の先端が見える場合

プリンタ内部へゆっくり引き出します。



つまった用紙の後端が見えている場合

ジャム解除レバー（青色）を矢印の方向に押しながら、用紙をゆっくり引き出します。



用紙が定着器ユニットにはさまっている場合

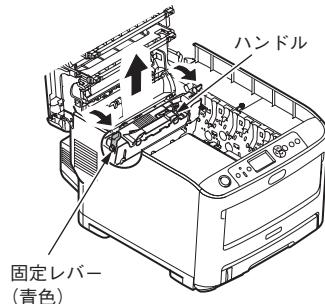
固定レバー（2ヶ所）を手前に倒し、ハンドルを持ち、定着器ユニットを取り出します。



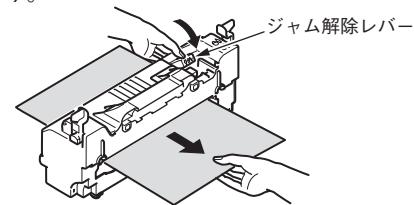
やけどのおそれがあります。



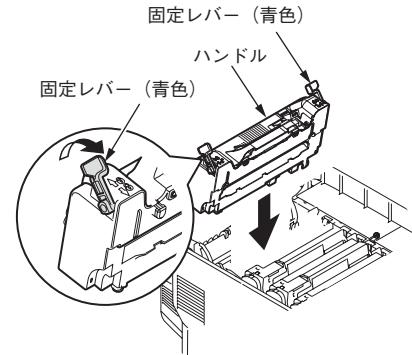
定着器ユニットは高温になっていますので、固定レバー、ハンドル、ジャム解除レバー以外には触らないでください。



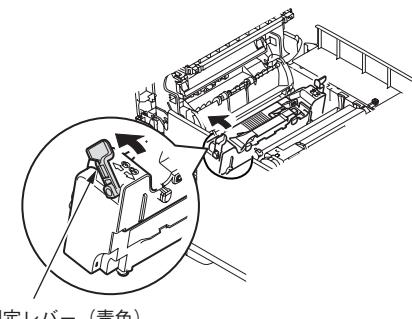
ジャム解除レバーを押しながら、つまった用紙を必ず手前方向へゆっくり引き出します。



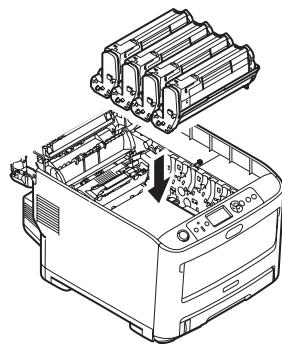
ハンドルを持ち、プリンタ本体に静かに戻します。



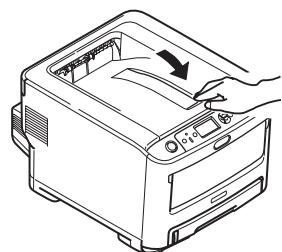
固定レバー（2ヶ所）を奥側に倒し、固定します。



6 ドラムカートリッジ4個をプリンタにセットします。

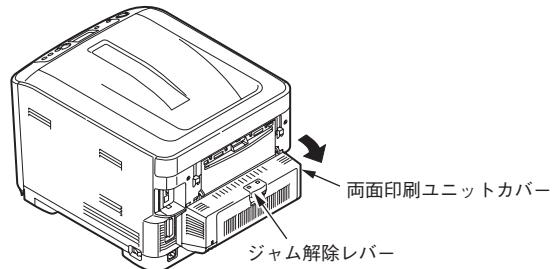


7 トップカバーを閉めます。

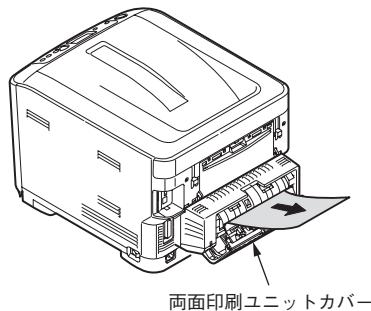


と表示しているとき

- 1 両面印刷ユニットのジャム解除レバーをつまんで押し下げ、両面印刷ユニットカバーを開けます。



- 2 つまっている用紙を取り出します。

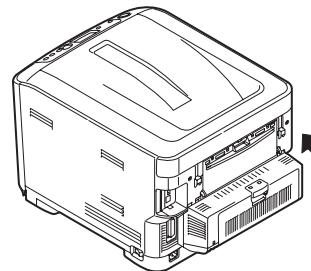


両面印刷ユニットを確認してください
紙づまりです

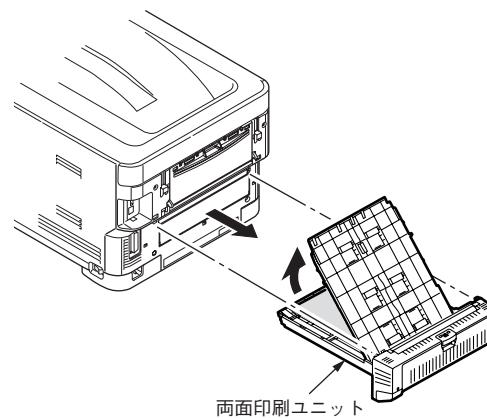
両面印刷ユニットを確認してください
用紙が残っています

- 3 両面印刷ユニットカバーを閉めます。

用紙が見えない場合は両面印刷ユニットカバーを閉めると用紙が自動的に排出されます。



両面印刷ユニットカバーを閉じても用紙が排出されない場合は、両面印刷ユニットをプリンタから抜き、両面印刷ユニット内に用紙がないか確認してください。



両面印刷ユニットを引き抜く場合は、両手で持ちゆっくりと抜いてください。

両面印刷ユニットを取り付ける場合は、両手で持ち、水平にゆっくりと押し込みます。

(MEMO)

9 困ったときには

操作パネルのメッセージ	112
故障かな？と思ったとき	117
用紙送りがおかしい	118
印刷が不鮮明なとき	119



操作パネルのメッセージ

プリンタの操作パネルに表示されるメッセージと対処方法を説明します。

ここで説明する処置をしても良くならない場合は、富士通ハードウェア修理相談センターへご連絡ください。

- ：プリンタの状態を示す、メッセージが表示されています。
- [カラー]：トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの色を示します。
- [メディアサイズ]：用紙サイズを示します。
- [メディアタイプ]：用紙種類を示します。

○：点灯 △：点滅 ×：消灯 −：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説 明	オンライン ランプ	エラー ランプ
印刷できます	印刷できる状態になっています。 カラーレスモード時は「印刷できます カラーレス」と表示されます。	○	×
オフラインです	オフライン状態になっています。	×	×
ファイルアクセス中です	ファイルシステム（FLASH）にアク セス中です。	−	−
データを受信しています	データを受信中です。	−	−
処理中です	データを処理中です。	△	−
データがあります	印刷されないデータがあります。	−	−
TRAY から印刷しています	表示しているトレイの用紙に印刷して います。	−	−
デモページを印刷しています	デモページを印刷しています。	−	−
フォントリストを印刷しています	フォント一覧を印刷中です。	−	−
ネットワーク設定を印刷しています	ネットワーク設定を印刷中です。	−	−
設定内容を印刷しています	設定内容を印刷中です。	−	−
ファイルリストを印刷しています	ファイルシステムに格納されている ファイルの一覧を印刷中です。	−	−

○：点灯 △：点滅 ×：消灯 −：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説 明	オンライン ランプ	エラー ランプ
エラーログを印刷しています	エラーのログを印刷中です。	−	−
□ □ 部単位印刷 nnn/nnn	部単位印刷中です。 例：1/5 総部数 5 部のうち、1 部目 を印刷しています。	−	−
□ □ コピー印刷 nnn/nnn	コピー印刷中です。 例：1/10 総印刷枚数 10 枚のうち、 1 枚目を印刷しています。	−	−
データを削除しています	データを削除しています。	△	−
□ プリンタ準備中です	トナーカートリッジのチェック中で す。	−	−
□ 定着温度調整中です	定着温度を調整しています。	−	−
□ 温度調整中です	プリンタ内の温度を調整中です。	−	−
□ 省電力モード中です	プリンタが省電力状態になっていま す。	−	−
無効な操作です	パワーセーブに移行できない状態で節 電ボタンが押された場合に表示されま すが、3 秒後に元の表示に戻ります。	−	−
□ カラー調整中です	自動色ずれ補正中です。	−	−
□ 濃度補正中です	自動濃度補正中です。	−	−
装置の寿命が近づいています	本製品の寿命として規定されている印 刷ページ数に近づいた場合に表示され ます。	−	○

○：点灯 △：点滅 ×：消灯 −：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説明	オンライン ランプ	エラー ランプ
装置寿命に達しています	本製品の寿命として規定されている印刷ページ数に達した場合に表示されます。このメッセージが表示されても、ただちに印刷できなくなるわけではありませんが、故障頻度が上昇することが予想されます。また、このメッセージが表示されなくても装置導入後5年を経過した場合は装置寿命となります。	−	○
[トレイ] の給紙ローラを交換してください	表示している用紙トレイ、マルチバーパストレイの給紙ローラの交換時期になると表示されます。「富士通ハードウェア修理相談センター」(129 ページ)へご連絡ください。	−	○
□ [カラー] トナーが少なくなっています	表示している色のトナーが少なくなっています。	−	−
□ [カラー] 廃棄トナーがいっぱいです トナーを交換してください。	廃棄トナーがいっぱいになったので、表示している色のトナーを交換してください。	−	○
□ [カラー] ドラムカートリッジの寿命が近づいています	表示している色のドラムカートリッジの寿命が近づいています。	−	−
□ 定着器の寿命が近づいています	定着器ユニットの寿命が近づいています。	−	−
□ ベルトの寿命が近づいています	ベルトユニットの寿命が近づいています。	−	−
□ 定着器を交換してください	定着器ユニットが寿命になったので、新しい定着器ユニットと交換してください。	−	○
□ ベルトを交換してください	ベルトユニットが寿命になったので、新しいベルトユニットと交換してください。	−	○
□ [カラー] トナーが空です	表示している色のトナーがなくなりました。	−	○
□ [カラー] トナーカートリッジがありません	表示している色のトナーカートリッジがありません。	−	○

○：点灯 △：点滅 ×：消灯 −：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説明	オンライン ランプ	エラー ランプ
□ [カラー] ドラムカートリッジを交換してください	表示している色のドラムカートリッジを新しいものと交換してください。	−	○
□ [トレイ] に用紙がありません	表示しているトレイの用紙がなくなりました。	−	○
[トレイ] のカセットがありません	表示されているカセットが抜けていることを示します。 カセットをセットしてください。	−	○
□ ファイルシステムがいっぱいです	ファイルシステムの空き容量がなくなりました。	−	○
□ ファイルシステムへの書き込みは禁止されています	書き込みが禁止されているファイルをファイルシステムに書き込もうとしています。	−	○
無効なデータを受信しました	無効な印刷データを受信しました。オンラインボタンを押して警告表示を解除してください。無効なデータは自動で削除されます。	−	−
□ 部単位印刷エラーです オンラインボタンを押してください	部単位印刷中にエラーが発生しました。オンラインボタンを押すと、エラーメッセージは消えます。	−	−
□ ファイルシステム アクセスエラー <nnn> オンラインボタンを押してください	ファイルシステム アクセスエラーが発生しました。オンラインボタンを押すと、メッセージは消えます。 nnn: エラーフィル番号が表示されます。	−	○
用紙を入れてください マルチバーパストレイ [メディアサイズ] オンラインボタンを押してください	表示しているサイズの用紙をマルチバーパストレイにセットし、オンラインボタンを押してください。	○	×
[トレイ] の用紙種類をかえてください [メディアサイズ] [メディアタイプ] を入れてオンラインボタンを押してください 詳しくはヘルプをご覧ください	トレイにセットしてある用紙が、印刷データと一致しません。表示しているトレイに、表示している用紙をセットし、オンラインボタンを押してください。	×	△

○：点灯 △：点滅 ×：消灯 −：不定			
操作パネルに表示されるメッセージ	説明	オンラインランプ	エラーランプ
マルチバーパストレイの用紙種類をかえてください [メディアサイズ] [メディアタイプ] を入れてオンラインボタンを押してください 詳しくはヘルプをご覧ください	マルチバーパストレイの用紙が、印刷データと一致しません。マルチバーパストレイに表示している用紙をセットし、オンラインボタンを押してください。	×	△
[トレイ] の用紙サイズをかえてください [メディアサイズ] [メディアタイプ] を入れてオンラインボタンを押してください 詳しくはヘルプをご覧ください	表示されているトレイにセットしてある用紙が、印刷データと一致しません。表示しているトレイに、表示している用紙をセットし、オンラインボタンを押してください。 アプリケーションで指定している「用紙サイズ」、プリンタドライバの「用紙サイズ」、トレイの用紙サイズ設定（トレイ1／マルチバーパストレイは操作パネルより設定、トレイ2／トレイ3（オプション）は用紙サイズダイヤルにて設定）、実際にトレイにセットしている用紙サイズは、すべて合わせてください。	×	△
マルチバーパストレイの用紙サイズをかえてください [メディアサイズ] [メディアタイプ] を入れてオンラインボタンを押してください 詳しくはヘルプをご覧ください	マルチバーパストレイにセットしてある用紙が、印刷データと一致しません。マルチバーパストレイに、表示している用紙をセットし、オンラインボタンを押してください。	×	△
用紙を入れてください マルチバーパストレイ [メディアサイズ] を入れてオンラインボタンを押してください 詳しくはヘルプをご覧ください	マルチバーパストレイの用紙が無くなりました。表示しているサイズの用紙をマルチバーパストレイにセットしてください。	×	△
用紙を取り除いてください フェイスダウンスタッカ 詳しくはヘルプをご覧ください	フェイスダウンスタッカが印刷済みの用紙で一杯になりました。フェイスダウンスタッカにある、印刷済みの用紙を取り除いてください。	×	△
復旧のためにはオンラインボタンを押してください メモリオーバーフロー	メモリオーバーフローが発生しました。オンラインボタンを押すと復旧します。	×	△

○：点灯 △：点滅 ×：消灯 −：不定			
操作パネルに表示されるメッセージ	説明	オンラインランプ	エラーランプ
しばらくお待ちください ネットワーク設定を保存中です	ネットワーク設定を保存中です。しばらくお待ちください。	−	−
しばらくお待ちください ネットワーク初期化中です	ネットワーク初期化中です。しばらくお待ちください。	−	−
用紙を入れてください [トレイ] [メディアサイズ]	表示しているトレイに用紙がありません。表示しているトレイに、表示している用紙をセットしてください。	×	△
詳しくはヘルプをご覧ください			
カセットを入れてください [トレイ]	表示しているトレイが正しくセットされていません。正しくセットしてください。	×	△
詳しくはヘルプをご覧ください			
カセットを入れてください [トレイ]	表示しているトレイがセットされていません。セットしてください。	×	△
詳しくはヘルプをご覧ください			
トナーカートリッジを交換してください [カラー]	表示している色のトナーカートリッジを新しいものと交換してください。	×	△
詳しくはヘルプをご覧ください			
他社プリンタ用のトナーカートリッジが入っています [カラー]	表示している色のトナーカートリッジが純正品ではありません。純正のトナーカートリッジをセットしてください。	×	△
詳しくはヘルプをご覧ください			
トナーカートリッジは純正品ではありません [カラー] プリンタ保護のために印刷を停止します	表示している色のトナーカートリッジが純正品ではありません。純正のトナーカートリッジをセットしてください。	×	△
詳しくはヘルプをご覧ください			
トナーカートリッジがありません [カラー]	表示している色のトナーカートリッジがセットされていません。セットしてください。	×	△
詳しくはヘルプをご覧ください			

○：点灯 △：点滅 ×：消灯 −：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説明	オンラインランプ	エラーランプ
カセットを引き出してください 用紙が残っています [トレイ] 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。表示しているトレイ内に用紙が残っています。トレイ引き出し、残っている用紙を取り除いてください。 ^注	×	△
カバーを開けてください 用紙が残っています フロントカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。フロントカバーを開け、残っている用紙を取り除いてください。 ^注	×	△
カバーを開けてください 用紙が残っています トップカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。トップカバーを開け、つまっている用紙を取り除いてください。 ^注	×	△
両面印刷ユニットを確認してください 用紙が残っています 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。両面印刷ユニット付近に用紙が残っています。両面印刷ユニットを引き出し、用紙を取り除いてください。 ^注	×	△
トナーカートリッジを確認してください [カラー] 詳しくはヘルプをご覧ください	表示しているトナーカートリッジを確認してください。	×	△
用紙を確認してください 用紙サイズエラー [トレイ] 詳しくはヘルプをご覧ください	用紙サイズエラーが発生しました。表示しているトレイの用紙を確認してください。 アプリケーションで指定している「用紙サイズ」、プリントドライバの「用紙サイズ」、トレイの用紙サイズ設定（トレイ1／マルチバーストレイは操作パネルより設定、トレイ2／トレイ3（オプション）は用紙サイズダイヤルにて設定）、実際にトレイにセットしている用紙サイズは、すべて合わせてください。 上記を設定しても、エラーが表示される場合は「用紙送りがおかしい」(118ページ)を確認してください。	×	△

○：点灯 △：点滅 ×：消灯 −：不定

操作パネルに表示されるメッセージ	説明	オンラインランプ	エラーランプ
カバーを開けてください 紙づまりです フロントカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。フロントカバーを開け、つまった用紙を取り除いてください。 ^注	×	△
カセットを引き出してください 紙づまりです [トレイ] 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。表示しているトレイを引き出し、つまった用紙を取り除いてください。 ^注	×	△
カバーを開けてください 紙づまりです トップカバー 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。トップカバーを開け、つまっている用紙を取り除いてください。 ^注	×	△
両面印刷ユニットを確認してください 紙づまりです 詳しくはヘルプをご覧ください	紙づまりが発生しました。両面印刷ユニットを引き出し、用紙を取り除いてください。 ^注	×	△
両面印刷ユニットを入れてください 詳しくはヘルプをご覧ください	両面印刷ユニットが正しくセットされていません。正しくセットしてください。	×	△
ドラムカートリッジを交換してください ドラムカートリッジ寿命です [カラー] 詳しくはヘルプをご覧ください	表示している色のドラムカートリッジが寿命になりました。新しいドラムカートリッジと交換してください。	×	△
定着器を交換してください 定着器寿命です 詳しくはヘルプをご覧ください	定着器ユニットの交換時期になると表示されます。「富士通ハードウェア修理相談センター」(129ページ)へご連絡ください。	×	△
ベルトを交換してください ベルト寿命です 詳しくはヘルプをご覧ください	ベルトユニットの交換時期になると表示されます。「富士通ハードウェア修理相談センター」(129ページ)へご連絡ください。	×	△

操作パネルに表示されるメッセージ	説明	オンラインランプ	エラーランプ
トナーカートリッジを確認してください レバーの位置が正しくありません [カラー]	表示している色のトナーカートリッジのレバーの位置が正しくありません。正しい位置にセットしてください。	×	△
詳しくはヘルプをご覧ください			
ドラムカートリッジをセットし直してください [カラー]	表示している色のドラムカートリッジが正しくセットされていません。セットし直してください。	×	△
詳しくはヘルプをご覧ください			
定着器をセットし直してください	定着器ユニットが正しくセットされていません。セットし直してください。または、定着器ユニットのリリースレバーを確認してください。	×	△
詳しくはヘルプをご覧ください			
ベルトをセットし直してください	ベルトが正しくセットされていません。セットし直してください。	×	△
詳しくはヘルプをご覧ください			
カバーを閉めてください [カバー]	表示しているカバーが開いています。表示しているカバーを閉めてください。	×	△
詳しくはヘルプをご覧ください			
しばらくお待ちください 再起動しています	プリンタを再起動しています。しばらくお待ちください。	×	○
シャットダウン中です	プリンタをシャットダウンしています。	×	×
電源を切ってください シャットダウン完了しました	プリンタのシャットダウンが完了しました。電源を切ってください。	×	×
プリンタを再起動してください nnn: エラー	エラーが発生しました。プリンタを再起動してください。	×	△

操作パネルに表示されるメッセージ	説明	オンラインランプ	エラーランプ
ハードウェア修理相談センターへ連絡してください nnn: エラー	ハードウェアの異常を検知した場合に表示されます。「富士通ハードウェア修理相談センター」(129 ページ)へ連絡してください。 nnn が、下記の番号の場合は、下記の方法で復旧するか確認してください。それでも復旧しない場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」へ連絡してください。 ・111：他の機種の両面印刷ユニットが装着されています。両面印刷ユニットは本製品用のユニットを取り付けてください。 ・112, 113： 他の機種の拡張給紙ユニットが装着されています。拡張給紙ユニットは本製品用のユニットを取り付けてください。 ・168, 171, 175, 177： しばらく待ってからプリンタを再起動してください。 ・181：両面印刷ユニットを取り付け直してください。 ・182：オプションのセカンドトレイを取り付け直してください。 ・183：オプションのサードトレイユニットを取り付け直してください。 ・983, 984, 985, 986, 987： セットされたトナーカートリッジが使用できない場合に表示されます。トナーカートリッジの型名を確認してください。	×	△
Power Off/On nnn:Fatal Error PC:nnnnnnnn LR:nnnnnnnn FR:nnnnnnnn	ハードウェアの異常を検知した場合に表示されます。 プリンタの電源をオフ / オンしてください。	×	△

注：あわせて「用紙送りがおかしい」(118 ページ) もご覧ください。

故障かな？と思ったとき

電源を ON にしても「オンライン」にならない。

電源コードが抜けています。

電源を OFF にしてから、電源コードをしっかりと差し込んでください。

停電しています。

コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。

印刷処理を開始しない。

プリンタがスリープモードになっています。

「節電 / 解除」ボタンを押して、スリープモードを解除してください。

エラーが表示されています。

プリンタの操作パネルにエラーが表示されている場合は「操作パネルのメッセージ」(112 ページ)をご覧ください。

プリンタケーブルが外れています。

プリンタケーブルを差し込んでください。

プリンタケーブルに問題があります。

予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。

プリンタケーブルが規格に合っていない可能性があります。

USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。

プリンタの印刷機能に問題がある可能性があります。

プリンタの設定内容印刷ができるか確認してください。「設定内容印刷をします」(18 ページ)をご覧ください。

インターフェースが無効になっています。

プリンタのメニュー設定で、使用しているインターフェースを [Enable] にしてください。

プリンタドライバが選択されません。

プリンタドライバを [通常使うプリンタ] に設定してください。

プリンタドライバの出力ポートが間違っています。

プリンタケーブルを接続した出力ポートを選択してください。

異常音がする。

プリンタが傾いています。

安定した水平な場所に設置してください。

プリンタ内部に用紙くずや異物があります。

プリンタ内部を点検し、取り除いてください。

トップカバーが開いています。

トップカバーの左右を押して閉じてください。

トナーが少なくなっています。

トナーカートリッジ内のトナーが少なくなると、カートリッジ内でトナーをかくはんするときの回転音がする場合がありますが故障ではありません。新しいトナーカートリッジに交換してください。

印刷処理が中断する。

プリンタケーブルが断線しています。

プリンタケーブルを取り替えてください。

コンピューターのタイムアウトにかかるています。

タイムアウトを長く設定してください。

共振音がする。

プリンタ内部の温度が上昇している状態で、幅狭用紙や厚紙などを印刷しています。

プリンタの故障ではありません。そのままお使いください。

すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。

スリープモードまたは省電力モードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。

ドラムカートリッジのクリーニング動作を行っていることがあります。

定着器ユニットの温度を調整しています。

他のインターフェースからのデータを処理しています。

印刷の途中で印刷が止まる。

連續印刷などで定着器ユニットの温度が上昇したため、間欠印刷^{*}により温度を調整しています。

長時間の連續印刷などでプリンタの内部温度が上昇したため、間欠印刷や印刷一時停止により温度調整を行っています。

ドラムカートリッジのクリーニング動作を行っていることがあります。

* 間欠印刷とは、一定の間隔をおいて印刷することです。



用紙送りがおかしい

紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。	
プリンタが傾いています。	➡ 安定した水平な場所に設置してください。
用紙が薄すぎるか厚すぎます。	➡ プリンタに適した用紙を使用してください。
用紙が湿気が含んでいたり、静電気を帯びています。	➡ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙に折り目やシワや反りがあります。	➡ プリンタに適した用紙を使用してください。 反りがある場合は修正してください。
用紙がそろっていません。	➡ 用紙の上下左右を揃えてからセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパストレイに用紙が入ったまま追加しています。	➡ 先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右を揃えてからセットしてください。
用紙がまっすぐにセットされていません。	➡ 用紙カセットの用紙ストップと用紙ガイドを用紙に合わせてください。マルチパーパストレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。
はがきや封筒のセット方向が間違っています。	➡ 正しくセットしてください。
厚紙（221g/m ² ～250g/m ² ）の用紙、はがき、封筒、ラベル紙を用紙カセットにセットしています。	➡ 厚紙（221g/m ² ～250g/m ² ）の用紙、はがき、封筒、ラベル紙は用紙カセットから印刷できません。マルチパーパストレイにセットし、フェイスアップスタッカヘ排出してください。詳しくは「印刷します」（65ページ）をご覧ください。

用紙が送られない。	
プリンタドライバの【給紙方法】の選択が間違っています。	➡ 用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
プリンタドライバで手差しの指定をしています。	➡ マルチパーパストレイに用紙をセットして、「オンライン」ボタンを押してください。または「マルチパーパストレイ設定」の【手差しとして扱う】のチェックを外してください。

つまった用紙を取り除いても復旧しない。	
用紙を取り除くだけでは復旧しません。	➡ トップカバーを開閉してください。

用紙がまるまってしまう。シワが出る。	
用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	➡ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。

定着器ユニットのローラへ用紙が巻きつく。	
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	➡ プリンタドライバの「用紙種類」の設定を変更してください。
薄い紙を使用しています。	➡ より厚手の用紙を使用してください。
用紙先端部にベタに近い塗りつぶしがあります。	➡ 用紙先端部に余白を入れてみてください。両面印刷の場合、後端部にも余白を入れてみてください。

用紙が二重送りされる。	
給紙ローラが汚れています。	➡ 給紙ローラを清掃します（91ページ）
一度印刷された用紙や裏紙を使用しています。	➡ 一度印刷された用紙や裏紙は使用できません。
トレイやマルチパーパストレイに用紙が正しくセットされていません。	➡ 用紙カセットの用紙ストップと用紙ガイドを用紙に合わせてください。マルチパーパストレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。

あわせて次のページもご覧ください。

- ・「使用できる用紙」（66ページ）
- ・「使用できない用紙」（70ページ）
- ・「用紙の保管上のご注意」（71ページ）
- ・「給紙方法と排出方法を決めます」（72ページ）

印刷が不鮮明なとき

縦方向に白いスジが入る。



- | | | |
|------------------|--|--|
| ↑
用紙の送り方
向 | LED ヘッドが汚れています。
トナーが残り少なくなっています。
異物がつまっています。
ドラムカートリッジの遮光フィルムが汚れています。 | 柔らかいティッシュペーパーでふいてください。詳しく述べは「LED ヘッドを清掃します」(94 ページ)をご覧ください。
トナーカートリッジを交換してください。
ドラムカートリッジを交換してください。
柔らかいティッシュペーパーでふいてください。詳しく述べは「LED ヘッドを清掃します」(94 ページ)をご覧ください。 |
|------------------|--|--|

縦方向にかずれる。



- | | | |
|------------------|---|--|
| ↑
用紙の送り方
向 | LED ヘッドが汚れています。
トナーが残り少なくなっています。
用紙がプリンタに適していません。 | 柔らかいティッシュペーパーでふいてください。詳しく述べは「LED ヘッドを清掃します」(94 ページ)をご覧ください。
トナーカートリッジを交換してください。
推奨紙を使用してください。
用紙については、「使用できる用紙」(66 ページ)をご覧ください。 |
|------------------|---|--|

印刷が薄い



- | | | |
|------------------|---|---|
| ↑
用紙の送り方
向 | トナーカートリッジが正しくセットされていません。
トナーが残り少なくなっています。
用紙が湿気を含んでいます。
用紙がプリンタに適していません。
用紙がプリンタに適していません。用紙の厚さや種類の設定が不適切です。 | トナーカートリッジを取り付け直してください。
トナーカートリッジを交換してください。
適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
推奨紙を使用してください。
用紙については、「使用できる用紙」(66 ページ)をご覧ください。
プリンタドライバの設定で「用紙種類」を適切な値にしてください。 |
|------------------|---|---|

部分的にかずれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。



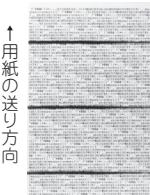
- | | |
|---------------|---------------------------|
| 用紙が湿気を含んでいます。 | 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。 |
|---------------|---------------------------|

縦方向にスジが入る。



- | | |
|---------------------|---------------------|
| トナーカートリッジに傷が付いています。 | ドラムカートリッジを交換してください。 |
| トナーが残り少なくなっています。 | トナーカートリッジを交換してください。 |

用紙の送り方向と垂直にスジや点が周期的に入る。



- | | |
|--|---|
| 約 94mm 周期の場合は、ドラムカートリッジ(緑の筒の部分)に傷または汚れが付いています。 | 柔らかいティッシュペーパーで軽くふき取ってください。傷が付いていたら、ドラムカートリッジを交換してください。 |
| 約 40mm 周期の場合は、ドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。 | トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。 |
| 約 90mm 周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。 | 定着器ユニットを交換してください。 |
| ドラムカートリッジが光にさらされました。 | ドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、ドラムカートリッジを交換してください。 |

白地の部分が薄く汚れる。

```
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s
P Q R S T U V W X Y Z [ w ] _ - a b
? @ A B C D E F G H I J K L M N O P Q
. / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ; < > ? %
( ) _ ! # $ % & ^ ( ) * + - . / 
k l m n o p q r s t u v w x y z [ ! ]
Z [ w ] _ - a b c d e f g h i j k l
I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z [ ! ]
8 9 ; : < = ? @ A B C D E F G H I J
( ) * + - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
u v w x y z [ ! ] _ ! # $ % & ^ ( )
d e f g h i j k l m n o p q r s t u v
S T U V W X Y Z [ w ] _ - a b c d e
B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T
! 2 3 4 5 6 7 8 9 ; : < > ? @ A B C
! # $ % & ^ ( ) * + - . / 0 1 2
n o p q r s t u v w x y z [ ! ] _ !
```

用紙が静電気を帯びています。

適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。

厚い用紙を使用しています。

より薄手の用紙を使用してください。

トナーが残り少なくなっています。

トナーカートリッジを交換してください。

文字の周辺がにじむ。

```
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s
P Q R S T U V W X Y Z [ w ] _ - a b
? @ A B C D E F G H I J K L M N O P Q
. / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ; < > ? %
( ) _ ! # $ % & ^ ( ) * + - . / 
k l m n o p q r s t u v w x y z [ ! ]
Z [ w ] _ - a b c d e f g h i j k l
I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z [ ! ]
8 9 ; : < = ? @ A B C D E F G H I J
( ) * + - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
u v w x y z [ ! ] _ ! # $ % & ^ ( )
d e f g h i j k l m n o p q r s t u v
S T U V W X Y Z [ w ] _ - a b c d e
B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T
! 2 3 4 5 6 7 8 9 ; : < > ? @ A B C
! # $ % & ^ ( ) * + - . / 0 1 2
n o p q r s t u v w x y z [ ! ] _ !
```

LED ヘッドが汚れています。

柔らかいティッシュペーパーでふいてください。詳しくは「LED ヘッドを清掃します」(94 ページ) をご覧ください。

LED ヘッドの位置が正しくない。

プリンタのトップカバーを開閉してください。

はがき、封筒を印刷すると全体的に薄く汚れる。擦ると文字の周辺が汚れる。



はがき、封筒に印刷するとき、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。

プリンタの故障ではありません。

擦るとトナーがとれる。

用紙の厚さや種類の設定が不適切です。

プリントドライバの設定で「用紙種類」を適切な値にしてください。

思った色合いで印刷されない。

トナーが残り少なくなっています。

トナーカートリッジを交換してください。

【黒の生成】の設定がアプリケーションに合っていません。

プリントドライバの【印刷オプション】ウィンドウの【その他】をクリックすると表示される【その他】ウィンドウで、「100%の黒は常に黒(K)トナーで生成する」をにしてください。

カラー調整を変更しています。

プリントドライバのカラーマッチングにしてください。詳しくは「カラーについて」の「カラーマッチングする（カラー調整）」（ソフトウェアガイド）をご覧ください。

カラーバランスがとれていません。

プリンタのメニュー mode 「プリント調整」 - 「濃度補正」で濃度補正を実行してください。

色ずれが起こっています。

トップカバーを開閉してください。または、プリンタのメニュー mode 「プリント調整」 - 「色ずれ補正」で色ずれ補正調整をしてください。詳しくは「色ずれ補正調整をします」(96 ページ) をご覧ください。

CMY 各色 100% のベタが薄い

プリンタのメニュー mode 「カラー調整」 - 「CMY100% 濃度」が「無効」になっています。

プリンタのメニュー mode 「カラー調整」 - 「カラー設定」 - 「CMY100% 濃度」を「有効」にしてください。

付 錄

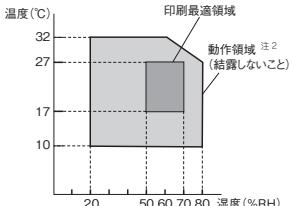
仕様	122
サプライ品・オプション品一覧	125
有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24 時間運用について	126
用紙の印刷方向と印刷可能領域について	128
アフターサービスについて	129

仕様

主な仕様

印刷方式	LED を露光光源とする電子写真方式																																																											
データ処理解像度	600 × 600dpi 600 × 1200dpi 600 × 600dpi (4 階調)																																																											
印刷速度 (コピー動作による連続印刷時) 単位：ページ／分	カラー印刷																																																											
マルチパーパストレイからの給紙	<table border="1"> <thead> <tr> <th>用紙種類</th> <th>厚さ</th> <th>サイズ</th> <th>片面印刷</th> <th>両面印刷</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通紙</td> <td>64～74g/m²</td> <td>A4</td> <td>34</td> <td>25.5</td> </tr> <tr> <td>やや厚い紙</td> <td>75～82g/m²</td> <td>A4</td> <td>34</td> <td>25.5</td> </tr> <tr> <td>厚い紙</td> <td>83～104g/m²</td> <td>A4</td> <td>34</td> <td>25.5</td> </tr> <tr> <td>より厚い紙</td> <td>105～120g/m²</td> <td>A4</td> <td>20</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>ごく厚い紙1</td> <td>121～188g/m²</td> <td>A4</td> <td>12</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ごく厚い紙2</td> <td>189～220g/m²</td> <td>A4</td> <td>8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ごく厚い紙3</td> <td>221～250g/m²</td> <td>A4</td> <td>8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ラベル紙1</td> <td>-</td> <td>A4</td> <td>10*</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ラベル紙2</td> <td>-</td> <td>A4</td> <td>8*</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>はがき</td> <td>-</td> <td>郵便はがき</td> <td>11*</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>					用紙種類	厚さ	サイズ	片面印刷	両面印刷	普通紙	64～74g/m ²	A4	34	25.5	やや厚い紙	75～82g/m ²	A4	34	25.5	厚い紙	83～104g/m ²	A4	34	25.5	より厚い紙	105～120g/m ²	A4	20	16	ごく厚い紙1	121～188g/m ²	A4	12	-	ごく厚い紙2	189～220g/m ²	A4	8	-	ごく厚い紙3	221～250g/m ²	A4	8*	-	ラベル紙1	-	A4	10*	-	ラベル紙2	-	A4	8*	-	はがき	-	郵便はがき	11*	-
用紙種類	厚さ	サイズ	片面印刷	両面印刷																																																								
普通紙	64～74g/m ²	A4	34	25.5																																																								
やや厚い紙	75～82g/m ²	A4	34	25.5																																																								
厚い紙	83～104g/m ²	A4	34	25.5																																																								
より厚い紙	105～120g/m ²	A4	20	16																																																								
ごく厚い紙1	121～188g/m ²	A4	12	-																																																								
ごく厚い紙2	189～220g/m ²	A4	8	-																																																								
ごく厚い紙3	221～250g/m ²	A4	8*	-																																																								
ラベル紙1	-	A4	10*	-																																																								
ラベル紙2	-	A4	8*	-																																																								
はがき	-	郵便はがき	11*	-																																																								
モノクロ印刷	<table border="1"> <thead> <tr> <th>用紙種類</th> <th>厚さ</th> <th>サイズ</th> <th>片面印刷</th> <th>両面印刷</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通紙</td> <td>64～74g/m²</td> <td>A4</td> <td>36</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>やや厚い紙</td> <td>75～82g/m²</td> <td>A4</td> <td>36</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>厚い紙</td> <td>83～104g/m²</td> <td>A4</td> <td>36</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>より厚い紙</td> <td>105～120g/m²</td> <td>A4</td> <td>24</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>ごく厚い紙1</td> <td>121～188g/m²</td> <td>A4</td> <td>16</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ごく厚い紙2</td> <td>189～220g/m²</td> <td>A4</td> <td>16</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ごく厚い紙3</td> <td>221～250g/m²</td> <td>A4</td> <td>12*</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ラベル紙1</td> <td>-</td> <td>A4</td> <td>10*</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ラベル紙2</td> <td>-</td> <td>A4</td> <td>8*</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>はがき</td> <td>-</td> <td>郵便はがき</td> <td>11*</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>					用紙種類	厚さ	サイズ	片面印刷	両面印刷	普通紙	64～74g/m ²	A4	36	27	やや厚い紙	75～82g/m ²	A4	36	27	厚い紙	83～104g/m ²	A4	36	27	より厚い紙	105～120g/m ²	A4	24	19	ごく厚い紙1	121～188g/m ²	A4	16	-	ごく厚い紙2	189～220g/m ²	A4	16	-	ごく厚い紙3	221～250g/m ²	A4	12*	-	ラベル紙1	-	A4	10*	-	ラベル紙2	-	A4	8*	-	はがき	-	郵便はがき	11*	-
用紙種類	厚さ	サイズ	片面印刷	両面印刷																																																								
普通紙	64～74g/m ²	A4	36	27																																																								
やや厚い紙	75～82g/m ²	A4	36	27																																																								
厚い紙	83～104g/m ²	A4	36	27																																																								
より厚い紙	105～120g/m ²	A4	24	19																																																								
ごく厚い紙1	121～188g/m ²	A4	16	-																																																								
ごく厚い紙2	189～220g/m ²	A4	16	-																																																								
ごく厚い紙3	221～250g/m ²	A4	12*	-																																																								
ラベル紙1	-	A4	10*	-																																																								
ラベル紙2	-	A4	8*	-																																																								
はがき	-	郵便はがき	11*	-																																																								

用紙サイズ	<ul style="list-style-type: none"> マルチパーパストレイ(手差し) A4、A5、A6、B5、レター、リーガル はがき、往復はがき、 封筒(長形3号/長形4号/洋形4号/A4) ユーモ定義サイズ(幅64～215.9mm×長さ127～1321mm) ただし、長さが356mm以上の場合は、幅210mm～216mmになります。 トレイ1(標準用紙カセット) A4、A5、A6、B5、レター、リーガル ユーモ定義サイズ(幅105～215.9mm×長さ148mm, 203～356mm) トレイ2、トレイ3: 拡張給紙ユニット(オプション) A4、A5、B5、レター、リーガル ユーモ定義サイズ(幅148～215.9mm×長さ210～356mm)
給紙容量	<ul style="list-style-type: none"> マルチパーパストレイ(手差し): 110枚(64g/m²用紙の場合) はがき: 40枚 封筒: 10枚(85g/m²紙の場合) トレイ1(用紙カセット: 標準): 330枚(64g/m²用紙の場合) トレイ2、トレイ3(拡張給紙ユニット: オプション): 580枚(64g/m²用紙の場合) 最大給紙容量: 1600枚 (拡張給紙ユニット×2段使用時)
用紙種類	<ul style="list-style-type: none"> マルチパーパストレイ(手差し) 普通紙(64g/m²～74g/m²)、厚紙(75g/m²～250g/m²) 郵便はがき、郵便往復はがき、封筒、ラベル紙、長尺用紙 トレイ1(標準用紙カセット) 普通紙(64g/m²～74g/m²)、厚紙(75g/m²～220g/m²) トレイ2、トレイ3: 拡張給紙ユニット(オプション) 普通紙(64g/m²～74g/m²)、厚紙(75g/m²～220g/m²)
排紙方法	フェースアップ: 110枚 フェースダウン: 270枚
両面印刷	標準搭載 ・対応用紙サイズ A4、A5、B5、レター、リーガル ・対応用紙種類 64g/m ² ～120g/m ²
対応プリンタシーケンス	XLプリンタドライバ(Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003)
搭載フォント	日本語4書体(明朝体、ゴシック体) 欧文91書体

対応ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> IPv4 : TCP/IP (Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003) SNMP (MIB-II、プリンタ MIB)、IPP、HTTP <ul style="list-style-type: none"> IPv6 : TCP/IP (Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008) SNMP (MIB-II、プリンタ MIB)、IPP、HTTP
接続インターフェース	USB2.0 準拠 USB インターフェース LAN インターフェース (100BASE-TX/10BASE-T 共用)
CPU	PowerPC
標準メモリ	256MB (最大 512MB まで増設可能)
使用環境	<p>温度 10 ~ 32°C、湿度 20 ~ 80%RH</p>  <p>印刷最適領域</p> <p>動作領域^{注2} (結露しないこと)</p>
電源・電源周波数	AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2% (安定した正弦波であること) (矩形波が出力される電源機器には接続しないでください故障のおそれがあります。)
定格電流	13.5A
突入電流	最大突入電流 70A 以下 (25°C)
消費電力	動作時最大 : 1300W 平均消費電力 : 600W 節電時 : 15W 以下、スリープ時 : 0.9W
ファーストプリント (A4)	約 9 秒 (カラー)、約 8 秒 (モノクロ)
ウォームアップ時間	電源投入時 : 60 秒以下 (濃度補正なし) / 120 秒以下 (濃度補正あり) パワーセーブ復帰時 : 約 35 秒以下
稼動音	標準構成 : 54dBA 待機時 : 37dBA 以下
外形寸法	幅 435mm、奥行き 604mm、高さ 340mm
本体重量	約 29Kg (消耗品を含む)
Tec 値	3.31kWh
耐用期間 (装置寿命)	5 年または 42 万ページ ^{注3}
電源コード	2 本 (平行2極プラグ/平行3極プラグ) 約 1.9m

注 1 : メニューモードで「モノクロ印刷速度優先」設定時

注 2 : 印刷最適領域を超えて使用した場合には、印字品質が低下する事がありますので、印刷最適領域内の使用をお勧めします。

注 3 : 耐用期間 (装置寿命) のページ数は、用紙サイズや用紙種類、印刷条件、オプション構成、およびプリンタ本体の電源 ON・OFF による初期化動作の頻度などにより異なります。また、本製品には、有寿命部品、消耗品、定期交換部品が含まれています。詳しくは「有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24 時間運用について」(126 ページ) をご覧ください。

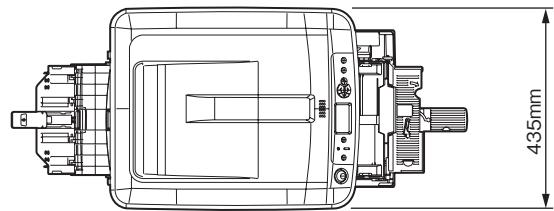
・日間 2000 ページ (連続印刷時) を超えて使用した場合は、印刷品質が低下する事があります。

・上記の印刷ボリュームでの継続使用は故障の原因となります。月間 7,000 ページ程度までの使用が安定した品質を維持できる目安です。

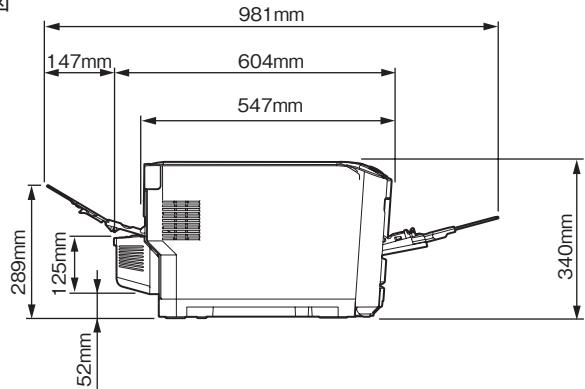
・上記のページ数はあくまでも目安であり、動作を保証するものではありません。

外形寸法

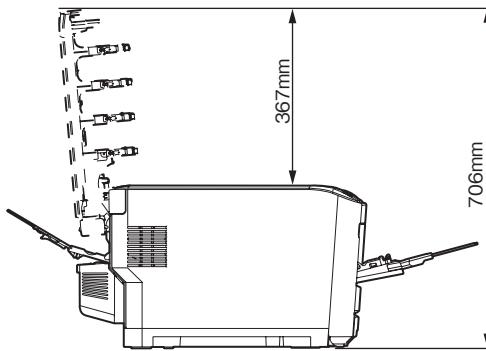
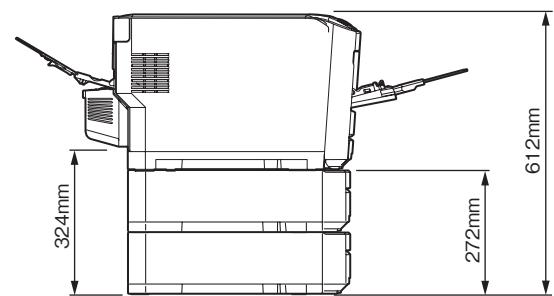
平面図



側面図



オプション装着時



サプライ品・オプション品一覧

本プリンタに用意されているサプライ品は次の表のとおりです。
なお、サプライ品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/>) でご確認ください。

品名	型名	内容
トナーカートリッジ CL115A（ブラック）	0800110	印刷量の目安は、 ブラック：約 3000 ページ、 カラー：約 2000 ページです。 (ISO/IEC 19798 (JIS X6932)に基づく)
トナーカートリッジ CL115A（イエロー）	0800120	
トナーカートリッジ CL115A（マゼンタ）	0800130	
トナーカートリッジ CL115A（シアン）	0800140	
トナーカートリッジ CL115B（ブラック）	0800150	印刷量の目安は、 ブラック：約 8000 ページ、 カラー：約 6000 ページです。 (ISO/IEC 19798 (JIS X6932)に基づく)
トナーカートリッジ CL115B（イエロー）	0800160	
トナーカートリッジ CL115B（マゼンタ）	0800170	
トナーカートリッジ CL115B（シアン）	0800180	
ドラムカートリッジ CL115（ブラック）	0800410	約 20,000 ページ印刷可能 (3 ページ / ジョブ印刷時) トナー 1 本添付（約 2000 ページ印刷可能 (A4、印字率 5%)）
ドラムカートリッジ CL115（イエロー）	0800420	
ドラムカートリッジ CL115（マゼンタ）	0800430	
ドラムカートリッジ CL115（シアン）	0800440	
拡張給紙ユニット	XL-EF58CE	拡張給紙ユニット (トレイ 2、トレイ 3)
プリンタ RAM モジュール -256MB	XL-EM256CE	増設メモリ (256MB)

メモ

新しいドラムカートリッジに 1 本目のトナーカートリッジを取り付けたときの交換の目安は次のようにになります。これは、新しいドラムカートリッジ内にトナーが入っていないので、セットした 1 本目のトナーカートリッジからトナーを充てんするためです。

- ・ドラムカートリッジ添付トナー：約 1200 ページ

サプライ品のご購入については、本製品をご購入の販売店、または富士通コワーコにご相談ください。

- ・富士通コワーコお客様総合センター
通話料無料 0120-505-279
月曜～金曜 9:00 ~ 17:30 (祝日・年末年始を除く)
URL:<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>



- ・トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、本プリンタの純正品を取り付けてください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。
- ・トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から 2 年（開封後は 1 年間）の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ／汚れ／かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、有効期限内の使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。
- ・ご使用になるまで、開封しないでください。
- ・直射日光を避け、温度：0 ~ 35°C、湿度：20 ~ 85%RH 範囲にある場所で保管してください。
- ・周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- ・幼児の手が届かない所に保管してください。

有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24 時間運用について

有寿命部品、消耗品、定期交換部品、24 時間運用について、留意していただきたい点を説明します。

有寿命部品について

- 本製品の耐用期間は、適切な使用環境（22°C / 55%RH）において 1 日 8 時間のご使用で約 5 年、または 42 万ページ印刷（A4 サイズ縦送り（□SEF））のいずれか早いほうです（A4 SEF より長い用紙を使用した場合は A4 SEF 印刷時の半分程度）。また、安定した品質でご使用いただく目安として、推奨月間印刷ページ数：7,000 ページ以下でのご使用をお願い致します。
- 適切な使用環境、推奨月間印刷ページ数を超えての長時間連続使用など、ご使用の状況によっては、装置の耐用期間内であっても、有寿命部品の早期の交換が必要になる場合があります。
- 摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での、修理による交換となります。交換するときは「富士通ハードウェア修理相談センター」（129 ページ）にご連絡ください。
- 補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年間です。
- 本製品をより長く安定してご利用いただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

制御基板、電源基板、高圧電源基板、用紙搬送ガイド、用紙搬送ローラ

消耗品について

ドラムカートリッジやトナーカートリッジなどの消耗品（サプライ品）は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

サプライ品については、「サプライ品・オプション品一覧」（125 ページ）をご覧ください。

定期交換部品について

本製品には、下表の定期交換部品が設定されています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要です。交換するときは、ご購入元または「富士通ハードウェア修理相談センター」（129 ページ）にご連絡ください。なお定期交換部品料金および交換作業費は契約保守サービスの料金に含まれています（ご契約によっては有償となりますので、詳しくは弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください）。なお、保守サービス未契約のお客様は保証期間の内外を問わず有償となります。保守サービスについて詳しくは、弊社ホームページ「製品サポート」（<http://segroup.fujitsu.com/fs/products/>）のコーナーをご覧ください。補修用性能部品（保守部品）、定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年間です。

表：定期交換部品の交換時期の目安

定期交換部品	交換時期の目安
定着器ユニット ベルトユニット	6 万ページ印刷ごとを目安に交換
給紙ローラ (トレイ、マルチパーパストレイ)	12 万ページ印刷ごとを目安に交換

[注] 上記は、（A4 サイズ縦送り（□SEF））／片面印刷での目安であり、A4 より長い用紙を使用した場合、交換時期が早まることがあります。

ベルトユニット交換の目安

ベルトユニットの交換時期になると、操作パネルに[ベルトの寿命が近づいています]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[ベルトを交換してください／ベルト寿命です]を表示し印刷を停止しますので、新しいベルトユニットに交換してください。

ベルトユニット交換の目安は、A4 サイズの用紙(片面印刷時)で約 60,000 ページです。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合(一度に 3 ページずつ)のページ数です。1 ページずつ印刷する場合には、約半分でベルトユニットの寿命になります。



メモ [ベルトの寿命が近づいています]を表示してから[ベルト寿命です]になるまでの目安は、約 750 ページです。(A4 サイズ、片面印刷、一度に 3 ページずつ印刷した場合)

注! 「ベルトを交換してください」表示の後も、トップカバーを開閉することにより印刷動作を継続することができますが、ある程度印刷すると(印刷動作状況により変動します)、それ以降の印刷動作ができなくなります。プリンタの故障の原因となりますので、ベルトユニットを交換してください。

定着器ユニット交換の目安

定着器ユニットの交換時期になると、操作パネルに[定着器の寿命が近づいています]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると、操作パネルに[定着器を交換してください／定着器寿命です]のメッセージが表示され、印刷を停止しますので、新しい定着器ユニットに交換してください。

定着器ユニット交換の目安は、A4 サイズの用紙(片面印刷時)で約 60,000 ページです。



「定着器を交換してください」と表示された後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、プリンタの故障や紙づまりの原因となりますので、定着器ユニットを交換してください。

24 時間以上の連続運用について

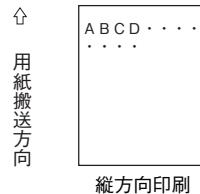
本製品は、24 時間以上の連続運用を前提とした設計にはなっておりません。24 時間以上の連続運用を行うと、有寿命部品の交換時期の目安となる期間よりも、早期に部品交換が必要となる場合があります。

用紙の印刷方向と印刷可能領域について

本プリンタは、用紙カセット（トレイ）やマルチパーパストレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。ここでは、給紙方法と用紙サイズとの対応を説明します。

印刷方向

A4 縦送り (□ SEF)、B5 (SEF)、A5、A6、はがきサイズ、リーガル、長尺紙サイズの用紙の場合

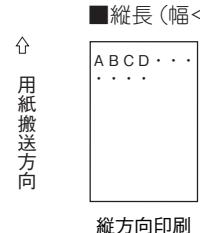


縦方向印刷



横方向印刷

ユーザ定義サイズの用紙の場合

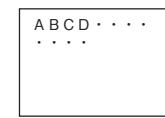


縦方向印刷



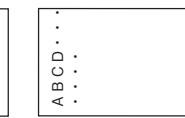
横方向印刷

■縦長(幅<長さ)の用紙の場合



縦方向印刷

■横長(幅>長さ)の用紙の場合

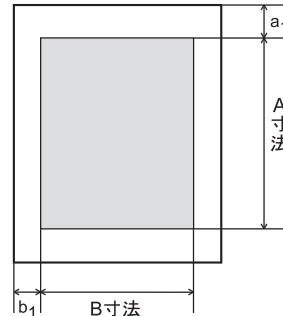


横方向印刷

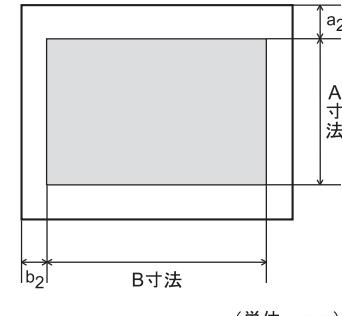
印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

[印刷方向：縦]



[印刷方向：横]



(単位 : mm)

Printia XL ドライバ使用時

$a1=a2=5\text{ mm}$ 、 $b1=b2=5\text{ mm}$

表：印刷可能領域 (Printia XL ドライバ使用時)

用紙方向	用紙サイズ	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A寸法	287	247	200	346	270	138
	B寸法	200	172	138	206	206	90
横方向	A寸法	200	172	138	206	206	90
	B寸法	287	247	200	346	270	138



用紙方向、印刷の向きに関する設定は、プリンタドライバで設定できます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプか「いろいろな用紙に印刷するための設定」(ソフトウェアガイド)をご覧ください。



アフターサービスについて

本製品のアフターサービスについて説明します。

- ご購入時に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。詳しくは保証書をご覧ください。
- 本製品の保守部品の最低保有期間は製造終了後5年です。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- 本製品のご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正サプライ用品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 故障時は下記にご連絡ください。

富士通ハードウェア修理相談センター

通話料無料：0120-422-297

受付時間：平日 9:00～17:00（土曜・日曜・祝日および年末年始を除く）

- 本製品の使用に関する技術的なご相談などにつきましては、製品のご購入元、または弊社の担当営業／SE にお問い合わせください。なお、保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、ご契約のお客様専用の電話やホームページなどで製品に関するご質問を受け付けております。
- お問い合わせのときには、プリンタトップカバーの装置識別ラベルのシリアルNoもお知らせください。

MODEL.XL-C2340

SERIAL **LDXXXXXXX**

使用済みカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。

回収した使用済みカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。

当社の活動主旨にご賛同いただける場合には、『エコ受付センター』までご連絡ください。

- エコ受付センター
通話料無料：0120-300-693
平日 8:40～12:00 および 13:00～17:30（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）
- プリンタ消耗品無償回収サービス
<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/services/eco/recovery/>
ご協力ををお願いいたします。

修理装置の返却準備～お客様へ～

「富士通ハードウェア修理相談センター」に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、次の手順で準備をお願いいたします。

- 1 操作パネルから設定内容印刷を印刷し、設定を復元するときに必要となる情報を控えます。詳しくは「現在の設定を確認します（設定内容印刷）」(78 ページ)をご覧ください。
- 2 拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、取り外します。
- 3 本プリンタの梱包を行います。

本製品の廃棄について

製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>) をご覧ください。

本マニュアルで紹介している URL について

本マニュアルで紹介している URL は、次のとおりです。

- 富士通製品情報
<http://www.fmworld.net/biz/>
- 富士通コワーコお客様総合センター
<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>
- プリンタ消耗品無償回収サービス
<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/services/eco/recovery/>
- 保守サービスについて
<http://segroup.fujitsu.com/fs/products/>
- 本製品の廃棄について
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>

**カラーページプリンタ XL-C2340
ハードウェアガイド**

B5WY-1561-01-00

発行日 2012年10月

発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権および
その他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU[∞]

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。